

## 平成30年度 少年消防クラブ交流会(全国大会)の記録

■ 平成30年12月発行

■ 編集・発行: 消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室  
〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2  
TEL (03)5253-7561 / FAX (03)5253-7576

## 平成30年度 少年消防クラブ交流会(全国大会)の記録



2018年8月1日(水)~2018年8月3日(金)

**主催** 消防庁

**共催** 千葉県 浦安市  
(公財)千葉県消防協会  
(公財)日本消防協会  
(一財)日本防火・防災協会

# 平成30年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の記録

まえがき	4
交流会の概要・スケジュール	6
参加クラブ一覧	7
【1日目】8月1日（水）	8
【2日目】8月2日（木）	9
【3日目】8月3日（金）	13
合同訓練概要図	14
参加クラブの記録（全56クラブ）	
●伏古本町ひまわり少年消防クラブ（北海道札幌市）	16
●西町少年消防クラブ（北海道札幌市）	18
●厚別中央しなの少年消防クラブ（北海道札幌市）	20
●洋野町少年消防クラブ（岩手県九戸郡洋野町）	22
●仙台市立宮城野中学校少年消防隊（宮城県仙台市）	24
●気仙沼市立階上中学校少年消防クラブ（宮城県気仙沼市）	26
●歌津中学校少年防災クラブ（宮城県本吉郡南三陸町）	28
●山形市南沼原地区少年消防クラブ（山形県山形市）	30
●三郷市少年消防クラブ（埼玉県三郷市）	32
●吉川松伏少年消防クラブ（埼玉県吉川市）	34
●西入間少年少女消防団（埼玉県入間郡毛呂山町）	36
●松戸市少年消防クラブ（千葉県松戸市）	38
●浦安市少年消防団（千葉県浦安市）	40
●小林小学校少年少女消防隊（千葉県印西市）	42
●栄町少年消防団（千葉県印旛郡栄町）	44
●日本橋消防少年団（東京都中央区）	46
●芝消防少年団（東京都港区）	48
●本郷消防少年団（東京都文京区）	50
●日本堤消防少年団（東京都台東区）	52
●大井消防少年団（東京都品川区）	54
●大森消防少年団（東京都大田区）	56
●蒲田消防少年団（東京都大田区）	58
●矢口消防少年団（東京都大田区）	60
●豊島消防少年団（東京都豊島区）	62
●本田消防少年団（東京都葛飾区）	64

●葛西消防少年団（東京都江戸川区）	66
●小岩消防少年団（東京都江戸川区）	68
●立川消防少年団（東京都立川市）	70
●町田消防少年団（東京都町田市）	72
●昭島消防少年団（東京都昭島市）	74
●日野消防少年団（東京都日野市）	76
●Risk Watch Yokohama Fire Team（神奈川県横浜市）	78
●平塚市少年消防クラブ（神奈川県平塚市）	80
●大和市少年消防団（神奈川県大和市）	82
●湯河原町少年少女消防クラブ（神奈川県湯河原町）	84
●豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ（愛知県豊田市）	86
●尾張旭市少年少女消防団（愛知県尾張旭市）	88
●長久手市キッズ消防団（愛知県長久手市）	90
●河南町ファイアジュニア（大阪府南河内郡河南町）	92
●魚崎ジュニア防災チーム（兵庫県神戸市）	94
●西落合防災福祉コミュニティジュニア隊（兵庫県神戸市）	96
●ひよどり台防災ジュニアチーム（兵庫県神戸市）	98
●東川崎防災ジュニアチーム（兵庫県神戸市）	100
●比治山学区少年少女消防クラブ（広島県広島市）	102
●元宇品学区少年消防クラブ（広島県広島市）	104
●府中町少年少女消防クラブ（広島県安芸郡府中町）	106
●厚南地区少年消防クラブ（山口県宇部市）	108
●穴吹少年少女消防クラブ（徳島県美馬市）	110
●板野東部少年少女消防クラブ（徳島県板野郡北島町）	112
●高松市立亀阜小学校少年消防クラブ（香川県高松市）	114
●赤岡町少年防災クラブ（高知県香南市）	116
●くすばし少年消防クラブ（福岡県北九州市）	118
●ひかり児童館少年消防クラブ（熊本県八代市）	120
●西瀬少年消防クラブ（熊本県人吉市）	122
●大成・かいもん少年消防クラブ（鹿児島県指宿市）	124
●伊平屋村少年消防クラブ（沖縄県伊平屋村）	126
写真集	129
1日目	130
2日目	132
3日目	133

## まえがき



少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、平成29年5月1日現在、全国に約4千6百のクラブ、約42万人のクラブ員が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関する様々な訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されており、このことを踏まえ消防庁では、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練や避難所体験等を通じて、他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流会」を平成24年度から開催しています。平成24年度は岩手県で東日本ブロック大会、平成25年度は徳島県で西日本ブロック大会を開催、平成27年度以降は全国大会として実施しており、今年度は千葉県浦安市で開催しました（※平成26年度は台風の影響により中止）。

今年の交流会には、全国の少年消防クラブから56クラブ（クラブ員296名、指導員87名、合計383名）が参加しました。今年は特に気温が高く例年以上に熱中症予防に努める必要があったため、「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」の競技種目を参考とした合同訓練は、屋内競技「クラブ対抗障害物競走」に変更して実施することとなりました。また、避難所体験では他のクラブ員とチームを組み、段ボールハウスを作って体育館に宿泊するなど、多くのクラブ員と親交を深める機会になりました。

その他に、浦安市消防団の方には東日本大震災時の活動のお話、女性団員の方々には仮設トイレの組立てについて、浦安市少年消防団の皆さんには救急リーダーによる救命講習と集団救急事故初期対応の訓練披露をしていただき、参加したクラブ員は真剣に耳を傾け、理解を深めていきました。

この交流会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録誌は、交流会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流会を通して感じたこと、今後の抱負など、クラブ員の熱い気持ちが続いています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。

交流会における各活動行事については、開催地である千葉県をはじめ、浦安市、浦安市消防本部、消防団、県消防協会、各施設の職員の方々や、参加クラブ（クラブ員・指導者、事務担当消防本部等）の皆さまなど多くの方々のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

結びに、交流会の開催にあたりご尽力いただきました千葉県、浦安市、公益財団法人千葉県消防協会、公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

## 平成30年度 少年消防クラブ交流会（全国大会）の記録

## 平成30年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の概要

- 1 日 程 平成30年8月1日（水）～8月3日（金）
- 2 主 催 消防庁
- 3 共 催 千葉県、浦安市、公益財団法人千葉県消防協会  
公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会
- 4 参加クラブ 全国の少年消防クラブから56クラブ  
(クラブ員296名、指導者87名、計383名)

## 平成30年度少年消防クラブ交流会（全国大会）スケジュール

8/1  
(水)

時間	内容
15:00～16:30	【受付】(シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル)
17:00～17:30	【オリエンテーション】
17:30～20:00	【クラブ紹介/夕食】 ・チャダンスチーム「新浦安 RainbowSmiley」による演技披露 ・クラブ自己紹介

8/2  
(木)

時間	内容
6:30～7:30	【朝食/出発準備】
7:30～8:10	【訓練会場へ移動】⇒浦安市運動公園総合体育館
8:30～9:00	【リハーサル】
9:00～9:20	【開会式】
9:30～11:30	【合同訓練】「クラブ対抗障害物競走」
11:30～12:30	【昼食休憩】
12:30～13:00	【閉会式】
13:30～15:00	【浦安市少年消防団救急リーダーによる救命講習(救急入門コース)】
15:00～18:00	【浦安市消防団女性団員による仮設トイレの組立て】 ⇒【入浴】(舞浜ユーラシアホテル) ※6グループに分かれての、ローテーションで実施
18:00～19:00	【夕食】お弁当
19:00～21:30	【避難所体験/段ボールハウス作り】
22:00～	【就寝】

8/3  
(金)

時間	内容
6:30	【起床】
7:00～8:30	【片付け/朝食/荷造り】
8:30～10:30	【消防団等との交流会】 ・浦安市消防団 東日本大震災での対応について ・浦安市少年消防団による集団救急事故初期対応の訓練披露
10:30	解散

## 参加クラブ一覧

都道府県	市町村	クラブ名	都道府県	市町村	クラブ名
		伏古本町ひまわり少年消防クラブ	29	町田市	町田消防少年団
北海道	札幌市	西町少年消防クラブ	30	東京都	昭島市 昭島消防少年団
		厚別中央しなの少年消防クラブ	31	日野市	日野消防少年団
岩手県	洋野町	洋野町少年消防クラブ	32	横浜市	Risk Watch Yokohama Fire Team
	仙台市	仙台市立宮城野中学校少年消防隊	33	神奈川県	平塚市 平塚市少年消防クラブ
宮城県	気仙沼市	気仙沼市立階上中学校少年消防クラブ	34		大和市 大和市少年消防団
	南三陸町	歌津中学校少年防災クラブ	35		湯河原町 湯河原町少年少女消防クラブ
山形県	山形市	山形市南沼原地区少年消防クラブ	36		豊田市 豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ
	三郷市	三郷市少年消防クラブ	37	愛知県	尾張旭市 尾張旭市少年少女消防団
埼玉県	吉川市	吉川松伏少年消防クラブ	38		長久手市 長久手市キッズ消防団
	毛呂山町	西入間少年少女消防団	39	大阪府	河内町 河内町ファイアジュニア
	松戸市	松戸市少年消防クラブ	40		兵庫県 神戸市 魚崎ジュニア防災チーム
	浦安市	浦安市少年消防団	41		西落合防災福祉コミュニティジュニア隊
	印西市	小林小学校少年少女消防隊	42		ひよどり台防災ジュニアチーム
	栄町	栄町少年消防団	43		東川崎防災ジュニアチーム
	中央区	日本橋消防少年団	44		広島県 広島市 比治山学区少年少女消防クラブ
	港区	芝消防少年団	45		元宇品学区少年消防クラブ
	文京区	本郷消防少年団	46		府中町 府中町少年少女消防クラブ
	台東区	日本堤消防少年団	47	山口県	宇部市 厚南地区少年消防クラブ
	品川区	大井消防少年団	48		徳島県 美馬市 穴吹少年少女消防クラブ
	大田区	大森消防少年団	49		北島町 坂野東部少年少女消防クラブ
		蒲田消防少年団	50	香川県	高松市 高松市立龜早小学校少年消防クラブ
		矢口消防少年団	51	高知県	香南市 赤岡町少年防災クラブ
	豊島区	豊島消防少年団	52	福岡県	北九州市 くすばし少年消防クラブ
	葛飾区	本田消防少年団	53		熊本県 八代市 ひかり児童館少年消防クラブ
	江戸川区	葛西消防少年団	54		人吉市 西瀬少年消防クラブ
		小岩消防少年団	55	鹿児島県	指宿市 大成・かいもん少年消防クラブ
	立川市	立川消防少年団	56	沖縄県	伊平屋村 伊平屋村少年消防クラブ

**【1日目】8月1日(水)**

17:00～ **【オリエンテーション】**(説明会)

17:30～ **【交流会開会】**

- ・チアダンスチーム「新浦安  
レインボースマイリー」演技披露
- ・クラブごとの自己紹介

千葉県副知事にもご出席いただき、参加した全クラブの自己紹介を行いました。また、開催にあたり、地元浦安市で拠点に活動をしているチアダンスチーム「新浦安 RainbowSmiley」の皆さんからチアダンスが披露され、クラブ員を応援していただきました。



主催者挨拶  
消防庁 田中 昇治 地域防災室長



来賓挨拶  
千葉県 高橋 凌 副知事



来賓挨拶 (公財) 千葉県消防協会  
小田山 博史 副会長



チアダンスチーム「新浦安 RainbowSmiley」の演技披露



クラブ自己紹介



夕食



夕食

**【2日目】8月2日(木)**

8:30～ **【リハーサル】**(訓練説明)

9:00～ **【開会式】**

9:30～ **【合同訓練】**  
クラブ対抗障害物競走

12:30～ **【閉会式】**

2日目は、ヨーロッパ青少年オリンピックの競技種目を参考に、消防ホースの展張やロープの結索など消防技術を取り入れた競技式の訓練を行いました。今年は特に気温が高く、例年以上に熱中症予防に努める必要があったため、本来屋外で実施予定であった2種目の競技から雨天時用の屋内競技「クラブ対抗障害物競走」へと変更して、浦安市運動公園総合体育館で実施しました。

参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、練習の成果が発揮できるよう一生懸命取り組んでいました。

**開会式**



主催者挨拶  
小倉総務大臣政務官



挨拶  
少年消防クラブ活性化推進会議  
秋本委員長



歓迎のこたば  
千葉県 森田知事



選手宣誓  
千葉県 浦安市少年消防団  
相馬 結衣さん

**合同訓練**



## 閉会式



表彰



激励挨拶  
浦安市 内田市長



決意表明  
徳島県 穴吹少年少女消防クラブ  
知野 稜平さん



閉会のことば  
(公財) 千葉県消防協会 石橋会長

## 入賞チーム

上位5クラブにはトロフィーのほか、共催団体である公益財団法人日本消防協会と浦安市から、それぞれ副賞が贈呈されました。



第1位 浦安市少年消防団 (千葉県)



第2位 三郷市少年消防クラブ (埼玉県)



第3位 町田消防少年団 (東京都)



第4位 府中町少年少女消防クラブ (広島県)



第5位 吉川松伏少年消防クラブ (埼玉県)

## 【2日目】8月2日(木)

13:30 ~ 【浦安市少年消防団救急リーダーによる救命講習】(救急入門コース)

15:00 ~ 【浦安市消防団女性団員による仮設トイレの組み立てについて】

合同訓練後には、浦安市少年消防団の救急リーダーによる救命講習と浦安市消防団女性団員による仮設トイレの組み立てについて指導を受け、その必要性和大切さを学ぶことが出来ました。



【2日目】8月2日(木)

19:00～ 【段ボールハウス作り】

22:00～ 【就寝】

夜は、他のクラブ員とチームを組み、班毎に段ボールハウスを作る避難所体験を行いました。今回は、テントマットの代わりに気泡緩衝材を床に敷き、その上に段ボールハウスを組み立てました。クラブ員たちでアイデアを出し合い、余った段ボールで部屋の仕切りを作るなど、様々な工夫が見られました。完成した段ボールハウスに宿泊することで、集団生活の大変さを理解するとともに、互いに協力し合うことの大切さを学びました。



【3日目】8月3日(金)

7:00～ 【片付け/朝食】

8:30～ 【消防団等との交流会/報告会】

10:30～ 【解散】

最終日の3日目は、浦安市消防団から東日本大震災時の対応と、浦安市少年消防団による集団救急事故初期対応訓練を発表していただき、それぞれの活動について理解を深めました。

交流会に参加したクラブ員の皆さんには、交流会での体験を活かし、今後の活動に更に励んでいただき、家庭や学校あるいは地域で、学んだことを共有し防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。



来賓挨拶 浦安市消防団 大川団長



浦安市消防団の東日本大震災時での対応について発表



浦安市消防団の東日本大震災時での対応について発表



浦安市少年消防団による集団救急事故初動対応訓練披露



代表挨拶 埼玉県 三郷市少年消防クラブ 関口春輝さん



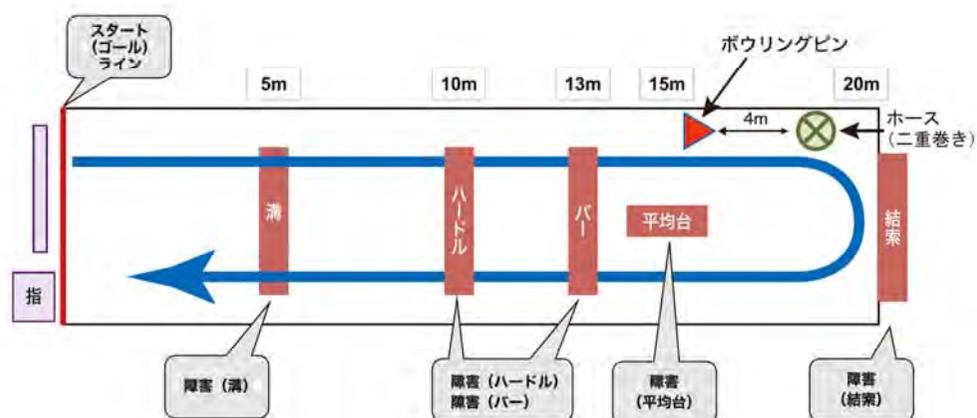
主催者挨拶 消防庁地域防災室 加藤理事官

## 合同訓練概要図

### クラブ対抗障害物競争（雨天時）

#### 概要

- ・1クラブ5名で行うものとする。
- ・20mのコースを障害（結索）後、折り返すものとする。
- ・ホースポウリングを実施するのは指揮者のみとする。
- ・往路復路とも障害を越えるものとする。
- ・スタートとゴールは同じ位置とする。



## 参加クラブの記録（全56クラブ）

	指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
使用資機材	小綱	小綱	小綱	小綱	小綱
共通事項	審判の合図（笛）でスタートし、指揮者がゴールラインを通過するまでのタイムを競う。 1番員と2番員は一緒に障害を越え結索を行い、再度障害を越えスタート位置に戻り、1番員、2番員の両名がゴールラインを越えたら、3番員、4番員は同時にスタートする。 3番員、4番員とも同行程を行い、3番員、4番員の両名がゴールラインを越えたら、指揮者がスタートする。 指揮者は一人で障害を越え結索をした後、ホースポウリングを行う。ホースポウリング後、再度障害を越えながらゴールラインを越える。 なお、競技ルールから逸脱した動作や行動があった場合は減点とし、タイムに加算する。				
競技内容	3番員、4番員がゴールラインを越えたらスタートし、各障害を越え、結索を行い、ホース巻きの要領でボウリングピンを倒す。その後、再度障害を越えてゴールラインを越える。全員を整理させて終了。	審判の合図（笛）でスタートし、各障害を越え、結索を行い、再度障害を越えてゴールラインを越える。		1番員、2番員がゴールラインを越えたら、スタートし、各障害を越え、結索を行い、再度障害を越えてゴールラインを越える。	

## 貴重な経験と協力しあった3日間



伏古本町ひまわり少年消防クラブは、平成7年に発足し、小学校高学年から中学3年生で活動しています。今回の交流会に中学生4名と小学生2名の合計6名で参加し、和気あいあいと楽しく元気に活動することができました。

### たのしいクラブ員たち

● 指導者 池本章

私は、交流会に引率しましたが、中学生は常に何をすべきかを考え、率先重範の行動をとってくれたので助かりました。また、全員が時間や規律を守り責任ある行動をとっていたと思います。その他、今年の猛暑の大会の中、多くの役員の方々が暑さに負けず、笑顔でクラブ員を励ましてくれたことに感謝します。



### 交流会を終えて

● 長井 崇晃

私は今回の交流会で改めて地震が多い日本に住むことが大変か学びました。水や食料の不足がない日本国内において、いつ起きるかわからず、対策の難しい地震などの自然災害がいかに恐ろしいものかを地元の人々の体験を伝えていただいたことでより深く認識することができたと感じています。今後は自分の町が災害にあった時のことを考え、備えをより強化したいと思っています。



交流会終了後、緊張ほぐれ楽しくランチ！

### 全国交流大会を終えて

● 佐伯 幸星

今回、僕は「考えて行動する」これがあまりできていなかったと思います。わからないことがあったら、指導者や友達に聞いてばかりで、しおりに読むなど自分で動けなかったと思いました。今後、このような機会があれば、自分なりの考えを持って、他の人に頼らずに、「考えて行動する」ができれば良いと思いました。



豪華ホテルに泊まり大満足

### 障害物競争と避難所体験

● 佐伯 星哉

障害物競争は負けてしまったけれど全力でがんばれたから、良かったです。避難所体験では、今回、他のチームと協力して、上手に作れたので、良かったです。体験できて良かったことは、他のチームの人と同じ部屋ですごしたことです。今回の全国交流大会では、色々なことが勉強になって良かったです。



屋外から室内競技に変わり、やや緊張気味



### 命の尊さを知った交流会

● 矢野 雅人

僕は、この交流会を通して命の尊さを知ることができました。僕たちは、三日目に浦安市少年消防団救急リーダーによる救命講習を受けました。そこで心筋梗塞についてと心筋梗塞になった人への対応の仕方を学びました。日本では一年間で心筋梗塞で亡くなった人が7万人もいて、とてもびっくりしました。しかもその中には僕と同じ中学生の人もいました。僕はこの経験を通して、人はいつ倒れてもおかしくないこと、もし目の前に倒れていたら一人で多く助けられたいいなと思いました。



競技は入賞できなくても、心臓マッサージは誰にも負けません

### 全国交流会を振り返って

● 平川 舜稀

交流会に参加したのは、今回で2回目です。今回はみんなで力を合わせて合同訓練をスムーズに進めることができました。一番楽しかったことは、他のクラブの人と同じ部屋になり仲良くなれたことです。部屋からは花火が見ることができて、いい思い出になりました。3日目は災害の話を聞き、もしもはいつ起こるか分からないことを考えることができました。3日間とても楽しくいい経験になりました。



いよいよ交流会が始まります

### 少年消防クラブ交流会の感想

● 加藤 咲桜

今回やってみて思ったことは、クラブ対抗障害物競争をやるときに、ひざやひじにガードをつけてやったら、けっこう大変だったし、軍手をしてたからロープの結核がやりにくかった。開会式と閉会式でやった整列・休めと言うのなど、やったことのないやつが出てきたのでうまくできなかった。1日目、私は違うクラブの人と一緒に泊まったけれど、きちんとお話しできたので良い経験になったと思いました。段ボールハウス作りも違うクラブの人だったけど、みんなで協力して作れたので良かったです。来年も行けたら行きたいです。



開会式前に緊張気味に整列

暑い・熱い～夏の挑戦と貴重な経験～



西町少年消防クラブは、平成元年5月に発足して29年のクラブです。クラブ員は小学生40名、中学生10名、高校生3名の53名で活動しています。春の入会式から活動が始まり、宿泊研修では避難所体験もあり貴重な消防業務体験となっています。今回の全国大会には6名が参加しました。今年は、昨年に引き続き2回目で練習を重ねて、本番では精いっぱい頑張りました。



たくさんのことを学びました

●指導者 屋木 妙子

今回の交流会は、猛暑のため室内の競技に変更になり戸惑うこともありました。今年は各地区で災害が多く発生している中、浦安市の簡易トイレの展示は興味深いものがあり参考になりました。交流会を通して参加クラブ員は貴重な体験ができました。今後は指導者として地域での活躍を期待しています。



学ぶことが多かった全国大会

●加藤 光莉 (中3)

今年で二度目の参加となりました全国大会ですが、そこで学んだことが9月6日に起きた北海道胆振東部地震で生かされました。幸い私の住んでいる地域では避難指示は出まらなかったですが、停電と断水が数日間続き余震はまだ続いています。全国大会の2日目の避難体験はただ一日だけ友達と泊まる程度しか思っていないんですけど、このおかげでも避難することになってみることが出来ると、思うことが出来ました。全国大会で学んだことを忘れないようにしていきたいです。



学んだことを生かして

●飯田 光優 (中1)

去年より練習を重ねて、万全な状態で挑戦できると思っていた合同訓練は、いざ自分たちの番になるととても緊張しました。思ったより結果が出ず少し心残りでしたが、全国のクラブ員と交流出来て楽しかったです。先日の北海道の地震は私の住む西区では大きな被害がなかったものの、災害の怖さを感じました。全国大会での避難所体験や地震についてのお話は、とても役立ちました。なれない寒差の中での大会でしたが、充実した3日間でした。



初めての参加

●高塚 裕仁 (小6)

クラブは今回で2度目の参加ですが、僕は初めての出場でも緊張していました。ですが、本番では競技に集中して出来ました。結果は昨年より下がっていましたが、全力を出せたので良かったと思います。来年全国大会に出られたら去年、今年よりもっと良い結果になれるよう練習して頑張りたいです。



去年と違う全国大会

●股村 優大 (中1)

今回、千葉県で開催された大会に出場しました。今回は外が暑過ぎたため、少し競技内容を変更し開催することになりましたが、楽しかったです。去年も参加しましたが去年と違うところで違う競技をしたので、新鮮味がありとても楽しかったです。初対面の人ばかりで最初は緊張しましたが、周りの人が優しく安心して2泊3日を楽しく過ごしました。今年も貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



全国大会を終えて

●飯田 桜空 (中1)

昨年の反省をもとにたくさん練習を積んで、今年こそは好成績を残せるようにと頑張ったのぞみでしたが、残念な結果となってしまいました。段ボールハウス作りでは、東京のクラブ員の方たちと交流したり、今回は居住空間を良くするために床を厚くするなど工夫も出来ました。貴重な体験を与えていただき感謝の一言です。この大会で学んだことを今後活かしていきたいです。



もう暑で競技に出られなかった大会

●小泉 瑞久 (小5)

千葉に行った時の2日目に競技がありました。大会の本せんに人数制限で出られなかったですが、練習をちゃんとできたので良かったです。ダンボールハウスでは仲間と協力しあえて良い体験になったと思いました。今回は初めてでしたが、仲間と喋ることができてすごく楽しかったです。次にまた行きたいと少し思っていました。



## 2018年夏、猛暑の全国交流大会



厚別中央しなの消防クラブは札幌市内にある50の少年消防クラブの一つです。現在クラブ員は中学1年生から小学3年生まで17名、指導者5名。主な活動は消防団総合訓練大会で消火、応急手当訓練参加、夏休みは区内4クラブ合同研修、秋は防火看板作成、赤い羽根共同募金、冬は高齢者向け社会福祉施設へ防火訪問しています。今回は6年生を中心にサブリーダーの5年生を含めた5名が参加しました。

### 学ぶべきは指導者 ● 部長 日下 功

384名の全国大会に参加し、子ども達は戸惑いなど見せることなく研修の総てを無事に果たせたことに、逞しさと将来ある子ども達に大きな希望と期待を抱かせた大会でありました。

大会の目的は何か、事前の諸準備はどうかで取り組んでおきました。

今回、連日の猛暑にめげず、運営関係者の皆様の心からの諸行動に接し感謝し感謝の念一杯です。

### たくさんの思い出が出来た 全国大会 ● 副部長 久保田 恒央

今回、当クラブは全国交流大会初参加しました。大会に向けて消防署の方々に何度も競技の練習をサポートしていただき当日を迎えました。今年は猛暑の為、体育館内の競技になりましたが、参加した子ども達は練習の甲斐もあり緊張の中、一生懸命頑張りました。ロープワークなどの練習、段ボールハウスで宿泊した事など含め全員が良い体験になったと思います。北海道の夏休みは約一か月と短く、とても良い思い出を作ることが出来たことに感謝しています。今回の体験が参加した子ども達が将来防災に対して意識する良いキッカゲになれば幸いです。



### 初めての全国大会 ● リーダー 久保田 麻紗子 (小6)

全国大会ではホースポウリングや、縄縛りなどをしました。練習では、消防署の人が分かりやすく優しく教えてくれました。

大会本番は、すごく緊張しました。メンバーみんなが協力して出来て良かったです。私が全国大会で一番心に残ったのはグループで段ボールハウスを作ったことです。

段ボールハウスを作って寝ました。段ボールハウスを作るのは難しかったけど、一緒に寝たグループとすごく仲良くなって嬉しかったです。



### 全国大会で学んだこと ● 米坂 茜音 (小6)

交流会を通して学んだことがありました。大会当日に行われたクラブ対抗リレーではみんなの緊張感もとても感じられました。練習通りあまり緊張せずに集中してやりとげることができました。入賞はできなかったけどチームワークの大切さがとてもわかることができた対抗リレーでした。その後に行われた段ボールハウス作りでは、初対面の子もいましたが、みんなで協力して段ボールハウスを作ることができました。この段ボールハウス作りでは、自分から積極的に行動する力がついたと思いました。



### 全国大会で学んだこと ● 東松 未来 (小6)

私は消防クラブで学んだことが沢山あります。1つ目はチームワークの大切さです。今回の交流会を通して競技でのチームワーク力やダンボールハウスを作る時に深まった団結力などで大切だと感じました。2つ目は命を助ける思いやりです。心臓突然死の事や、もし自分の目の前で倒れた時にやるべき行動、そして倒れた人がいたら大きな1歩を踏み出すことで命が助かるということが大切だと教わったからです。競技では残念ながら優勝は出来なかったけど大会に参加できて良かったと感じました。



### 初めての交流会。 ● サブリーダー 清水 匠人 (小5)

この3日間で大切な事を経験できました。1つ目は、知らない人やチームの人達と仲良くできた事です。対戦相手とも仲良くできました。2つ目は、楽しく大会にのぞめた事です。負けてしまいましたが次は勝ちたいです。この交流会という活動を通して、ぼくは前の自分より少し上がった気がします。これからも、この経験を活かしていきたいです。



### 少年消防クラブ交流会で学んだこと ● 田中 響子 (小6)

私は少年消防クラブ交流会で、二つ学びました。

1つ目は災害や病気の怖さです。「心臓突然死では毎年約7万人、一日に約200人が亡くなっている」と聞きとても怖くなりました。そこでAEDの話聞いて少しほっとしました。AEDを使うと生存率が高くなると聞いてびっくりしました。私も倒れている人がいたらAEDを使って助けようと思いました。

2つ目は家族・友達との大切さです。災害などで断水・停電・ガスが使えなくなった時にひとりが不安です。家族や友達とみんなで乗り越えれば少しは安心すると思います。

少年消防クラブ交流会でダンボールハウス作りをした時もひとりじゃ作るのには難しいし楽しくありません。でも、友達がいる事で簡単に作れるし楽しめると思います。

交流会では他にもたくさんの事を学びました。他のクラブの子とも仲良くなり、楽しんで学べた三日間になりました。



## 来年リベンジします。



洋野町少年消防クラブは、消防団特別点検(軽可搬ポンプ操法・分列行進)火災予防運動、防火広報、防火ポスターコンクール及び、消防署主催の職場体験参加などの活動をしています。



### 交流会に参加してみて

● 指導者 向井 商浩

私は初めて参加させて頂きましたが、どのクラブも鍛えられており、障害物競走でのロープ結索の速さにはびっくりさせられましたし、救急講習や応急手当訓練、宿泊訓練など1年を通して活動されているところが多く、大変勉強になる交流会でした。今後のクラブ活動に活かして行きたいと思います。参加したクラブ員も、障害物競走では悔しい思いをし、避難所体験では大変さを託しく学ぶことができ、良い経験になったと思います。大会主催者と関係者の皆様から感謝申し上げます。



### 全国交流会を終えて

● 指導者 滝口 長武

全国津々浦々の他の少年消防クラブの活動を知ることが出来て、指導者としてとても有意義でした。また、それらと一緒に会して行う本事業は子供たちにとっても実り多いものであったと思いますし、今後も継続していただきたいと思っています。競技会の成績は残念なものでありましたが、交流会と通じて得るものは非常に大きいものであったと思いますし、今後の活動に繋げてゆきたいと思っています。



### 学んだ事

● 三本木 駿汰

今回学んだ事がたくさんありました。ロープ結索は四種類覚え、今でも応用して便利に使っています。役に立つ結び方を学べて良かったです。そして洋野町のチームメイトや他の消防クラブの人と共同作業ができて良かったです。避難所体験ではチームワークがないと乗り越えられないことも学びました。普段から仲間との協力を大切にしたいです。



### 貴重な体験

● 鶴嶋 自華

この消防の交流会を通して、私が経験した事がない事を体験できました。災害が起きて大変な思いをしながら避難所生活をしている事が強く分かりました。この経験から避難所にいる人達の思いを少しだけ知る事ができました。みんなで協力して助けようと思う気持ちが強くなりました。



### AED訓練

● 蛭原 美優

今回思い出に残ったのは、AED訓練でした。AEDは、そのAEDの指示に従って行動すれば良いと思えば誰でもできるんじゃないかと私は思います。ただ、できないから心臓突然死の人達が多いのだと思います。だから一回は講習を受けている方ができる人も増えると思います。私は今回の講習で改めて大切だなと思いました。



### 不安や楽しみ

● 吹切 響

訓練体験では練習通りにロープを結ぶ事ができず、みんなに迷惑をかけてしまい、記録は最下位でしたが楽しかったです。避難所体験ではダンボールハウスを工夫して作りましたが実際に寝てみると首が痛くなり寝にくかったが避難所の不便さを体験できて良かったです。三日間を通じて仲間をたくさん作り、消防を学び、とても良い経験になりました。



### 少年消防クラブ交流会を終えて

● 浜道 七菜

今回の体験を通して学んだ事がたくさんあったので、これから先に災害があった時に役立てていきたいと思いました。

とても良い経験ができました。ありがとうございました。



## 『これから・・・』～ 交流会の体験を生かして～



宮城野中学校少年消防隊は平成24年9月に発足しました。今年度の総員数は717名になります。今回の交流会には、学校を代表して1年生5名が参加しました。特に競技会に向けてわずかな期間ではありましたが、消防署の方の力をお借りして10位以内を目標に掲げ練習に取り組んできました。当日の順位は、18位という結果でした。緊張してミスに繋がった場面もありましたが、練習の成果を出し切ることができました。



● 指導者 坂田 三郎

生徒にとって今回の大会は、「交流することの楽しさ」、「練習の大切さ」、「協力・優しさ」そして「感謝」など身近にある大切な事柄を改めて気づかされる良い機会になりました。大切なことは、これからです。交流会を通して「気づいたこと」や「学んだこと」をこれからの生活に生かしていくこと。更に、少年消防隊の取組をもっと多くの方に理解していただけるように情報発信や活動をしていくことです。生徒と共に頑張ります！



交流！

● 庄司 和輝 (中1)

交流会では、全国から少年消防隊が集まり、多くの隊員とお話することができました。その中には、競技会に向けて、自作のコースを作り練習してきた消防隊もあり、とても勉強になりました。段ボールハウス作りで一緒になった人たちとも仲良くなり、楽しい一夜を過ごすことができました。今回の体験を全校生徒や地域の方に少しでも理解していただけるよう、少年消防隊の活動に取り組んでいきます。



協力！

● 小林 紅音 (中1)

私は、今回の交流会で「協力」の大切さを改めて気づかされました。それは、段ボールハウスを作っている時、私一人では、できないことがあり悩んでいました。「どうしたの？」と他県の少年消防隊の人から声をかけられました。「一緒にやろう！」と言って手伝ってくれました。私の心の中は、感謝の気持ちでいっぱいになりました。この体験を忘れず、困っている人がいたら、積極的に声をかけ優しい気持ちで接していきたいと思えます。



感謝！

● 西本 青空 (中1)

私たち5名は、学校の代表として全国大会に参加してきました。初めはどのような大会なのか分かりませんでした。大会の中に競技会があることを知り、事前に競技種目の練習を積んできました。大会に向けて原町消防署員の方には大変お世話になりました。特に結案を丁寧に教えていただきました。競技の結果では、メンバー全員が完璧に仕上げることができました。消防署員の方のおかげです。感謝いたします。ありがとうございました。



練習！

● 後藤田 有咲 (中1)

私たちは、学校を代表して千葉県で開催される全国大会に参加してきました。特に競技会はとても緊張しました。練習の成果をすべて出し切れるよう当日の競技会は一生命に取り組みました。結果はペナルティがありましたが、56チーム中18位でした。全国大会に向けて消防隊として学んできたことを文化発表会で紹介し、一人でも多くの方に少年消防隊のことを知ってもらいたいと思います。



優しさ！

● 高橋 梨華 (中1)

私たちは、全国大会へ行ってきました。全国から来た少年消防隊の人たちは、みんな優しく私は安心して三日間を過ごすことができました。人と人がつながるとき、「優しさ」はとても大切なことだと思います。交流会で受けた「優しさ」を忘れず、これからの学校生活に生かしていきたい。また、大会での「気づき」や「学び」を様々な場面で生かしていきます。



平成最後の夏！ ～ 浦安で完全燃焼！！ ～



本クラブは全校生徒がクラブ員です。「挨拶」「エール」「防災学習」を三大伝統として「未来の防災戦士」をテーマに、平成17年度から防災学習に取り組んでいます。その中で地域の消防士の方々に講師を招いて、消防の基本となる規律訓練や救急救命講習の受講を行っています。また、地区の避難訓練に参加し、消防団の指導のもと消火訓練を行ったり、炊き出し訓練を行ったりしています。また、中学生だけの手で行う「避難所初期設営訓練」を行うなど、日頃から防災意識を高めています。



駆け抜けた夏！  
● 指導者 千葉 孝

平成28年の初参加に続き、今回は2回目の参加となりました。前回参加した先輩方が、あと一歩で入賞を逃したことから、参加した5人は先輩越えを目指し、気仙沼市の消防署員の皆様の御指導のもと、上位入賞を目標に練習を重ねました。結果は入賞はできませんでしたが、全国の団員の皆さんとの交流を通して、より一層「防災の大切さ」を発信したいという気持ちを強くした様子です。今後の活躍が楽しみです。ありがとうございました。



初めての交流会  
● 熊谷 光晟 (中3)

私が今回の大会を通して感じたことは、仲間と団結し、励まし合いながら挑戦することの大切さです。練習の時にはお互いに教え合うことで一つひとつの技術を高めることができました。交流会の思い出は、2日目の段ボールハウスづくりが印象に残っています。他の団員と相談して作ることで、自分たちにはなかったアイデアを知ることができました。今後はこの交流会までの練習や、2泊3日で学んだことを同じ学校のみんなにも伝えていきたいと思っています。ありがとうございます。



少年消防クラブの活動を通して  
● 川口 天士 (中3)

今回の大会を通して、思ったことが2つあります。1つ目は同じ志をもつ仲間が全国にたくさんいるということです。交流を通して特に実感しました。2つ目は活動の重要性です。救急救命講習を体験して、自分がもし緊急事態に遭遇したときどのように行動したらよいかを再確認することができました。また、競技の時にいった結果も、覚えておけばいいという時に活用できると思いました。これからもこういう経験を重ね、いざという時には、たくさんの人を助けられるようになりたいです。



貴重な体験  
● 佐藤 みさ (中3)

私は今回の交流会に参加して、初めて知ったことや、これから生かしていきたいことなど、学んだことが多くありました。その中で印象深いのは段ボールハウスづくりです。失敗や分からないことだらけでしたが、みんなと相談し、改良しながらつくることができました。普段はあまり使うことはないかもしれませんが、もしもの時には必要な力だと思います。これからも自分に足りない知識を体験を通して学び、さらに後輩たちに伝えていきたいと思っています。



交流会に参加して  
● 小野寺 凜生 (中3)

私はこの交流会でとても貴重な経験をすることができました。特に合同訓練に向け、先輩たちが果たせなかった上位入賞を目指して、練習に取り組みました。普段あまり使うことがない結索は難しかったですが、練習を重ねるうちに素早くできるようになりました。思い出として残っているのは段ボールハウスづくりです。初めてのことで緊張しましたが、他の団員と協力して完成することができました。この交流で学んだことを学校みんなにもしっかり伝え、階上中の伝統である防災学習を発展させていきたいと思っています。



3日間を終えて  
● 佐々木 あいり (中3)

私はこの大会を終えて、様々なことを学んだり、改めて見直したりと実りのある3日間にすることができました。特に2日目は、予定が変更となり、室内での競技になりましたが、練習の成果を発揮できるよう頑張りました。他チームからの声援をもらったことも嬉しかったです。また、夜の段ボールハウスづくりも同じグループのみんなと楽しく行えました。この3日間は将来に役立つような体験ばかりで楽しかったです。皆さんお疲れ様でした。



## 平成最後、自分史上最高の夏!!



本クラブは、東日本大震災直後の平成 23 年 11 月に発足しました。全校生徒がクラブ員として活動しており、毎年、実施される「避難所運営訓練」を目標に、クラブ員一丸となって様々な学習に取り組んでいます。この「避難所運営訓練」は、事前にシナリオ等を決めず、また、生徒の役割分担等も決めず、生徒だけで運営することを特徴としています。将来、地域の担い手となることを目指して一生懸命活動しています。



全国の各クラブの皆さん、今後ともよろしくお祈りします。

● 指導者 佐藤 公治

私は学校の教員ですので、参加生徒を引率し、初めて参加させていただきました。実際の指導は、南三陸消防署歌津出張所の消防士の皆さんが、学校の放課後に、職員総掛かりで、連日のご指導いただきました。本当にありがとうございました。今後、交流会への参加を継続し、学校としてもノウハウを蓄積していければと思っています。全国のクラブの皆様、今後ともよろしくお祈りします。



全国大会に参加して感じたこと

● 阿部 修大

僕はこの大会を通して、沢山の事を学びました。僕たち歌津中学校防災クラブは、入賞することはできませんでした。しかし、指導してくださった南三陸消防署歌津出張所の皆さん、応援してくれた家族、友達、先生方に支えられているんだと改めて思いました。今回入賞という結果で恩返しする事はできませんでした。しかし、班員と協力する事や、諦めないことなど色々な事を学ばせてもらったいい大会でした。この経験を生かして頑張っていきたいと思えます。ありがとうございます。



少年消防クラブ交流会で感じたこと

● 三浦 凜太

自分は大会に参加して感じたことがたくさんあります。特に印象に残ったことは、段ボールハウスです。千葉県の小中学生と一緒に協力して作り、仲良くなることができました。

その小学生と各地域の意見交換や中学校の質問に答えたりして過ごしました。この三日間、とても有意義な時間を過ごすことができました。参加した 56 チームの皆さんありがとうございました。またどこかで会いましょう。



0.2 秒の悔しさを味わって

● 三浦 桃香

8 月に行われた全国大会では、猛暑のため 1 競技だけの 1 発勝負になってしまい、プレッシャーと、みんなと共に戦いました。結果は 6 位。5 位との差は 0.2 秒と惜しくも残念な結果になってしまいました。ですが、大会に参加して、たくさん貴重な体験をすることができました。夜は避難所体験ということで、段ボールハウスを作り、仲間と一緒に雑魚寝をしました。大会を通して出会った仲間との思い出大切にしたいと思います。今回の全国大会では、たくさんの経験をすることができました。また、この 3 日間で学んだことをこれからの活動に生かしていきたいと思えます。



交流会で学んだこと

● 佐藤 姫奈

交流会を通じて学んだことは、協力することの大切さです。

2 日目の段ボールハウスは他のクラブの子と一緒にしました。自分たちで段ボールハウスを作るときは、お互いに声を掛け合って協力して 1 つの段ボールハウスを作る事ができました。知らない人と協力して何か 1 つの事を行うというあまり体験できないことを行うことができ、とても有意義な交流会になりました。交流会で学んだ事をこれからの生活に生かしていくと共に、周りの人たちにも伝えていきたいと思えます。



少年消防クラブ交流會に参加して

● 及川 星南

大会が終わり、入賞できず悔しいと思えました。0.2 秒差で入賞を逃し、その差はとても大きいものだ感じました。大会に出るまで、たくさんの方にお世話になりました。全員で協力すること、努力することがとても良い思い出となりました。今回の大会で経験したことを活動に生かしていきたいです。ありがとうございました。



応援が力になった三日間

● 阿部 拓海

言葉って大事だなと思う三日間でした。友達からの応援はもちろん、全く知らない県の人たちからも応援されて交流しているという感じがあって、いい経験でした。

また、競技が終わった後、「ドンマイ」「おつかれ」など声をかけてもらって、くだらない話をしてとても楽しかったです。ただ、同じ日本国内なのに、文化の違いや方言など伝わらなかつたりして面白かったです。今回の交流大会で出会った仲間たちよ。



## 心を一つに！ ～初めての交流会を終えて～



当クラブは、昭和61年5月に設立され、現在小学1年生から6年生まで896名が在籍しています。クラブ員数が多い事もあり、一堂に揃っての活動は困難を極めますが、学年や町内会単位、また希望者を募る形で防災学習会や、防災訓練等に参加しております。

今回、初めての交流会参加にあたり、6年生6名でチームを編成し、2ヶ月間訓練を重ねてきました。当日の合同訓練は、猛暑の影響で室内競技になり、あまり訓練の成果を発揮する事が出来ませんでした。交流会では多くの事を学ぶ事が出来ました。この経験を、今後の活動に活かしながら地域愛護精神で頑張りしたいと思います。



### 交流会初参加を終えて ● 指導者 原田 直記

今回、山形市は勿論、県でも初参加という事もあり、参考にさせて頂く指導方法は疎か、必要な資機材も手元にない状態からのスタートでした。消火機材は、消防本部及び消防団からの借用、障害壁等その他の資機材については資料を基に手作りといった具合です。

不安ながらも子供達と訓練を進めていくと、回を重ねるごとに消火機材の適切な取り扱いや、結案がスムーズに出来る様になり、最終的にはタイムを気にするまでになっていました。

一つの目標に向かい、お互いにアドバイスしたり悩んだり、子供達の成長と絆の深まりも感じられたところです。

今後、当クラブだけでなく他のクラブとも情報を共有し、山形県の防災後継者育成に努めていきたいと思っています。



### 山形初の少年消防団

● 海野 陽奈

私たちは、初めて交流会に参加しました。参加して思ったことが二つあります。

一つ目は、短い期間で練習をがんばったことです。5月から練習をしてできないこともあって、本番でできるか心配だったけど練習を怠らないにしたら出来たと思いました。

二つ目は、リーダーとしてやることを出来たと思いました。交流会のときにならばせたりしてリーダーとして自覚しました。自分なりに努力すれば出来る可能性があるということを知りました。



### 少年消防クラブ交流会を終えて

● 櫻井 倅誠

ぼくはこの2泊3日の活動でいろいろな、経験、知識を増やすことがたくさんできました。特に、合同練習を一生けん命に出来ました。全国の人と交流を深めながら、今まで練習してきた成果を、6人で協力して全力では�きできたのでよかったと思いました。この貴重な経験を山形県のみなさんに伝え、日常でしっかり生かせるような行動を、代表として広げて行きたいと思いました。ありがとうございました。



### 交流会を終えて

● 多田 遼太郎

障害物競走では、練習の成果を奮きできるか不安でしたが、チームの仲間と協力して全力で取り組めたことはとても良い経験でした。

避難所体験では、実際にダンボールハウスを作って一晩過ごしてみ、災害が起きた時に避難所で生活する人の大変さを知りました。

ふだんの生活では経験できない事をたくさんしました。毎日の生活がいかに快適かということを実感しました。この交流会で学んだことを、ふだんの生活にも生かしていければと思います。



### ひなん所体験をしてみ

● 木村 優月

私は、ひなん所体験をして思ったことがあります。それは、友達が増えたことです。ひなん所体験だけでなく、ホテルで同じ部屋の人と仲良くなれたと思います。あと、浦安市の昔の被害がよく分かりました。液化化被害の時から、今の浦安市ができるまで、たくさんの人の苦勞があったと知りました。色々なことを学べたので、また行ってみたいです。



### チームとの協力で学んだこと

● 高崎 敦

ぼくは交流会でチームの人や他のクラブの人たちと協力する大切さを知りました。

特に実感できたのはダンボールハウス作りの時です。理由はほかのクラブの人たちがとてもやさしく話してくれたり協力してダンボールハウスを作ることができたからです。

この経験をこれから活かし仲間を大切に、つなぐを深めていこうと思いました。地域の防災訓練にも積極的に参加していきたいです。



### 交流の大事さ

● 原田 泰駕

交流会に参加し、とてもいい経験をする事ができました。交流会では、全国からきた仲間たちと一っしょに、協力してダンボールハウスを作ったり、時にはしょう物競走で戦ったりして、三日間の少ない期間でしたが、多くの仲間とふれ合うことができて良かったです。自分のチームの結果は、良い結果とは言えなかったけど、上位チームの素早い、てきぱきとした行動を見習い、来年に活かしていきたいです。

交流会で学んだ、仲間の大切さを日々感じながら生活していきたいです。



## 楽しかった交流会



三郷市少年消防クラブは平成23年4月1日に発足し、現在小学5年生から高校3年生まで計116名のクラブ員が活動しています。消防の基本となる規律や礼式を学ぶ基本訓練から始まり、ロープ降下・渡過訓練の救助体験などの様々な活動を通して消防防災について楽しく学んでいます。また、軽可搬ポンプ操法を消防フェアや総合防災訓練時に披露しています。



### 悔しさを糧に ● 指導者 小平 剛

消防競技の部では、惜しくも準優勝となってしまいましたが、悔しい思いをすることで、選手たちにとっても、三郷市少年消防クラブにとっても大きな財産になっていくと思えます。

クラブ員たちは他県のクラブ員と交流をすることができ、終始楽しんでいる様子でした。交流会の本懐を果たせていたと思います。この3日間を通し、たくさんの方が携ってくれたことに感謝し、今後も積極的に消防・防災活動に参加し、地域防災の担い手としてさらに大きく成長していくことを期待します。



### 勉強になった交流会

● 関口 晴輝

この交流会では、たくさんの事を学ぶことができました。まず、努力した分、成果を得られることです。消防競技の部では、惜しくも2位という結果でしたが、たくさん努力したのでこのような結果を残せたのだと思います。また、ダンボールハウスでは被災者の気持ちを体験することができました。被災者はテレビで見るよりもずっと大変な思いをしていることを改めて知ることができました。



### 最高のチーム

● 石崎 結奈

私たちは、連覇する為に全力で訓練してきました。会場に入るととても緊張しましたが、指導者や先輩達がギリギリまで声をかけてくれたので、落ち着くことができました。ロープ結索も会場がたくさん練習して、チームで話し合っって本番を迎えました。円陣を組み気合を入れなおしました。本番では、どのチームにも負けていないパフォーマンスを発揮することができました。しかし、結果は準優勝。タイムはぶっちぎりで準優勝はとても悔しかったです。親や先輩に会ったとき、涙が止まりませんでした。閉会式でも、リーダーの後ろ姿を見て涙が止まりませんでした。本当に悔しかったです。でも、このチームだったからこそ、ここまでやってこれたんだと実感しました。本当に最高のチームです！ありがとうございました！



### 交流会の思い出

● 金井 拓海

消防競技の部では、自分たちの番が近づくにつれて緊張してきたが、本番はいつもどおり出来た。結果は2位で悔しかった。その夜はダンボールで寝たが、自分のダンボールハウスは屋根付きで作成し、とても過ごしやすかった。3日目の朝、片づけをしている時、少し名残惜しかった。作るの大変だったけど、楽しかった。帰る時、なんで負けたのか、みんなと話していたらいつの間にか別の話になっていて、笑い話に変わっていた。このメンバーと交流会に参加できて、とても良かった。



### 大切なこと

● 五十嵐 正義

自分は、この全国大会で、チームの絆がとても大切だということを知りました。なぜなら、今回行ったクラブ対抗リレーも、避難所の設営も、どちらも仲間との協力がとても大切だからです。例えば消防競技では、どちらかが遅れるとそのままタイムが落ちてしまったり、避難所設営でもダンボールを組み立てる時にしっかり並べないと、強度が確保できなかつたりと、協力が大切な場面がたくさんあるからです。なので自分は、チームの絆がとても大切だということがわかりました。



### 夏の思い出

● 荻原 絆

全国大会のメンバーに選ばれたという知らせを聞いた時は、「よっしゃー」と思った。実は柔道の先輩が全国大会で優勝したの聞き、僕もその舞台に立ちたいと思っていたから。訓練が始まり、仲間との信頼が深まる中、皆の足を引っ張らないようにとにかくロープの練習をした。大会の当日、他のチームを見て焦ってきた。大会の説明、準備運動さえも緊張した。落ち着くために、何度も何度もロープの練習をした。いざ本番、緊張とプレッシャーの中、思い切り臨んだ。結果は2位で終わり、悔しくて悔しくて記念写真では笑えなかった。3日間はあっという間に終わってしまったが、楽しさ、悔しさをこのメンバーと共有できて良かった。



### 凝縮された3日間

● 齋藤 壮佑

1日目の夕飯の時のチアダンスは、みんなの動きが揃っていて、とても迫力がありました。部屋は、他県のクラブ員と一緒に、仲良くなることができました。2日目は、消防競技があり、結果は惜しくも2位でしたがさすがに終わられて良かったです。ダンボールハウス作りでは、他県のクラブ員と協力し、親交を深める事ができました。僕にとってこの3日間はとても凝縮された3日間になりました。このサイコーの思い出は一生忘れません。



## 交流会へそれぞれの想いをのせて



平成 30 年度の吉川松伏少年消防クラブは 56 名のクラブ員が在籍しています。交流会には 56 名から選考を経て選ばれた 6 名が参加しており、平成 30 年度は 5 位、平成 29 年度は交流会 4 位という成果を挙げています。



### 交流会 1 位を目指して

● 指導者 海老原 靖瑛

交流会 1 位を目標に掲げクラブ員と交流会の練習に励んできました。今年は酷暑で練習するには大変な環境でしたが、交流会前日まで、毎日練習を行う集中訓練にてクラブ員の真剣な取り組みにより練習タイムも大幅に更新ができ、目標達成が可能どころまで結めることができました。残念ながら結果は目標達成にはなりませんでしたが、来年の交流会に向けてクラブ活動で積極的に指導していこうと思います。



### 交流会を通して

● 清野 蒼磨

僕は、今回の交流会で新しい事を学びました。それは練習の大切さです。

外での練習しかしていなかったので、大会当日は、練習不足が少しひびいた気がします。しかし、チームのみんなと協力し 5 位に入賞することができました。日頃から消防士の方々で訓練を積んでいる意味がよくわかりました。他のチームとの交流では、あまり会うことのない他県の人達と話す事ができたので、良かったと思います。その他にも、地域の人達による救急訓練などもとても勉強になり、よい経験になりました。



### 交流会に行って

● 金田 彪斗

今年は、千葉県浦安市で開かれた全国交流会に行かせて頂きました。全国交流会には今年で 2 回目の参加で、去年は 4 位という成績だったので、今年は優勝を目指し皆で精一杯練習に励みました。

屋外の練習しかしておらず、酷暑の為屋内の競技になってしまい結果は 5 位…練習してなかったのは言い訳で、自分達の力不足が原因だった結果だと思います。

僕は全国交流会には、もう参加出来ませんが残る人には、これまで以上のタイムを出し優勝を目指してほしいです。

暑中最後まで変えて下さった消防職員の方々ありがとうございました。



### 交流会に参加して

● 笹島 滯

僕は、この交流会に参加して、よかったなと思いました。何故なら、交流会初の室内での開催で、5 位入賞という結果だったからです。

去年は 4 位だったので、順位は下がってしまいましたが、とりあえず入賞できただけよかったなと思いました。来年は出場できませんが、来年は頑う人たちに頑張ってください、よい成績を残してもらいたいなと思っています。



### 交流会を終えて

● 工藤 晶

去年から参加していた全国交流会。去年は 4 位という成績を残して今年が高いところを目指す予定でした。直前の競技変更があり、本番で僕が足を引っ張ってしまいました。しかし、5 位という記録、入賞することができました。来年の全国交流会も選抜に入り中学 3 年という最高学年らしい姿を見せられるようにしたいです。



### 全国大会の思い出

● 戸張 瑛仁

ぼくの交流会での思い出は、沢山あります。一つ目は練習です。理由は暑い中みんなで力を合わせて練習をがんばったからです。だけど出発の 1 日前に室内の競技にかわってしまったので、それはざんねんでした。二つ目は競技です。少ない練習時間でもがんばった成果をだしきり、みんなで協力して競技にとりくんだら 5 位をとれたのでうれしかったです。だけど去年より順位がさがってしまったので少し残念でした。三つ目は、ダンボールハウスです。あまり他の人とかわる時がなかったのでダンボールハウスと一緒に作ったりしてかわることが出来たので良かったです。ぼくはまた全国大会に出ていい記録を残せるようにがんばりたいです。



### 交流会に参加して

● 金田 悠希

僕は、初めて交流会に参加させて頂きました。

7 月に競技の練習がありました。とても分岐が重く落ちてしまいそうで大変でした。練習をしてきたのに、屋内の競技に前日に変わってしまい僕は競技には参加する事が出来ませんでした。チームは 5 位で僕は出てないけど、とても嬉しかったです。出られなかった事がとても悔しくて来年こそは参加出来る様にまた頑張りたいと思いました。



## 初参加！全国の仲間と学び絆を深めた3日間



平成 29 年 8 月に設立した西入間少年少女消防団は現在、小学 1 年生から高校 1 年生の男女 16 名で活動しています。普段は消防署、消防団の行事に参加して地域防災活動を行っています。今回、初めて全国大会に小学 5 年生 1 名と小学 6 年生 4 名の計 5 名で参加しました。競技種目の変更により十分な練習が出来ず不安もありましたが、普段の訓練成果を発揮し、仲間同士の絆を深める貴重な機会となりました。この三日間で学んだ事を今後の活動に活かしていきます。

### 貴重な経験を頂きました。 ● 指導者 小鷹 幹男

過去の全国交流会を見ていた私は、この体験を是非、西入間少年少女団員達にも合わせてあげたい、そう強く願って申し込みを行いました。参加決定後は対抗リレーの本番目指して訓練を行う中で、子供に対する指導の難しさを痛感しましたが、本番で最高の競争をしてくれた子供達の姿を見て興奮しました。特に避難所体験では避難生活をする人達に対する思いやる言葉が子供たちから聞け、体験させてあげて本当に良かったと思いました。

### 指導者から見た交流会！ ● 指導者 杉浦 早苗

指導者として参加させて頂きましたこの3日間は、全国の子供達との交流や、避難所体験等、驚きと感動の繰り返しでした。子供達は夏休みに入り「プールより楽しい」と毎日、消防本部の方々と一緒に懸命練習に励んでいました。一歩前へ出る勇氣と、成し遂げる喜びを、心と体でしっかりと感じ取れたと思います。また、私も含めて沢山の友達が出来たようです。なかには大会の熱い思いを語ってくれた子もあり、とても刺激になりました。この経験で更なる防災意識を強く持ち、地域の担い手となるべく頑張って貰いたい、そして私自身もそうならなくてはと、痛感した時となりました。



### 初めて参加した交流会 ● 吉田 真幸

今回の交流会に初めて参加して、1日目のクラブ紹介がすごく緊張しました。

でも、無事に紹介することが出来て良かったです。クラブ対抗リレーでは、最初の頃は断トツの1位だったけど、後からだんだん順位が下がりましたが、20位の成績が出せうれしかったです。ダンボールハウス作りは大変だったけど、友達と協力して作れたので楽しかったです。だけど、ほんとうに地震が起きて友達と会えなくなって避難所で過ごすことを考えたら悲しいなと思いました。この次に参加するときは、上位を目指し友達と協力しながら楽しみたいと思います。



### 貴重な体験ができた交流会 ● 大橋 昂太

ぼくは、この交流会に参加して、ロープ結索を覚える事が出来ました。本番では、うまく出来たので、ホットしました。避難所体験は東京のクラブ員と一緒に協力して、ダンボールハウスを完成し、みんなで楽しく過ごせ、良い思い出になりました。でも、実際に避難所生活をしている人達は、ずっとダンボールハウスで生活しなければならぬので、大変だと思いました。これからも学んだ事を生かして少年少女消防団の活動にしっかり参加していきたいです。



### 交流会に参加して ● 杉浦 亮太

ぼくは、この交流会に参加し、とても良い体験をしました。1日しか練習が出来なかった雨天障害物競争でしたが、初出場で20位と半分以内に入れてうれしかったです。去年の8月に出来たばかりの少年少女消防団ですが、みんな仲良しで、チームワークが良かったからだと思います。避難所体験では、被災した人達は、ここで何日も生活しなくてははいけない事を思うと、とても大変な事がわかりました。この3日間で学んだ、楽しかったこと、大変だったこと、助け合うこと、これから必ず役立てていきたいです。



### 交流会で学んだこと ● 関根 悠人

ぼくは、初めて少年消防クラブ交流会（全国大会）へ行きました。3日間もあるので、最初はみんなで協力できるか心配でした。1日目の部屋割りには北海道の子と同じ部屋だったので仲よくなるか心配でしたが、部屋でいろいろ話をしたりして仲良くなりました。2日目の競技はみんなで協力できて、ベストを尽くせたと思います。これからもこの交流会で学んだ事を生かして、少年少女消防団の活動にしっかり参加していきたいです。



### たくさんの友達が出来た交流会 ● 本橋 拓磨

初めての少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、不安だった障害物競走で、自分が思っていたより良い成績が出せたからよかったです。

避難所体験では、みんなでダンボールハウス作りをしました。体験してみても思ったことは、ほんとうに被害にあっている人たちは大変だし、苦労しているんだなと思いました。

初出場だけだとたくさんの友達といろいろなことが体験できてよかったです。次はもっとよい成績が出たいです。



## 翔け未来へ！繋げ未来の地域防災！



松戸市少年消防クラブは、松戸市の小金北地区から始まり、結成 36 年目にして、松戸市内全域を対象とするクラブとなりました。現在、小学校 5 年生から高校 2 年生まで 21 名が在籍しています。今回の交流会では、中学生から 5 名を選出し全国大会に臨みました。クラブ員がチームとして一丸となり大会に向けて訓練できたことは、良い経験となり今後の活動に繋がることと思います。



### クラブ員にとっての全国クラブ交流会 ● 指導者 堀江 幸二

松戸市少年消防クラブは今回、初めてとなる全国少年消防クラブ交流会に参加させていただきました。これは、松戸市少年消防クラブとしての念願であり目標でもありました。今までは、限られた市内地域での活動がメインでしたが、今回の交流会参加により、全国から集まった他市クラブ員のチームワークの高さや、日頃から一生懸命に訓練へ取り組む姿勢の高さがあると感じ取れました。このことは、松戸市クラブ員達にとって大きな刺激を受けたと思います。

今回、参加したクラブ員は、この経験を生かし今後、参加できなかったクラブ員達への指導を行ってほしい、更なるクラブの活性化に繋げて行ければと思っております。



### クラブ員の成長 ● 指導者 田代 真弓

松戸市少年消防クラブとして初めて全国大会に参加させていただきました。大会で勝ちたいという熱意や緊張感からクラブ員としての成長が垣間見られ、今後の活動に大いに繋がるものであると感じました。また、全国各地から参加している少年消防クラブ員との交流は、本クラブ員にとって多くの仲間存在を意識付ける経験となったようです。

今回の交流会で得た情報や経験を活かし、他の模範となるクラブ員へと成長していくことを期待します。



### 夏の全国大会に出場して ● エスコバル 啓世 (中3)

僕は初めて少年消防クラブの全国交流会に出場しました。

2日目のクラブ対抗競技会では、僕はアンカーとして出場することになりました。アンカーは重要なのでとても緊張しました。自分の出番になった時は、ボーリングのピンを倒そうと集中していたら時間を忘れてしまいました。結果は思うようにいかず、とても悔しかったです。

そのあと、全国の消防の友達と交流しながら、段ボールハウスを作りました。屋根と壁のバランスが難しかったけれど、全国の少年消防クラブの人たちと仲良くできて、とてもいい思い出になりました。



### チームの絆 ● 丸山 隼人 (中1)

今回の少年消防クラブ交流会に参加して、他県のクラブ員と仲が良くなったり、クラブの紹介がおもしろかったりなど色々、思い出に残りました。

一番思い出に残っていることは、同じクラブの仲間達と頑張ったクラブ対抗競技会です。結果はあまり良くないタイムでしたが、最後まで走り抜き、全員で協力して出したタイムでした。

この3日間の交流会に参加してクラブ員との絆が深まったと思います。



### 全国大会を終えて ● 河邑 結大 (中1)

交流会を終えて振り返ると、クラブ対抗競技会では、上位に入れませんでした。他県の少年消防クラブ員と交流することができて、とても楽しかったです。クラブ対抗競技会の時はどうなるかと心配しましたが、終わってみるとそうでもなく、後からあの時ももう少ししていれば、うまくできた等と考えました。

これからは、この3日間でやった事をクラブ活動に生かして行きたいです。



### 初めての全国大会 ● 小池 瑠奈 (中1)

全国大会出発の日には家族や友達から応援されました。「絶対1位だよ!」、「緊張していたら深呼吸してみよう!」と言われました。そして、本番に緊張した時に友達に言われた通りにしたら少し楽になりほっとしました。

段ボールハウスでは不安で中々寝ることができませんでした。大会結果は1位になれませんでした。悔しかったけど友達は「大丈夫だよ!頑張ったんだから!」と言ってくれて、私はとても嬉しかったです。

3日間、緊張や悔しい思いをしたけど、やっぱり3日間楽しかったから良かったです。



### 全国交流会に参加して ● 尾崎 俐名 エジンネ (中1)

私は今回の交流会に参加しているいろいろな所から来る他の少年消防団の人たちのことを知ることができました。私の場合、ダンボールハウスで北海道の子と一緒にいたのですが、北海道の方言などを教えてもらいました。こんなに良い経験ができて、本当にうれしかったです。たくさんのお話を学べた交流会になりました。



## 全力で駆け抜けた夏！ ～ 全国の仲間と深まった絆 ～



浦安市少年消防団は、平成24年に発足し、現在小学校5年生・6年生71名が在籍しています。月に1～2回、専属の指導員（消防団員）を中心に、規律訓練・放水訓練・救命講習・救助訓練・震災時対応訓練・出初式などの活動を行っています。今年の交流会には選手以外の全団員が携わることができ、とても貴重な経験ができました。この経験を忘れることなく、これからの活動に活かしていきたいと思います。

### 子供たちの成長

● 指導者 岡崎 隆徳

地元開催による大勢の応援の中、優勝という快挙に立ち会え本当に感動しました。

3日間の引率を通じ、選手達を陰ながら支えてきましたが、試合直前から結果発表までの不安と緊張の中、優勝が決まった時の表情がとても印象深く私の心に残っています。

優勝という結果だけではなく、ご家族を含め、仲間達や先生方への感謝の気持ちを忘れない選手達に誇りを感じると共に、子供達が少しずつ大人になっていく過程を垣間見ることができました。



### 友情の大切さ

● リーダー 相馬 結衣 (小6)

交流会に行く前はとても緊張していました。1日目の夕食・クラブ紹介では全国の仲間たちとの交流があり、名刺交換をして緊張がほぐれました。他のクラブの方から話かけられてとても嬉しかったです。

私は、この交流会で全国の仲間たちと友情を深め合うことができました。そして、ともに訓練してきた仲間たちとチームワークを発揮し、浦安市初の優勝を成し遂げました。

これは、大会を見に来ていただいた皆様の応援があったおかげだと思います。

友情の大切さを知ったとても楽しい大会でした。



### 楽しかった思い出

● 引田 花鈴 (小6)

私は、交流会の全てが楽しかったです。2日目の競技は、最初失敗が怖かったけれど、みんなと話しているうちにだんだんと自信が湧いてきて楽しくなってきました。楽しくて、早くやりたくて、うずうずしていました。

スタート前に応援に来てくれた人たちの声が聞こえて、さらに楽しくなってきました。

おかげで本番も上手くいき優勝できました。すごく嬉しかったです。段ボールハウスも、知らない人たちと協力できて楽しかったです。



### 交流会に参加して

● 谷村 友祐 (小6)

交流会はすごくいい体験になりました。特に良かったのは段ボールハウスです。日本は地震が多いので、もし避難所生活になったら自分達がリーダーになって段ボールハウスを作っていきたいです。

前の座席の人と楽しく仲良くなりました。

大会では、中学生に勝ててすごく嬉しかったです。タイムでは2位のチームに負けていたけれどペナルティーなどの減点で勝てました。正確さが大事だと改めて思いました。すごく楽しかった体験です。

### 貴重な体験ができた交流会

● 木内 琢真 (小6)

交流会は緊張したけど、色々な体験ができました。障害物競争は減点を気に付けて頑張りました。仲間とともに今までの訓練成果を出し切れて嬉しかったです。

段ボールハウスは避難して何日も過ごしている人は辛いだろうと思いました。

三日間、他のクラブの人達と話しているうちにニックネームで呼び合うほど仲良くなりました。緊張ばかりしていたけど終わる時は寂しくなりました。また、会いたいです。交流会に参加できて本当によかったです。



### チームワークが大事

● 谷村 浩祐 (小6)

この交流会で一番大切だったのは、仲間とのチームワークです。仲間と一緒に3日間過ごし、一緒に競技をして優勝できたのはチームワークと練習を指導してくれた浦安市消防団員の皆さんや、消防本部の皆さんのおかげだと思っています。

3日間で特に印象に残ったのは段ボールハウスに泊まったことです。最初はちゃんと寝ることができるか心配だったけど、思ったより柔らかくて意外と寝やすかったです。

今回の交流会は仲間の大切さや避難所の生活など、たくさんのがわかりました。



## 発足 55 年！初の全国交流会！



本校消防隊は、昭和 38 年 10 月 6 日に発足しました。5・6 年生を対象に、毎年隊員を募集しており、今年度は 6 年生 6 名、5 年生 10 名が、地元の消防署員の方を指導者として招き、小型ポンプ操作技術の習得をし、運動会で披露しています。55 年の歴史ある少年少女消防隊の良き伝統を引き継ぎ、発展させていくことを目標に毎年取り組んでいます。



### 初めての交流会

● 指導者 小西 あゆみ

消防隊発足以来初の全国交流会への参加となりました。様々な地域の消防団の方々の活躍を見て、子ども達の防災意識を高めることができました。本校は単学級のため普段少人数で活動しています。しかし、交流会での出会いを通して、自分達の活動への自信をつけたり他県の方々との仲間意識を持つことができたりするなど、普段は経験できない貴重な体験をさせていただきました。



### 少年消防クラブ交流会

● 原田 颯夜

私は、交流会で心臓マッサージの体験が心に残りました。最初のメッセージビデオの中高生の事件で友達や必死に声をかける人々の存在が大切ですぐに助けられると良いのだと知りました。もしこのような場面に出会った時に役立てていきたいです。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



### 交流会の思い出

● 吉井 瑠那

私は交流会当日少しきん張しながら家を出ました。この交流会で思い出になったことは二つあります。一つ目は大会本番の競技です。私たちは雨天用の練習をしたことがなくて、少し失敗してしまったことが悔しかったです。ですが結果はいつか必ず役に立つと思いました。二つ目は、段ボールハウスです。段ボールハウスでは神奈川県平塚市少年消防クラブの三人と一緒にしました。平塚の人達はすごく優しく、一日で仲良くなることができました。最初は不安だったけれど、すごくいい思い出になりました。



### 交流会でがんばったことと楽しかったこと

● 長見 皐樹

交流会でがんばったことと楽しかったことは一つずつあります。まずがんばったことは競技のクラブ対抗リレーです。リレーが始まる前はものすごくきん張りました。ベストを尽くせたのでよかったです。そして楽しかったことは段ボールハウス作りです。中学生のお兄さんと段ボールハウスを作るのはものすごく楽しかったです。そしてお兄さん達と仲良くなれてうれしかったです。この交流会を通してみんなといっしょにいるんなことに協力して取り組めたことがよかったと思います。



### 交流会で学んだこと

● 山本 大空

ぼくが今回少年消防クラブ交流会で学んだことは心臓マッサージの大切さです。心臓マッサージをするときは、しっかり手をのばし、力強くおすことだそうです。もし人が倒れていたら、大きな声で大人の人を呼び、AEDが必要なときは、持ってきてもらえるように周りに叫ぶなど救急隊が来るまでの処置の仕方を教わりました。これからはもし人が倒れているのを見つかけたりしたら、見るだけでなく教えてもらったことを生かしていきたいです。



### 楽しかった交流会

● 木村 真菜

今回の交流会では、AED や心臓マッサージなどのふだんはできないことをできたので、とても経験になったしこれからの消防隊に生かしたいと思いました。また、他の地域の消防隊の人達と交流できてとても楽しかったし、他の地域ではどのような活動をしているのかを知ることができました。とても楽しかったしいろいろなお話を聞けたらいい交流会でした。



## みんなが一つになった暑い夏



栄町少年消防団は、平成 29 年に発足しました。小学校 5 年生から中学 1 年生まで 11 名で活動しています。今回の交流会は、全員で訓練を重ね参加しました。今回の交流会には、中学生と小学校高学年で参加しました。この経験をみんなで話し合い、今後の活動に活かしていきたいと思いをもちます。



### 学びと感動の 3 日間

● 指導者 齋藤 栄子

懸命に競技する子供たちの姿に胸が熱くなるとともに、いろいろな方と交流する時間が持てた有意義な 3 日間でした。この貴重な体験を子どもたちが今後の活動に活かしてもらえたらと思います。



### 少年消防クラブ交流会に参加して

● 指導者 海保 里佳

今回初めて少年消防クラブ交流会に参加させていただきました。3 日目の団体行動では、クラブ員達が自発的に行動して協力する姿が多く見られました。他のクラブとの交流では得るものが多く、その中でも浦安市少年消防団のクラブ員達とは特に交流を深められ、多くの体験、良い思い出が出来たと思います。クラブ対抗障害物競走では、一人ひとり自分の役割を十分に発揮して頑張ってくれたと思います。しかし、この結果に悔しがるクラブ員もいました。この思いと体験を大切に今回参加できなかったクラブ員と共に、今後の活動に活かして欲しいと思います。



### 交流会を終えて

● 岩井 凜玖

栄町少年消防団は、今年で発足 2 年目で初めて全国大会に参加しました。今回の大会は、体育館での競技だったので残念でしたが、もやい結びが他の人より早く出来たのでよかったです。浦安市消防団や他の団員の友達と一緒に遊んだりご飯を食べたりして楽しかったです。次の全国大会に出場できる時は、体育館の競技ではなく運動場での競技をやってみたいです。



### 初めてクラブ交流会に参加して学んだこと

● 湯浅 慎之介

僕は、初めて栄町少年消防団の一員として参加しました。参加して学んだ事は、他のクラブの友達との作業の早さやダンボールハウスの作り方、材料や結束の結び方も改めて学び直すことが出来ました。競技が始まる前に僕はすごく緊張しましたが、でも、少しワクワクしていました。僕は、順位は気にしていませんでしたので、みんなで全力でやりきれたので満足して競技を終える事が出来ました。ダンボールハウスを作る時には、緊張から解放された後だったので、楽しく作業が出来ました。来年も参加できたら順位も気にしつつ楽しめようになりたいです。



### 少年消防団交流会を終えて

● 加藤 華南

私は、交流会に初めて参加して浦安の少年消防団と仲良くなったりしてとても楽しかったです。そして、交流会の練習会でのレースでは、雨の日の日程になってしまいましたが、相手チームよりすばやく行動できてよかったです。さらにレースでは良い成績が出てとてもうれしかったです。



### 初の全国大会

● 後藤 陸翔

初の全国大会に参加して、新しい思い出を作る事が出来ました。いろいろな所の消防団や、すごく速いグループがいてすごいと思いました。自分のグループの出番になり少し緊張してしまいました。ロープ結びが完璧にできて、走りも良くでき、自分の全力が出せたので良かったです。ダンボールハウスでは、工夫して作る事が出来ましたが、寝るときは地面が硬くてちょっと痛かったのでもっと工夫しようと思いました。全国大会は、夏休みの思い出の一つになりました。



### クラブ交流会を終えて

● 海保 実為和

今回初めて参加させていただきました。クラブ対抗障害物リレーでは、入賞を逃すのが悔しかったです。来年も参加出来るのであれば入賞したいです。また、浦安市少年消防団のメンバーとも合同訓練を通じて交流を深める事が出来ました。AED 普及のビデオを見ました。救急車が来るまでの間、心肺蘇生をすることによって生存率が上がるという事が分かりました。胸骨圧迫の訓練もしました。もしも自分がこのような場面に遭遇したら冷静に考え行動して人を助けたいです。3 日間良い経験になりました。



## 暑い夏を、熱く超えよう！



日本橋消防少年団は、昭和54年に発足しました。現在、中央区日本橋地区から、小学生から高校生までの135人が在籍し活動をしています。

月に1~2回、防火防災に係る活動のほか、地域の行事等に積極的に参加し、地域と一体となった活動を実施しています。交流会には普段から意欲的に消防少年団活動に参加し、競技等に真剣に取り組む姿勢のある団員を選抜し、日本橋消防少年団の代表として6名が参加しました。



### 挑戦

● 指導者 勝田 崇

昨年度のクラブ交流会の結果を受け、本年度は交流会の競技に参加するだけでなく、上位入賞を目標に掲げ出場するクラブ員と共に訓練を続けてきました。しかし、酷暑対策のため競技が変更になり、一部の隊員の出場ができなくなってしまい残念でしたが、全員が訓練等で培った技術や知識を地域のために活かしてくれと信じています。



### 有意義な交流

● 荒田 幸大

今年は二度目の参加です。競技での上位入賞を目標としていましたが、酷暑対策で屋内プログラムに変更があり、自分は応援にまわることになったのが少々残念でした。しかし、ダンボールでの避難所設営は過去の経験を活かせ、他地区のメンバーと与えられた条件の範囲で少しでも快適に・より楽しく過ごし、有意義な交流ができました。この貴重な体験を団や地域・家族に還元していきたいです。



### 楽しい経験

● 小森 以愛

私は、二回目の全国大会で、友達の大切さ、大会の厳しさ、自分の未熟さ、そして、日々の訓練の大切さなど多くのことを学べたのは、私の人生に大きなことだったと感じています。また、日本橋消防少年団だけでなく、主催者等の関係者の皆様、他の消防団皆さん、段ボールハウスで一緒に活動した方々など、大変ありがとうございました。とても、楽しい経験になりました。



### ダンボールハウス

● 田邊 桃花

私は、初めての全国大会に出場しました。猛暑のため、室内となり対抗リレーがなくなり一発勝負でもとても残念でした。当日は、緊張しましたが練習の成果が発揮できました。他のクラブとの交流が深めて充実した全国大会になりました。また、ダンボールハウスは、作り方も簡単で思ったより安心度も良かったです。私達の町が被害にあった時はダンボールハウス作りを率先してやりたいです。



### リベンジ

● 池田 昭人

僕は、全国初めて大会に参加しました。全国の消防団の人と一緒に段ボールハウスなどを作ったり活動でき貴重な体験をしました。大会では、僕が時間のロスをしてしまい残念な結果に終わってしまいましたが、出来れば、また来年出てみたいと思います。



### 仲間との協力

● 中村 史那

私は、交流会・全国大会に初めて参加しました。そこで訓練を生かす時の「協力」の大切さを学びました。大会では同じチーム仲間との「協力」。実際の災害の時に早く正確にできるように、今回の大会での経験を生かしていけるよう、これからの訓練・活動を頑張っていきたいと思っています。



### チームワーク

● 古川 千愛

私は、今回の全国大会に参加して思ったことが二つあります。一つ目は、チームワークです。大会を通して一番楽しかったこと事がチームで何回も練習し全国のみならず競い合った事です。一位にはなれなかったけれどやりきった感じがしました。二つ目は、いっぱいできた友達です。特に印象に残っているのが本郷消防少年団の子で、たくさん話しました。来年も大会に参加したいです。



## 5人で輝いた夏！ ～ 勇気 挑戦 経験 ～



芝消防少年団員は、昭和54年に発団以来、火災予防広報や社会奉仕活動を通じ、責任感のある人になれるよう活動を行っています。現在小学1年生から高校3年生までの77名が入団しており、今回は小学5年生2名、中学1年生2名、中学2年生1名の計5名が参加しました。

3日間の貴重な体験は、今後の活動に必ず活かしていきたいと思えます！



### 平成30年度少年消防クラブ 交流会(全国大会)を終えて

● 指導者 金井 由光

全国から56団、400名を超える団員が一堂に介し、合同訓練やクラブ対抗障害物競争、自分たちで実際にダンボールハウスを作り避難所宿泊訓練を行うなど、大変充実した3日間でした。

集団生活を通して防災意識と規律を学ぶことは大変意義のあることで、子供たちだけでなく指導者としても良い勉強をさせて頂きました。この経験を自身の消防少年団活動にも活かしていきたいと思えます。



### 交流会に参加して

● 古家 丈太郎 (中2)

今回の交流会は、僕にとって三度目となりました。避難所体験は、友達と協力してしっかりとした囲いを作ることができましたが、前日の柔らかいベッドとの違いは大きく避難所での暮らしの辛さを身に染みて感じました。合同訓練は、三度目ということに加えて、事前訓練を積み重ねたことにより、今までで最高の記録を出すことができました。これからもこの経験を忘れず、様々な事に活かせるようにしていきたいです。



### 二回目の参加

● 関野 魁人 (中1)

今回の交流会は、僕にとって二回目の参加でした。前回と違い、チーム内に下級生がいたことや屋内での競技という点も含めてとてもワクワクした気持ちでこの大会に臨みました。結果は予想以上に良い順位となりました。

また、大会後のダンボールハウス体験では、前回の経験もあり、とてもスムーズに作業を進めることが出来ました。そして、この経験を通して、これからもより多くの消防の知識をつけていきたいと思えます。



### 交流会での経験を生かして…

● 森田 徹 (小5)

僕にとって初めての少年消防クラブ交流会でした。オリエンテーションでは違う消防少年団の人たちと友達になれてよかったです。合同訓練当日は緊張感と楽しさがあふれてきました。自分の担当をしっかりとできたのでほっとしました。段ボールハウスでは一緒に寝る仲間たちと協力しながら作りました。完成したときはみんなと作った達成感とうれしさがあふれました。今回学んだことを災害時役立てたいと思えます。ありがとうございました。



### 中学生として

● 飯塚 翔太 (中1)

今回の交流会は、「中学生」として参加しました。昨年の徳島では、初めての事ばかりで緊張しましたが、二回目のこの交流会では、リラックスして競技に臨むことができました。そして12位になることができ、ダンボールハウスでは、どのグループよりも早く作る事ができたりと楽しい思い出になりました。

今回の少年消防クラブ交流会を通じて、僕は「協力の大切さ」を学びました。次回行く機会があれば、そのことを生かして頑張ります。



### 交流会に参加して

● 細川 大輝 (小5)

今回の交流会で一番に残っているのは、ダンボールハウスです。僕のグループは班のみんなと、交流会が出来るように、仕切りを作らないで会話をできるようにしました。仕切りを作らなかったおかげで、ほかのクラブの人と会話が出来仲良くできました。

冷房がついておりよく眠れましたが、災害時は動かか、動かないかわからないので災害の大変さがよくわかりました。

この交流会で経験したことを災害時に役立てていきたいです。



## 貴重な経験！～ダンボールハウス作りを仲間と協力し合って～



本郷消防少年団は、昭和54年に発足し、団長、指導者を中心に小学校1年生から高校3年生までの団員が一丸となり、災害と防災について学びながら、地域の防災リーダーを目指して頑張っています。

毎月1回の活動では、規律や消防に関する様々な訓練を行うほか、1泊2日の野外キャンプや社会奉仕活動などを行っています。また地域のお祭りやマラソン大会に参加し、防火防災の広報を行う等、地域と係る活動が多いのも特徴の一つです。

### 仲間で行動する大切さについて

● 副団長 藤本 勝広

段ボールハウス作成では子供たちが心と和らげる住空間を作っていることに興味しました。子供の発想で被災した人たちの気持ちを和らげられること、仲間で行動することの大事さなどをもっと学んでみたいと思いました。

### 全国交流会に参加して

● 指導者 北川 恵美子

団員達と共に全国交流会に初めて参加し、非常に充実した時間を過ごすことができました。防災競技でプラカードを掲げながら最も近くで団員達の応援ができ、感激で胸がいっぱいになりました。さらに段ボールハウス作りでは、徳島の皆さんと団員達がすぐ仲良しになり、協力して工夫を凝らし、かわいい「ホテル」を完成して、皆で満面の笑顔でした。避難所体験で気づいた課題等、今後の活動に生かしてほしいと思います。



### 全国交流会に参加して

● 北川 拓実

ぼくは、初めて全国交流会に参加して、たくさんの貴重な体験をすることができ、とてもよかったです。本郷消防署では何度も練習を積んだ防災競技では、チームワークを発揮してみんな一生懸命頑張りました。そして、ダンボールづくりでは、北九州の中学生の皆さんと楽しく交流しながら、初めての避難所体験をしました。九州の方言を学んだり、日頃の訓練の共通点や違いなどを聞くことができて、良い勉強になりました。



### 仲間と協力して学んだこと

● 荻野 梓

私は全国交流会で、様々なことを学びました。例えば仲間と協力することです。仲間と協力してリレーを繋いだりダンボールハウスを作ったりすることで仲を深め、楽しい交流会に参加することが出来ました。また、他の消防少年団の仲間と仲良くなり、沢山話したり一緒に一つのものを作ったりしました。遠く離れた場所に住んでいる子たちの私たちと違った悩みや楽しみ、私達と共通した考え方等に気づくことが出来ました。全国交流会に参加し、貴重な体験をすることが出来たと思います。



### 交流大会に参加してみよう

● 野口 哲生

僕が印象に残ったことは2つあります。一つ目は、2日目の全国大会です。理由は初参加で48位にならなかったからです。僕の目標は、20位以内でした。目標に届かなくて悔しかったのですが、最下位にならなくてよかったです。二つ目は、ダンボールハウス作りです。なぜかという、ダンボールハウスを作ったことはなかったからで、いい経験になったからです。来年は今年かなえられなかった目標を実現させたいです。

### 少年消防クラブ交流会を通して

● 中村 香々

一番心に残ったのは段ボールハウスで寝たことです。徳島の板野東部少年少女消防クラブのみんなと段ボールハウスの絵を描いたり、ダンボールが固く、少し寝にくいなと感じましたが、実際の被災地に近い環境を体験することができたのは、とても貴重な経験でした。災害が起きたらと思うと怖いですが、この経験を活かし、本郷消防少年団員として積極的に動きたいです。



### 大切なこと

● 大渡 美穂

私は今回の交流会で全く違う場所に住んでいる人と分け合えることを学びました。2日目の夜「段ボールハウス作り」では初めてのグループ（徳島県）と合同で作業を行いました。仲良くなるのが出来るかととても不安でしたが仲良くなるのが出来るとも嬉しかったです。これからは、初めて会う人を苦手とは思わずにまず話かけることから始めようと思いました。



## 貴重な体験と思い出に感謝して



日本で有数の観光地である「浅草」が管内の日本堤消防少年団は、地域の防災力向上を目指して、基本訓練や社会奉仕活動に励み、地域住民だけでなく、観光客や外国人の皆さんに、防火防災の心が伝わるようにと元気に呼びかけています。

今回は、中学2年生の双子をリーダーにして、中学1年生の2名、小学6年生1名、小学5年生1名が団の代表として、頑張ってきました。



### 大きく成長できる3日間

● 指導者 鈴木 清美

全国大会は、普段の消防少年団活動以上に、子供達が大きく成長する場であると感じています。初めは自分から手を挙げるのを躊躇していても、合同訓練の作戦を立てたり、競技で全力疾走したりする間に「皆のために自分は何をすべきなのか」を考えて行動するようになります。避難所体験では、他県の仲間とすぐに打ち解け協力し合う姿に、子供達の力は素晴らしいと思うばかりです。

子供達には、全国大会での経験を活かし、日本堤消防少年団の中心となって活動してほしいと思います。



### 思い出ベスト3

● 横山 龍聖 (中2)

僕は、全国大会で思い出に残ったことが三つあります。一つ目は、全国各地の少年消防クラブの人と交流し、友達ができたことです。二つ目は、合同訓練の競技で日本堤の仲間達と協力し合い、その結果、昨年の競技の順位より上位だったのうれしかったです。三つ目は、ダンボールハウス作りで、自分たちで考えて工夫したハウスの中で一晩を過ごしたのは楽しかったです。

この思い出・経験を活かして、今後の活動も頑張ります。



### 全国大会で力を入れたこと

● 植野 龍之丞 (中1)

私はこの三日間にわたる全国大会で、特に力を入れたことが二つあります。

一つ目はクラブ対抗障害物競争です。いよいよ日本堤の出番の時、正直怖かったのですが、いざスタートすると意外に安心して走ることができました。二つ目は避難所体験で、ダンボールハウスを平塚市少年消防クラブの仲間と協力して作ったことです。なかでも、羽崎君が色々な物を工夫して作ったので、すごいと思いました。その後は、みんなですべて「人狼ゲーム」を行い、あまりの面白さに時間を忘れるほどでした。

この3日間で貴重な仲間ができました。また次回も、参加したいです。



### 交流会の思い出

● 清水 春乃 (小6)

私は、今回の少年消防クラブ交流会で、みんなと仲良くなることができました。同じ少年団にいても今まであまり話さなかった人とも話すことができたし、クラブ紹介の時に近くの席だった少年クラブの人達とも仲良くなれ、楽しかったです。

競技では、全力を出してがんばりました。日本堤の6名で協力してできたので、よかったです。ダンボールハウス作りも協力して作業しているうちに、初めて出会った相手でもどんどん仲良くなることができ、夏休みのよい思い出になりました。

帰りは少しさびしかったけれど、三日間すごく楽しかったです。



### また会いたい

● 横山 琥珀 (中2)

僕は、昨年に引き続き、日本堤消防少年団の代表に選出され、全国大会に参加しました。この三日間の中で最も思い出に残っているのは、ダンボールハウス作りです。理由は、一緒に作った平塚市少年消防クラブの男子二人と仲良くできたからです。他にも大井消防少年団の人達と新しく友達になり、昨年の大会で知り合った芝や本田の消防少年団の仲間と再会できたので、とてもうれしかったです。

来年もまた全国大会に参加して、みんなに会いたいと思います。



### 三日間の中で

● 梁井 亜里彩 (中1)

一日目、出発する時はとてもワクワクしていましたが、少し緊張もありました。初めて会う人と過ごすことが心配でもあり、楽しみでもあったからです。二日目の障害物競争は初めてだったし、多くの人達の前で競技するのはとてもドキドキしたけれど、楽しかったです。避難所体験のダンボールハウス作りも徳島県の穴吹少年少女消防クラブのみんなと協力して楽しめました。

あつという間の三日間でしたが、その中で命の尊さ等多くを学びました。みんななどのお別れはさびしかったけれど、たくさん人とふれ合えた三日間でした。



### いろいろな体験

● 大崎 櫻子 (小5)

一日目は、日本堤のみんなと集合し、電車に乗り会場に行きました。2泊3日の荷物が入ったリュックはとても重く、かたがとももいたかったです。クラブ紹介の1分間の発表は、たくさん人を前にして、とてもきんちょうしました。

二日目にいよいよ合同訓練やびなん所体験でした。競技はとてもきんちょうしました。けっかは負けてしまったけれど、楽しかったです。ダンボールハウス作りでは、ほかの少年クラブの人達と仲よくできました。

三日目、報告会で、東日本大震災のことを聞いたり、浦安市少年消防団の訓練を見て、とても勉強になりました。全国大会でいろいろな体験ができてよかったです。



## 目指せ！地域の防災リーダー！



大井消防少年団は昭和51年に発足し、小学2年生から高校3年生までの総員65名で活動しています。今回の交流会には中学1年生3名、小学6年生2名が参加し、毎日の訓練成果を発揮することができました。交流会を通して得た経験を生かし、地域防災の担い手として積極的に活動していきます。

### 交流会に参加して

● 指導者 野口 清彦

今年も大変な暑さで室内でのゲームとなった。長い時間の使い方に幅が無いところが何とか過ごせたのは日頃の成果か。避難所訓練では、全く知らぬ子供らがすぐに親しくなって協力し合い、遊び始める姿は何とも良いものだ。消灯後の会場の明るさは眩しくて不快であったが、実際ならあの明るさは必要だなと思っておすと、貴重な体験であった。

### 交流会を通して感じたこと

● 指導者 平田 勇貴

指導者として初めての交流会参加ということで不安な気持ちが少しありました。少年団員を連れて会場に到着すると「時間を見つけて訓練したい！」と熱い気持ちをぶつけて来てくれて励みになりました。競技では訓練成果を十分発揮してくれて、避難所体験では他のクラブの子供たちとすぐに仲良くなり、創意工夫しながらダンボールハウスを造る姿に感動しました。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。



### 全国大会に行って

● 富口 馨

僕は、全国大会に行けて良かったと思いました。なぜなら災害の被害にあった方々の生活や気持ちなどテレビで見ただけでは分からないことを体験できたからです。1日目のホテルでの寝泊りとは比べると自由が少なく、ほとんど疲れが取れませんでした。競技会の結果は13位と良い成績を残せたと思うので良かったです。



### 少年消防クラブ交流会を終えて

● 石井 知晴

私は、少年消防クラブ交流会に参加することができ、とてもよい経験となりました。この交流会で得たもの、交流会で経験したことをメンバーで共有し、チーム力を高め合っていきたいです。そして来年も頑張ります。



### 全国大会を終えて

● 増田 龍

僕は、今回13位という成績を残せて本当に良かったです。競技では、バーをくぐるときに少し当たってしまいました。次にもし出られるとしたら、そこに気を付けたいです。避難所体験では避難したときに何をすれば良いかが分かりました。また、避難所では明るさや温度の調節などは自分で出来ないで、毛布やランプなどを持って行った方が良いと思います。今回とても楽しかったので、もしできたら次も参加したいです。

### 少年消防クラブ交流会に参加して

● 瀧本 琉椰

僕は少年消防クラブ交流会の障害物競走でホースボウリングをしました。練習では上手にできていたのに、本番では緊張したりホースの大きさが違ったりして2本落ってしまいました。ピンが全部倒れていたなら、もっと上位だったのと思うと、とても悔しかったです。すべてのピンを倒せている人もいて、すごいなと思いました。障害物競走では良い結果を残すことはできなかったけど、良い思い出になりました。



### 全国大会

● 井上 豪

僕が全国大会で一番楽しかったことは、ダンボールハウス作りです。なぜかという、友達と協力して作り、知らない人と生活する大切さと難しさを実際に体感できたからです。また、障害物競争では練習の時より数倍の力を発揮することができ、13位の成績を残すことができました。僕はこの大会で学んだことを生かして、今後の少年団活動に取り組み、地域の防災リーダーになって災害に備えていきたいです。



## 仲間とともに走り抜けた 「2018 夏」

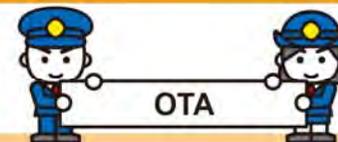


大森消防少年団は昭和52年に発足、現在は90名を超える団員で基本訓練をはじめ、地域のイベントなどに積極的に参加し、火災予防広報など日々活動しております。今回の交流会に参加させてもらい、全国の同じ志を持った仲間と過ごした時間は、貴重な経験を得たとともに大きな自信となりました。今後はこの経験を大森消防少年団で活かし更なる向上を目指していきたいと思っております。

### 平成30年度少年消防クラブ交流会に参加して感じたこと

● 指導者 漆山 雅一

交流会の参加はこれで2回目になります。今年は北海道から沖縄までの56クラブが参加していました。あいにくの天候(猛暑)で合同訓練は室内になってしまいましたが、子供たちは充実した有意義な経験ができたと思います。今回参加させて頂いて、段ボールハウス(避難所訓練)の経験ができたことが非常に良かったと思います。実際に災害等が起きないと避難所での生活(寝泊り)はできません。なかなか経験できなかったことなので、自分にとっても非常にいい経験になりました。消灯しても体育館の中はとて明るくあれでは体(心)も休まらないと思いましたが、事務局におかれましては、この大会の準備、運営、進行をスムーズに行えるように大変ご苦労があったと思いますが、今後も宜しくお願いいたします。



### 全国少年クラブ交流会

● 小澤 峻

全国大会が行われたのが8月1日から3日で、約10日前は大森少年団でのキャンプでしたが、疲れもなく、目的にはある程度本気を出すことができたと思います。大森消防署長も激励に来てくれて「ホース投げではストライクを取るんだよ」と言ってくれましたが、難しかったです。広い体育館で段ボールを使い自分のスペースを作り覆ってみました。隣が気になったり、避難所での生活は大変なんだと思いました。



### 消防クラブ交流会に参加して

● 上原 友希

私は交流会に参加して誰とでも仲良くなれると思います。人それぞれの個性が違うから、私から見る視野がどんどん広がって人への接し方が変わりました。人見知りをする人、フレンドリーな人、その人のペースに合わせてゆっくり時間をかけて仲良くして、友達と思えるようにしたいです。

そのためにもっと人と人の交流を深められるように頑張ります。



### 楽しかった消防交流会

● 小藪 彩海

私は今年初めて交流会に参加しました。二日目の競技会は、スピードが遅くて負けてしまい残念でした。二日目の夜の段ボールハウスは他の少年団と協力して工夫して作ることで、とても楽しかったです。

他の少年団との関わりを深くすることができたので良かったです。来年また参加したいです。

### 初めての少年消防全国大会

● 木下 富美之

初めての全国大会なので、少々緊張して参加しました。一日目のミーティングでは、北海道から参加の人達もいて、少々驚きました。

二日目の大会では18位の結果でした。午後に行った大浴場がとても気持ち良かったです。段ボールハウスは天井にカバーをしたら、よく寝られました。この三日間で先輩たちと仲良くなれて、とても楽しかったです。



### 消防交流会の楽しい思い出

● 小藪 咲海

私は交流会を通して他の少年団の人と仲良くなり、話をすることで他の少年団の活動内容を知ることができとてもよかったです。大会当日に雨バージョンで室内ですることになりました。結果は遅く残念でしたが競技をやりきれたのが嬉しかったです。夜の段ボールハウスは床を2枚に工夫したので一枚より柔らかくて気持ちよかったです。来年またできれば参加したいです。



## 悔しい夏の思い出！ この経験をこれから活かしていきます！



蒲田消防少年団は、昭和53年に発足し今年で40年を迎えました。団員は小学2年生から高校3年生までの37名です。活動は月に2～3回で、D級可搬消防ポンプの操法訓練をたくさん実施しており、地域の防災訓練などで披露しています。少年消防クラブ交流会への参加は今回で3回目です。毎週のように事前訓練を重ねてきましたが、上位入賞を果たすことができませんでした。今回の経験をこれからの活動に活かしていきたいと思います。

### 全国交流会を終え得たもの

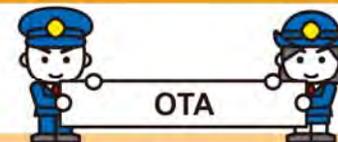
● 指導者 長谷山 清隆

今回、全国交流会の指導者として参加させて頂き、他のクラブとの交流により、自分の所属するクラブには無い訓練内容などが知れて参加して良かったなと思います。今度、新しく知る事の出来た訓練などを今後の消防少年団の活動で活かしていきたいと思いました。また、この全国交流会のような活動があるのであれば、今後の蒲田消防少年団の活動を活発にする為ぜひとも参加していきたいです。

### 団員たちと過ごして

● 指導者 小川 怜美

私自身、全国交流会へは初めての参加でしたが、大変良い経験を積むことが出来ました。まず、メンバー決定後、競技会に向け積極的に訓練に参加し、協力しあう団員達に熱いやる気を感じ大変頼もしく感じました。本番でもそれまでの訓練成果をしっかりと発揮できたと思います。また、3日間を通し、他県の少年団との交流も深めると共に、お互いの違いなどを発見し、今後に活かせる事を学び取ろうとしていた姿は印象的でした。何より楽しそうに過ごしていた団員達を見、私自身今回の経験を今後の活動に活かしていきたいと強く思いました。



### 交流会で心に残ったこと (学んだこと)

● 高橋 篤志

僕が少年消防クラブ交流会に参加して心に残ったことは2つあります。1つ目は、オリエンテーションでチアダンスを観たことです。生で観たことがとても心に残りました。その後の夕食もとてもおいしかったです。

2つ目は、合同訓練です。本番まで室内でやる練習をしていなかったため、練習の成果を発揮できずにとっても残念でした。ダンボールハウスを作ったり、そこで寝たのは初めてで経験出来てよかったです。結果はどうであれ楽しめたのでよかったです。機会があればまた参加したいです。



### 交流会で知ったこと

● 渡辺 美優

とてもよい経験ができたなと思いました。それは、たくさんの人と話をして仲良くなれたり、チームワークがよくなったからです。最初は初めての人に名刺を渡すことが出来ませんでした。だんだん楽しくなって自分から渡せるようになりました。そういう積み重ねでチームワークや新しい友達ができるんだなと思いました。合同訓練では、直前までダメな自分ばかりを考えてしまいましたが、本番では全力をつくせたのでよかったです。1位にはなれなかったけど、ベストをつくせたい、いい経験が出来たので、また参加したいです。



### 蒲田消防少年団

● 福崎 海希

8月1日～8月3日、全国交流会に初めて参加しました。結果はあまり良くなかったですが、でもチームの人達と仲が深まった上に、技術、知識が今まで以上に学べたかと思っています。大会当日、色々な県の人達の対戦を観たりして良かった所をまねしてこれからの練習に使っていくことが出来ると思いました。その後のダンボールハウス作りで熊本の消防団の人達とアイデアを出し合い作って楽しかったです。この経験も今後の活動や生活などに活かしていきたいです。



### 少年消防クラブ交流会に参加してみた

● 石川 葉月

私は少年消防クラブ交流会に参加している色々なことを学びました。例えば、ほかの少年消防クラブの人達のすごさなどです。この体験を通して、お世話になった方々や友達になってくれた人達にお礼を言いたいです。少年消防クラブ交流会に参加できたこと、蒲田消防少年団の代表として選ばれたことがとてもうれしかったです。これからは、この体験を、参加できなかった団員に教えてあげたいです。



### 行ってきたよ！交流会

● 小山 正力

僕は今回初めて参加したのですが、すごくいい経験ができてとてもよかったです。特にチームワークの大切さに気づくことができました。合同訓練はとても思い出に残っています。ダンボールハウスで他の少年消防クラブの人達と一緒に寝たりしたことは学校の防災の授業でも発表しました。とても貴重な経験でした。この経験を実際に災害に合ったときに役立てられるようにしていきたいです。来年も参加することができれば、合同訓練でもっと良い結果を残したいです。今回たくさんの方にお世話になりました。どうもありがとうございました。



## 全国の仲間と絆を深めた3日間



矢口消防少年団は、昭和53年3月27日に発団し、小学3年生から高校3年生までの団員45名で活動しています。今年の交流会には中学1年生1名、小学6年生1名、小学5年生3名の構成で参加しました。全国の少年消防クラブ員と交流を図ることができ、とても良い経験となりました。

### 交流会の経験を活かそう

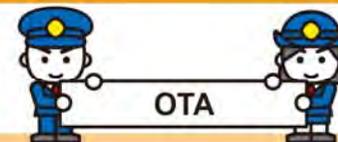
● 指導者 西村 啓子

素晴らしいホテルでの宿泊、交換会で団員は普段にない神秘的な顔を見せました。熱中症対策で冷房の効いた体育館での合同訓練、避難所体験。室内の為ホース延長して競技出来ず残念でしたが、段ボールスペース作りでは協力し、其々の工夫もあり楽しく体験出来ました。浦安市消防団の災害時パトロールの記録、少年団の発表、勉強になりました。参加団員には、この貴重な経験を活かして欲しいと思います。関係者の皆様に感謝致します。

### 交流会での経験

● 指導者 川畑 尚輝

今回少年消防クラブ交流会に初めて参加しました。全国に少年消防クラブがあるのは知っていましたが一堂に会する機会がほとんどないため、全国の少年消防クラブが集まるこの交流会は貴重な経験でした。また避難所体験も実際に一泊過ぎて問題点や注意点が分かり、避難所生活をしている人の苦勞が少し理解出来ました。他クラブの団員と仲良くなり指導者とも意見交換が出来たため、参加した甲斐があったなと思いました。



### クラブ交流会の感想・反省

● 古田 一史

僕がこの2泊3日で学んだことは、どれだけ1人が救助活動を一生懸命にしているより、周囲の人と、協力して、救助活動することがなによりも大切だということです。そのために、日々訓練して団結力を深めていき、いざというときに行動することです。この交流会では、この団結力や知識を学び試されました。これからは、この交流会で学んだ反省点を直していき、さらなる団結力を身につけていきたいと思います。



### 友達

● 諏佐 翔太

僕は、今回、交流会で救命講習や障害物競争などから全国の人が集まるという良さを知りました。初対面の人とすぐに仲良くなることができました。2泊3日という時間を共に過ごすということと同じ少年消防クラブに入っていることで仲良くなったものだと思います。この思い出を忘れられないものにして自分の所属するチームをよりいっそう盛り上げていきたいです。



### 全国大会で学んだこと

● 野溝 咲歩

私が全国大会で学んだことは仲間と協力することです。なぜなら障害物競争でチームの皆と協力してゴール出来たからです。私1人では絶対にゴールできなかったと思います。結果はあまり良くなかったかもしれないけど、私にとっていい経験をしたと思いました。また来年、交流会・全国大会に行くことができれば今年のことを活かして、もっと練習して頑張りたいです。

### 大会で知ったこと

● 近藤 皓介

僕は、全国大会に行って結果ばかりから2番目でした。僕は、大会の日に大切なことを知りました。その大切なことは「東日本大震災」のことと、震災で亡くなった人のことです。災害のことで亡くなった人は多かったのですが助かった人が避難したことがすごいと思いました。災害が起きないでほしいけど、避難訓練が大切だと思いました。



### 交流会で学んだこと

● 鳴海 虎汰朗

僕は、1日目は、電車に乗って4時くらいに着きました。部屋で着替えて、ホールで夜ご飯を食べました。2日目は、会場に行って競技をしました。後ろから2位でしたが自分では、頑張ったと思いました。大会では、負けてしまったけど他の団員とも交流と練習が楽しくできました。初めて、ダンボールベッドで寝ました。翌朝は、肩が痛かったです。でも被災地では、ベッドとして使用しているようなので心配です。貴重な体験をした交流会でした。



## 出会いと交流…そして成長 ~ 交流会に参加して ~



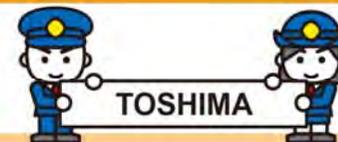
豊島消防少年団は、昭和54年に発団し、現在、鈴木団長以下13名の指導者と小学3年生から高校3年生までの50名の団員で活動しています。今年の交流会には中学生団員5名、小学生団員1名で参加しました。全国の少年団員と交流を深めることができ、団員達の大きな成長につながった貴重な夏の3日間となりました。



### 団員たちの成長

● 指導者 鈴木 謙二

今回の少年消防クラブ交流会（全国大会）はディズニールランドのある千葉県浦安市での開催で、東京方面からは近く、競技会当日は事務局職員や指導者も応援に駆けつけて戴いたのですが、あと一歩のところでした。その後のダンボールハウス作りでは、他県の団員達と協力し合いハウスを作り上げました。3日間の交流会で他の少年団員とも友達になり、自主的に行動するようになり、良い経験になったのではないのでしょうか。



### 少年消防クラブ交流会

● 長谷見 恵亮

僕は今回が2回目の参加となりました。同じ少年団の子と仲よく協力して3日間過ごせました。

2日目の合同訓練では、上位入賞はならなかったけれど楽しくレースをすることができました。ダンボールハウスは他の少年団の子と協力して作ることができました。

今回の合同訓練を通して他の少年団との結束ロープの結び速さの差などがわかりました。これから日頃の訓練で速さも意識してやってみようと思います。楽しい3日間でした。ありがとうございました。



### “もしも”の為に

● 海老名 理沙

日本では毎年、大災害が必ずと言ってもよい程発生している。その災害に備える事、知識を身に付ける事がどれだけ重要なかを普段の少年団活動より深く知る事が出来た。平和な日常生活はいつ奪われるのか分からない。2日目の避難所体験での入浴やダンボールハウスでその事を体験して改めて、私達の当り前を奪う災害の恐ろしさを認知することが出来た。今回、交流会で学び得た事を、今後の少年団活動、そしていつか起こり得る災害に活かしたい。



### 避難所生活体験を通して

● 駒場 凜

2日目の夜の避難所体験は、思っていたよりも大変なものでした。ダンボール1枚の壁は人と人の距離が近く、プライバシーが守られていないと感じました。同じブースの団の人との交流は楽しかったのですが、生活するのは大変だと思いました。また、睡眠時は寝にくさを感じ、災害が起きてしまった際にはそんな生活が何日も続いてしまうのは辛いと思います。今回の体験を通して今の平和な充実した毎日がとてもありがたく感じることができました。



### 交流会に参加して

● 宗像 亜香里

8月1日～8月3日、とてもよい体験ができました。特に全国から集まった仲間たちとの交流はとても有意義なものになりました。それぞれの地域の良いところを教えあったりして、とても楽しい時間を過ごすことができました。他にもダンボールハウスの設営等、普段は体験できないようなことを体験することができました。この貴重な体験を忘れず、いざという時に役立てられるようにしたいです。



### 全国大会を終えて

● 今野 力海

僕は交流会に出るのが初めてで、競技で結果がうまく出ることが一番不安でした。でもチームで助け合いたくさん練習してやりきることができました。結果はあまりよくなかったけれど、チームのみんなで助け合いはげましあって最後までやりきることができたというのはとてもいい経験になりました。そして体育館でダンボールの中で寝ることや遠くはなれた県の人と話すというのは、とても貴重なことなのでとてもいい思い出になりました。

来年の参加に向けて訓練をがんばりたいです。



### 交流会に参加して

● 中川 燿

僕は池袋駅から電車に乗って交流会会場、千葉の舞浜に行きました。交流会に出場するのは初めてなので、少し不安でした。1日目に泊まるホテルに着いた時には緊張感はなくなっていました。1日目の夕食の前には他のクラブの照会があり、沖縄や北海道、どこも千葉から離れている場所からエントリーしているクラブがあり驚きました。夕食後は2日目の障害物リレーの順番決めをしました。2日目は体育館に行き障害物リレーを行いました。僕はアンカーでしたがフライングをしてしまったのでペナルティータイムを付けられてしまいました。夜には段ボールハウスを作り、他のクラブの人と寝ました。3日目は段ボールハウスの片づけをした後に東日本大震災の時、消防団は何をしてきたかを教えてもらいました。その時の事を聞いていると本部で会議をしていたり自宅待機の団員がいたことを知りました。その後は豊島が一番早く出てお土産を見ていました。また選ばれるように頑張りたいです。



## 成長できた3日間



本田消防少年団は、団員63名で地域の防災リーダーとして活躍することを目標に、日々訓練に励んでいます。今回2回目の参加ということもあり、昨年よりも順位を上げることができ、団全体の士気も高まりました。

大会を通して、個人のスキルだけでなく、チームの結束力や指導力も身に付けることができ、『本田消防少年団』として大きく成長することができました。この経験を今後の消防少年団の活動に活かしていきたいと思っています。



### 大会を終えて

● 指導者 遠山 正行

今回で2回目の参加でした。メンバーも一人交代したのみで、大会に臨み前より順位を上げる事が出来ました。他の消防クラブが、どんな活動や活躍をしているか団員達が興味を持ち、良い事を取り入れて活動に活かしたいと感じていました。この大会を通じて、団員の更なる結束をより強く感じました。また、多くの関係者の皆さんの協力を強く感じました。この大会が、継続されることで、全ての子ども達の更なる成長とともに、クラブ同士が切磋琢磨してステップアップできるように指導をして行きたいです。



### つづく目標

● 安嶋 義之

僕はこの大会に出場するのが2回目です。去年から練習している成果もあったのか、今回は8位になることができました。去年は出場組の半分にも満たない順位で、すごく悔しい思いをしました。そこで今回、このような成績をこのチームでつくることができたのはすごくうれしいです。でも、まだ優勝ではありません。この目標を達成するためにも本田のチームの力で来年こそは優勝したいです。



### 全国大会を終えて…

● 横松 晃輝

今回の全国大会は2回目の参加でした。前回の全国大会で、段ボールハウスで一緒になった他の消防少年団の仲間と再会することが出来ました。今回も段ボールハウスで一緒になった消防少年団員と仲良くなる事が出来ました。今回は広島から来た消防少年団員でした。初対面でも一緒に同じ作業をすることですぐにうちとけることが出来ました。合同訓練では、前回の順位31位から今回は8位になることが出来ました。全国大会では、他の消防少年団員との交流を深めるとともに、日頃の成果を発揮することができて、とてもいい経験になりました。来年もぜひ全国大会に参加して表彰台に上りたいと思います。



### 三日間の思い出

● 古内 五十鈴

私にとってこの三日間はとても楽しく大切な思い出になりました。私の一番の思い出は、段ボールハウス作りです。私は、段ボールハウスを作るのは初めてだったので、上手にできるかという不安と、どんな風に作るのかという楽しみもありました。段ボールハウスは、気泡緩衝材と段ボールを床に敷き、壁を作るという簡単な作りだと最初は思っていたけれどなかなか難しかったです。学んだことを忘れずに活かそうと思います。



### クラブ交流会に参加して

● 水貝 菜々羽

私たちは今回8位という良い結果を残すことが出来ました。その裏では沢山の人が私達を支えてくださいました。練習の時、どうすれば早くできるか、結び方のコツなど様々なことを教えてもらいました。当日には、沢山の指導者、消防署の方が来て差し入れをくださいました。本当にありがとうございました。そして、一緒に大会に出たメンバーには沢山の助けられました。今回のことは忘れられない楽しい思い出となりました。今後の活動に活かしていきたいと思っています。



### クラブ交流会に参加して

● 伊藤 つぼみ

私は今年の少年消防クラブ交流会に参加して学んだことがありました。去年、一度クラブ交流会に参加しましたが結果を残せなかったのが、今回はいい結果をとりたくて練習も去年より力を入れて取り組みました。まず、3日間たくさんの人とコミュニケーションをとって人と関わることの大切さを学び、一人で過ごす3日間の何倍も充実して過ごせました。そして、いい結果がとれたときの喜びと感謝の気持ちも学びました。たくさんの人に支えてもらって、指導者さんが助けてくれて、体育館の練習ができたお陰でいい結果がとれたのだと、とても感謝の気持ちを感じました。人がどれ程大切なのか、改めて考えた3日間になりました。



## 全国大会で学んだこと



葛西消防少年団は、小学1年生から高校3年生までの45名で活動しています。規律、三角巾を使った応急処置、結索、D級ポンプ操作を中心に訓練を行い、老人施設慰問や広報活動を通して社会に出て役に立てる人間になれるよう、元気に活動を行っています。



### 本当に多くのことを学んだ3日間 ● 指導者 吉田 修治

徳島大会に続いて参加させて頂きました。本当に素晴らしい活動だと思えます。全国の各クラブの代表が集い、活動で身につけた技術力と豊富な練習量から得た自信が団員を一回り大きく成長させていると思います。特にこの大会は主催地の浦安市消防少年団の活躍が素晴らしく、競技においては優勝され、演技披露は集団救急事故初期対応訓練で訓練成果を十分に発揮され、本当に良かったです。

他のクラブの行動一つ一つが大変参考になり、普段の活動が目に見えるようでした。この経験を今後の活動に取り入れて行きたい。



### 初めて指導者で参加して思うこと

● 指導者 赤穂 一愛

今回初めて指導者として参加して、団員で参加した時よりも充実した活動になりました。沢山のクラブチームにご迷惑を掛けてしまいましたが、全国の仲間達と仲良くすることが出来ました。良い結果を残すことは出来ませんが、これからの活動も頑張りたいと思います。



### 2回目の全国大会

● 嶋本 和久 (中2)

今回の全国大会は昨年が続いて2回目だったので、とても楽しく参加できた。1日目に泊まったホテルは、部屋が広くベットも多きくてそして夕飯も美味しかったので、ついテンションが上がってしまい、夜遅くまで起きていて指導者に注意されてしまった。

2日目、僕が担当したホースボーリングは、前はストライク、今回は2本倒せなかったことが、悔しかった。

3日目、AED訓練では、人形ではなく押すや音の鳴る物を使い、少し難しかった。

今回反省することもあったが、皆で協力して活動出来た。



### いっぱい交流出来たこと

● 上村 美紀 (小6)

浦安の全国大会に参加しました。私は、人見知りなので、人なかが苦手だったけど、いっぱい色々な人と話しが出来ました。特にいっぱいしゃべれた日は2日目の競技大会でした。隣の席のチームが大森と鎌田の少年団でした。鎌田の団員はマジックが出来てとても楽しかったです。夜は、ダンボールハウスを同じ班の団員と協力して作り、部屋は仕切りがあってとても寝やすかったです。

3日目は、救命講習が行われたので、この経験をクラブの練習で生かしたいと思いました。

出場は2回目ですがとても楽しかったです。



### 学んだ3日間

● 中山 将智

昨年の徳島大会に続いて2回目の参加となりました。浦安は自宅からも近く練習もしていたので、競技は練習通りに出来ました。他のクラブ員にご迷惑を掛けてしまいましたが、本当に申し訳ないかと反省しています。この三日間を通して学ぶことがたくさんあり、この知識と経験を今後の活動に生かして行きたいと思えます。



### 全国大会で学んだこと

● 尾畑 貴太郎 (中2)

全国大会で学んだこと。僕は、今回全国大会に参加して、3つことを学びました。

1つ目は、友達を作る大切さです。同じ趣味の人から沢山のことを教えてもらいました。

2つ目は、協力して競技をすることです。仲間が応援してくれたので、前回失敗した平均台から落ちずにクリア出来たので自分でも満足できました。

3つ目は、ダンボールハウスでの宿泊体験です。自分が体験して、初めて被災者の初めは、普段から大変な思いをされているのだと知りました。又、全く知らない仲間と話し合っ、作ったことが、良い思い出になりました。



### 仲間と協力出来た楽しい思い出

● 赤穂 真幸

徳島大会に続いて2回目の参加になりました。一緒に参加した団員もそれぞれ経験をしていたので、競技では、少しでも良い結果を出せたかったが、上位のクラブのスムーズな行動と結索の技術の差で大きくタイム差となりました。練習は自信と実績を残すのだと思いました。

それでも仲間と協力して楽しく出来たので本当に良かったです。又、他のクラブの団員がとても優しくしてくださり嬉しかったです。全国大会で経験したことを、これからの少年団活動に生かして行きたいと思えます。



## はじける笑顔！交流会初参加！～ 発団 40 周年 ～



小岩消防少年団は、昭和 53 年 12 月 3 日に団長以下 7 名、団員 24 名で発足しました。今年 12 月には 40 周年を迎えます。

現在は、石井団長以下指導者 20 名、団員 60 名で野外活動や各種訓練、駅前商店街パレード等に参加し、火災予防を呼びかけるなど、さまざまな活動を通して防火・防災の知識・技術を身につけるとともに、奉仕の心や規律ある団活動の大切さを学んでいます。



● 指導者 野崎 隆洋

今回、初参加して思っていた通りだと感じたのは、せっかくヨーロッパ青少年消防オリンピックを規模として始まった大会なのに、全くオリンピックへ繋がらない点が残念だという事だ。

オリンピックを目指す大会であれば、広くメディアを使い、少年消防クラブ自体が一般に認知され、クラブ全体が活性化する。

内輪だけで完結するのではなく、世界や一般に目を向けてもらいたい。



● 指導者 岡持 晴美

初めての参加でたくさんのご体験、学びをさせていただきありがとうございます。1 日目のシェラトンホテルは最高でなかなかつけれませんでした。2 日目の合同訓練では猛暑で会場変更、競技も一種目に変更でみんなが、残念がっていましたが競技中は一生懸命、やり遂げたと思います。ダンボールハウスは被災地をテレビで観ると一緒に本当に辛い一夜を過ごし、胸が痛みました。この感じたことを多くのクラブ団員や指導者に知ってほしいです。



新しい体験

● 高橋 彩珠

私は初めて消防クラブ交流会に参加しました。最初のころは分からない事も多く、緊張していました。しかし、ダンボールハウスでの宿泊訓練や、競技を通して他のクラブとたくさん交流していく中でだんだんと緊張もほぐれていきました。普段は絶対に体験できないような宿泊訓練が今回出来て本当に良かったです。避難所生活はこのようなものなのかと分かりました。そのためまた是非消防クラブ交流会に参加したいです。



交流会

● 藤原 和音

今回、初めての交流会に参加して、とても緊張しました。けれどそれ以上に楽しくて、とても心に残る思い出になりました。

悪い結果になってしまったらどうしようとすごく不安な気持ちでしたが、暑い中、みんなと協力して練習したら不安な気持ちもなくなって、少し自信がつかしました。一瞬でした。本当に一瞬でした。気がついたら競技が終わっていました。みんなすごくいい笑顔でした。とてもとても楽しかったです。



ダンボールハウス作り

● 飯塚 嵐

ほか、今回のクラブ交流会で一番心に残った事は、ダンボールハウス作りです。ダンボールハウス作りは、今回の交流会の中でも楽しみにしていた活動の一つです。実際にやってみると、テープでつなげる所などむずかしい点もありましたが、班のみんなと協力してできました。ハウスのかべの他にも、テーブルや靴箱もつくれました。

又、とまるときは、少しさむかったので、毛布をかけて覆いました。思ったより、地面がやわらかく、ぐずりねむれました。



交流会を通して

● 福山 佳愛

大会 1 か月前から始めていた練習どおりには本番で発揮する事ができず、入賞することができなかった。練習とは違う緊張があって、みんなの応援どおりに結果は残せなかったけれども、初めてにしてはいい結果だったと思う。

中々交流する事のできない他のクラブと話す事もでき、充実した 3 日間だった。また、機会があればいきたい。



楽しかった交流会

● 横田 昊也

ほか、1 泊 2 日の消防交流キャンプに参加しました。最初は不安だったけれど、皆とコミュニケーションがとれていくうちにだんだんと仲良くなりそのキャンプが楽しくなりました。キャンプの中で 1 番楽しかったのは、ダンボールハウス作りでした。被害にあった人の気持ちを考えてダンボールのみで作るのはむずかしいと思いました。いろいろな体験をさせてもらいありがとうございました。



## 愛・技・絆



立川消防少年団は、立川市、国立市の二市から団員が集まり73名で活動しています。今回は3回目の出場となり、主に夏休みに集中して練習を繰り返して行いました。満足いく結果にはありませんでしたが、必ず来年はこの悔しさをバネに勝ち上がります！

### チームワーク

●指導者 高山 尚虎

例年のない猛暑の中、全国制覇に向けての挑戦が始まります。限られた日程での練習でしたが、昨年の優勝タイムに匹敵するまでになりました。突然の競技方法の変更にも、一番落ち着いていたのは団員達でした。各自が自分の役割を理解し、互いに助け合い、少しでも他のメンバーに時間的余裕が作れるように努力していました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、仲間を思いやり、チーム一丸となって頑張った団員たちの顔は、誇らしげでした。



### 本番は猛暑

●五十嵐 里桜

私は、今回の全国大会を、体育館内で行うと知り、夏の気がひいたような気分でした。そして迎えた当日。初めて雨天時用の訓練の練習を三十分だけして臨みました。皆のテンションも下がりがきったまま本番で、案の定結果は前回の5位から10を下回っていました。その愕然とした数値を見てると、外でやっていたらもっとできたのに、という声があふれ、実力が出し切れなかったことを実感しました。だから、今回の失敗を生かして、次につなげたいです。



### 全国大会に参加して

●宮本 昌宗

僕は、少年消防クラブ交流会に参加するのが、今回3回目になります。前回5位になったので、今年も頑張りたいと思っていました。全国から仲間が集まるので、ホテルでのクラブ紹介や食事やお風呂も楽しめました。暑さのため、合同訓練が障害物競争の一種目になったのは残念でしたが、カーブががんばれました。AEDの使い方や心臓マッサージも改めて練習できて良かったです。ここで学んだことを今後の生活に生かしていきたいです。



### 消防少年団の全国大会

●大平 瑠

僕は昨年末より入団しました。全国大会はすべてが初めての事で緊張しました。練習ではうまく出来ていた平均台も本番では落ちてしまい、とても残念でした。全国の少年消防団との交流会はとても貴重な体験となりました。この繋がりをいつまでも大切にしたいです。来年も参加して優勝を目指したいと思っています。そのために日々の訓練を頑張ります。



### 心臓の音

●毛利 彩華

私はレーンに立っていた。心臓の音が異常にうるさかった。この日のために、何度も練習した。ロープもたくさんやった。だから大丈夫、と私は思った。待っている間、手汗が出てきた。今、ここで発揮できると思うと、楽しみだった。スタートの合図が鳴る。第一走者と第二走者が一斉に走る。私は第一走者。ハードルや平均台などの障害物を乗り越え、スタート地点に戻る。がむしやりに走れたと思う。声援なんか聞こえなかった。結果は開催地の浦安が一位だった。私達の結果は少し残念だったけど、充実した三日間を過ごせた。いつか優勝できるように、これからも練習に励んでいきたい。貴重な体験をありがとうございました。



### 全国大会を振り返って

●前川 実貴

全国大会を振り返って、昨年より結果が11位と下がってしまったことが悔しかったのですが、チームはとも良く練習はとても楽しかったです。みんなが頑張っている姿を見て自分も頑張ることができました。来年もし行けたら、今度こそ1位を狙いたいです。



### 楽しかった消防少年団全国大会

●廣田 かなえ

私は今回初めて消防少年団全国大会に出場しました。この全国大会で特に心に残った事は全国から来た消防少年団クラブのメンバーがみんな楽しんで交流していた場面です。私はダンボールハウスを作って他のクラブのメンバーと友達になりうれしかったです。もちろん協議の応援もいつもより恥ずかしさなど投げ出して大きな声で応援しました。あつなみに私は競技には補欠ということで参加していませんが、このような事が経験できてとてもよかったです。入賞はできませんでしたが、また全国大会に行く時に頑張りたいです。



## 仲間たちと力を合わせた熱い夏！



昭和53年5月20日設立。町田市の花サルビアにちなんで「さるびあ隊」と名づけられる。指導者2名、団員30名で発足、今年5月に40周年を迎えた。

少年団活動を通じて、小学校1年生から高校3年生まで少年少女が防火防災に関する知識・技術を身に付けるとともに、社会に奉仕する道徳心を養い、責任感ある人間となるための成長に寄与することを目的としている。



### 三回目の大会に参加して

● 指導者 八木 文典

団員にとって、本当の貴重な時間を過ごすことができたと思っています。今年で3回目となる全国大会の参加でしたが、合同訓練では各隊員の目標タイムを設定しましたが、なかなか全員が揃って練習できず、リレーと障害物競争のタイムが整ったのは練習最終日でした。指導者の力量不足を痛感しました。交流会に参加した団員には訓練を通して経験したお互いを信じ、思いやる心を今後の生活や活動に生かしてもらえればと思います。



### 初めての全国大会

● 岩瀬 くるみ

私は今回巻き結びをやりました。本番の直前まで練習をして、走る前も頭の中で考えていたけど、走り出すと緊張してしまい巻き結びを速く結べませんでした。だけど、結索以外は失敗しないで出来たから良かったです。結果は三位で一位を取れなかったのは悔しいけど、初めて出た全国大会で三位をとれたので良かったです。全国大会のメンバーとも仲良くなって、しかも、他のクラブに友達もできたので楽しかったです。

来年、再来年も忙しくなかったら、また全国大会に出たいです。次出る時は、必ず家でも練習して、一位を取りたいです。



### 交流会を通じて

● 木井 裕太

この三日間の交流会を通じてよかったと思ったことは、全国の少年消防クラブ員と交流できたことだ。他のクラブ員と夜に合同訓練の練習をしたり、三日目の避難所体験でダンボールハウスを作ったり、余ったダンボールでイスを作った。とても貴重な経験をすることができてとてもよかったと思った。

合同訓練では、6月から約2ヶ月間の練習の中で、なかなか上手いかないところもあったが、結果3位になることができた。とてもうれしかった。



### 力を出し切った

● 前田 さくら

去年とは違う心境でむかえた全国大会。急に屋内での競技になってしまったことはとてもびっくりしました。今まで一か月近い期間、いろんなものを犠牲にして練習してきたのに……。

でも、そんなことでは落ちこまず、今もっている力を発揮しようと思いました。

本番は、当日まで練習していた結索も上手いきき、優勝はのがしてしまっただけで、3位になれてほっとしました。

全国の仲間たちともたくさんふれあうことができて良かったです。



### 全国大会の思い出

● 金澤 空

今回の全国大会はハプニングとともに始まった。昨年と同様、全力で練習してきたが、今年は競技が変更になってしまったのである。しかもチームメイトの中で僕だけが経験がなかった。当然、とてつもなく緊張した。だが、本番は意外にもリラックスして臨めた。今思い返せば、仲間への信頼があったからこそと思う。段ボールハウスでも、初対面の人と助け合うことができた。今回の大会では「信頼」や「助け合い」など、人と関わるうえで重要なものを学ぶことができた。



### みんなで目指したもの

● 細井 彩花

部活と両立して競技会に出場したいと自分から立候補した。練習を頑張るとタイムが縮んでいくこと、仲間との協力、目標を具体的に持つなど、たくさん学んだ。天候の関係で競技が変更し不安だったが、仲間と力を合わせ一生懸命取り組むことを目標にした。当日はミスによる減点で悔しい思いもしたが、三位入賞を皆で喜びあった。主催者の方々、指導、応援してくださった指導者のみなさん、たくさんの思い出を本当にありがとうございました。



### これが最後

● 小岩 夏暖

今回は二度目。そして出場できるのがこれが最後。練習は最後まで完璧だったが、競技が変更したため前日の夜も練習だった。

メンバーが決まり、当日私は応援だったが、夜も練習したことで見事三位という結果をだしてくれた。町田はこれで二年連続第三位！

私達はもう出場できないが次のメンバーにバトンタッチし、もっと良い結果になってほしい。この夏で私にとっての一番の思い出だ



## 今年の夏は暑かった！



昭島消防少年団は、小学校1年生から高校3年生までの59名の団員と26名の指導者等で活動しています。防火防災に関する知識や技術を学ぶほか、清掃活動、防災訓練など地域の活動にも積極的に参加しています。

交流会参加団員6名は競技大会にむけて、訓練を積み重ねてきました。

結案などの技術も磨かれましたが、訓練の回数を重ねるごとにチームが団結していきました。この経験を参加できなかった団員と共有して今後の活動に取り組んでいきます。

### 少年消防クラブ交流会に参加して ● 指導者 森谷 秀男

今回はじめて少年消防クラブ交流会に参加させていただき、貴重な経験ができました。6名の団員達を預かり、日頃から署の方々、団長はじめ指導者の指導のもと行ってきた訓練の成果を合同訓練で発揮できるか不安もありましたが、団員達が戸惑いながらも一生懸命に取り組む姿に頼もしさを感じました。また、参加した指導者との交流の中で、他クラブの日頃の活動の様子を知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



### 「未知の災害」に対する 備えの必要性 ● 内田 峻太

今回の交流会では臨機応変な対応を求められることが多かった。例えば、最寄りの舞浜駅から宿泊地までのバスに乗りきれなかったり、競技会場・内容が変わったことが挙げられる。こういったシチュエーションにおいて必要な思考・判断能力は近年多発する重大災害が起こったときの避難やその他一切の行動に生かされると私は思う。今年度は大阪地震、西日本豪雨、台風21号に直近では胆振地方地震と過去に例を見ない災害が、異常な頻度で発生している。このような「未知の災害」に対する備えの必要性を再認識する有意義な交流会になったと思う。



### 達成感 ● 藤川 瑚々菜

私は、今回初めて交流会に参加しましたが、とてもよい思い出となりました。昭島消防少年団の皆で行う競技で私はアンカーでした。最後にホースを使いピンを全て倒さなければならぬのに、練習では何度やっても、一、二本しか倒れませんでした。最後の練習の時も同じで不安な気持ちのまま自分たちの順番になりました。ホースまで全力で走り、心を落ち着かせて引くと八本ピンを倒す事ができて自分自身すごく達成感を感じることができました。色々な人にはめてもらいとてもうれしかったです。次は十本倒せるように、また本当の火を見つけた時は、初期消火が確実にできるといいです。



### 交流会の思い出 ● 藤田 隆太

ぼくは、8月1日～3日の少年消防クラブ交流会に、初めて参加しました。最初は、ちゃんとできるか不安だったけど、訓練をしてうちに、できるようになった。交流会では、緊張したけど精いっぱい頑張りました。ダンボールハウスでは、北海道の少年クラブと一緒に班でした。ダンボールハウスを作るのが楽しかったです。北海道の子と交流できてとても楽しかったです。来年も参加できたら、他県と交流したいです。



### 交流会を終えて ● 森谷 拓末

8月1日から8月3日まで行われた少年消防クラブ交流会では、さまざまなことを学びました。助け合うことの大切さや、達成感…など普段の生活では味わうことのできない体験ができました。特に2日目の夜に作ったダンボールハウスで貴重な体験をすることができました。同じ区画の人とは、交流を深めることができました。それと同時に、災害が起きた時の不便さも知ることができました。この3日間で学んだことを日常生活でもしっかり活かしていきたいです。



### 交流会で学んだこと ● 一條 佑太郎

ぼくは、交流会に参加して、学んだことがあります。一つめは、みんなと協力してダンボールハウスで生活したことです。はじめは、ダンボールを切ったりしたり、つけたりして、部屋を作ったりして、生活をしました。二つめは全国大会を通じて、全国の消防団とあえたのは、とても良かったと思います。また、全国大会があったら参加してみたいです。この夏も大雨猛暑台風、地震、様々な災害が日本をおそいました。災害があっても、少しでも、「回避」したり「くくふく」できる、知恵や力をつけたいです。



### 交流会に行った感想 ● 小塚 由唯

私の感想は、まずホテルがすてきでした。同じおへやの子ともすぐになかよくなれました。夜もぐっすりねむれました。まどの外にはディズニーランドが見えました。夜のディズニーランドはイルミネーションでキレイに光っていてすてきでした。2日目は、大会の日!! 競技が1つになってしまっていて、練習してきたのをできなくて残念だったけど、がんばって17位になれました! ダンボールハウス作りも楽しくてチームの子たちともすぐなかよくなれました。ぜひ、また行きたいです。



## 交流会に参加して ～ 気付き・学び・支えあい ～



日野消防少年団は、小学校2年生から高校3年生までの男女52名が在籍しており、普段の活動を通じて、防火防災知識・技術の習得や社会奉仕の心を培い、地域の防災リーダーを担える人材の育成を目指して活動しています。

今回は中学生5名が参加し、有意義で貴重な体験をすることが出来ました。



### 人とのつながりの大切さを実感した ● 指導者 早川 忠男

全国大会は多くの人の支えがあって行われる大会であると痛感しました。消防庁の方々や浦安市の消防団の方々、他の消防団の方々など沢山の方のご協力があって、無事に交流会を過ごすことができたのだと実感しております。人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。

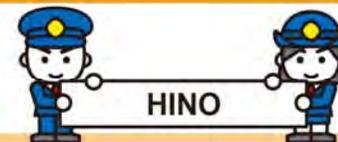


### 成長できた3日間

● 指導者 渡辺 奈穂子

今回、指導者として初めて参加させていただきました。参加前は緊張していた団員達も、次第に打ち解け、全国の消防少年クラブの皆さんと楽しく交流できたことは、貴重な宝物になりました。

交流会の成功にご尽力いただいた多くの皆さんに感謝の気持ちがあります。この3日間の経験を活かし、今後も団員の成長を手助けできるよう頑張っていきたいと思います。



### 交流会を終えて

● 山本 弓月 (中3)

今回の全国大会は3回目の参加で、私にとって最後の参加となりました。そしてこの交流会がとても印象に残りました。その理由は二つあります。

一つ目は、合同訓練のタイムが3年間出場した中で一番早かったからです。今までは巻き結びに3秒くらいかかっていましたが、町田の少年団の方に事前練習で教えてもらったことで、1秒台まで短縮することができました。教え方がとてもわかりやすく、楽しい時間でした。

二つ目は、段ボールハウスで一緒になった子と仲良くなれたことです。夜はたくさん話をし、最後には写真を撮りました。

今回の交流会で学んだことや経験したことを、今後新しく入団してくる団員や、来年度全国大会に参加する団員に教えていきたいと思っています。



### やっと出場全国大会！！

● 安部 林太郎 (中1)

僕は今回、やっと全国大会に出場できた。なぜなら去年出場するはずだった全国大会に怪我で出場できなかったからだ。

今年の全国大会初日まで、怪我をしないで参加できるか不安があった。しかし、初日に他のクラブ員と交流を行った時、いろいろな不安がなくなった。それはホテルの部屋が一緒だった他のクラブ員がやさしく接してくれたおかげだと思う。

来年も全国大会に出場し、今回の経験を活かしたり、他のクラブ員との交流をもっと深めたいと思う。



### 30年度消防少年クラブ交流会

● 清水 拓末 (中3)

今回の大会に参加して学んだこととして挙げられることは二つあります。

一つは、自分たちは普段いかに警戒をしているかということです。1日目でホテルに泊まったのに対して、2日目は段ボールハウスでした。コンセント、テレビ等が使えない避難生活の厳しさを体で感じました。

二つ目は、消防の大切さについてです。最近、洪水・地震などの自然災害が多いように感じます。その時に必要なのが知識と行動です。今回の大会でもその事に重点をおいてやりました。このことがいかに難しいのかも感じました。

最後に、今回の交流会を通じて災害への意識がより高まりました。この経験を活かしていきたいように努力していきたいです。



### 名と責任そして誇り

● 清水 蒼也 (中1)

僕はこの少年消防クラブ交流会に参加して様々なことを学びました。

まずは全国の人と交流して、人と接する礼儀の大切さを学びました。全国の人と交流するのは、自分が日野消防少年団の「名」を背負うということなので、もう少し自分に誇りを持てば良いと思っていました。

次に誇りと共に責任を持つことが大切であり、その責任感には社会に出て非常に役に立つと思うからです。それが今回の全国大会で、このような思いを深く学ぶことが出来ました。

これからは社会に出るといって責任と誇り、そしていつまでも恭しく謙虚な心を忘れないようにしたいと思います。



### 「知る」大切さ

● 佐々木 充 (中2)

僕は今回の交流会に参加して、たくさんを知ることが出来ました。中でも特に印象的だったのが、災害時に使用する組立式トイレのことです。食べること、寝ること、トイレに行くことは、災害時であっても人には必ず必要なことなので、すぐ役立つ知識になりました。

女性消防団員さんの説明や、組み立てなどを丁寧にを見せてくれたので、とても感動しました。またこのトイレを開発した人がいることを想像すると、僕も将来、独創的な知識を身に蓄けて、災害時に役立つ道具を開発できたらいいなと思いました。

この経験を通じて、普段当たり前に自分の周りにあるものの大切さを実感することが出来ました。



## 全国に友がいる！共に過ごした時間が糧になる！



Risk Watch Yokohama Fire Team は、平成 29 年、横浜市南区に発足した任意団体です。現在中学生 7 名、小学生 10 名で活動しており、アメリカ式危機管理教育を取り入れながら、南消防署さま、六つ川出張所さまのご協力を得て楽しく学んでおります。



### 思いを共に

● 指導者 奥田 悦子

今回の大会はやっと 2 回目の参加で、昨年はとにかく余裕がなかったですが、今年は全国交流会という名の通り、たくさんの方と心を通わせることができました。“一人でも多くの命を救いたい！”という心を持った者がこんなに全国にいる、一緒にがんばっているのだ！この事実は大変心強く、大人も子供もお互いから学ぶことがあり、大変意義のある良い経験をさせていただきました。本当にありがとうございました！



### 大切なことを学んだ

● 奥田 夏七斗

僕は、この全国大会で良かったこと、悪かったことがあります。悪かったことは、6 年生と中 1 でお弁当の事でケンカしたこと、競技中にみんなで言い争ってしまったことです。結果はすごく低い順位でした。良かったことは、ダンボールを組み立てる時に他のチームの人と協力して作れたことです。他には競技で自分の番の時にロープをきれいに速くできました。それは消防署の方が教えてくださったからです。ありがとうございました！来年からは、自分や他のチームの人と仲良くなりたいです。そして目標だった 20 位以内に入りたいです。



### 2 回目の大会に出られて

● 檜山 宗一郎

千葉県でやったのは初めてだったので、どんな感じのかなと思って行くと、上手そうなチームがたくさん来ていて、けっこう緊張しました。僕の担当の巻き結びは、練習通りできたけれど、成績はあまりよくなかったのが残念でした。ホテルでは日野少年消防団の人と一緒に、みんなでテレビを観たり、話したりして楽しく過ごせました。順位がけっこう低かったので来年はもっと高順位を目指して頑張りたいです。



### 仲間との協力

● 渡辺 圭三郎

この大会でぼくは、チームの人と協力して競技に取り組むことができました。それは、仲間と声を合わせて活動したり、他の仲間たちを大きな声で応援したりすることが全員で出来たからです。来年、もし行くことができれば、チームで協力という事に今回よりも力を入れたいと思います。



### 2 回目の全国大会

● 宮城 悠太

今回は 2 回目の全国大会出場でした。昨年は初めての出場でもくわらないうちに終わってしまいましたが、今年はメンバーと「こうしよう！」と話合いをして挑みましたが、結果はあまりまとまりが良くなくて順位も良くなくて残念でした。でも全力で頑張ったのでいい思い出になりました。ありがとうございました。



### 楽しかった全国大会

● 玉川 詩大

僕が心に残ったことはダンボールの家を作ったことです。このダンボールの家で、他の県の人と交流ができたからみんなと仲良くなれました。それに、自分たちの個室を自分で作っているんなものを作りました。それに体験したことないことが体験できたので楽しかったです。来年も頑張りたいです。



### 色々学んだ全国大会

● 高瀬 大志

この全国大会では、学ぶことがたくさんありました。心臓マッサージの方法の時は、アニメになっていてとても分かりやすく覚えることができました。あと、ダンボールハウスでは、作る時の大変さや、床の感触、寝るときの寝づらさを感じることができ、何日もここで過ごすのは大変そうだなあと感じました。でも、そこでは、他県の人との交流ができ、楽しかったです。他にも仮設トイレの仕組みや、世界大会はどんな感じなのかや、千葉県のチームが活動している VTR を観たりして、色々学ぶことができ、いい思い出になりました。でも、競技では、失敗して時間が伸びてしまったので、次は勝てるようにしたいです。



## クラブ結成7年目！平塚市少年消防クラブ飛躍の年！！



平塚市少年消防クラブは平成24年度にクラブを結成しました。市内の小学校5・6年生を対象にクラブ員を募集し、今年度は28名のクラブ員が元気いっぱい活動しています。主な活動内容は消防署見学、消防隊体験、放水訓練、救急講習、防災キャンプ、キャンペーンへの参加、出初式での訓練披露などです。

全国大会は6年生から5名を選抜し平塚市の代表として参加しました。

### 交流会に参加して

● 指導者 小林 利郎

避難所体験や地元消防団から講話を聴くことで、困っている人に寄り添うだけでも良いと気づけるような思いやりが芽生えてくれたと思います。また、合同訓練を通してチームワークが大切だと学べたと思います。

この経験を通じて自ら考えそして行動できるようになり、将来、地域防災のリーダーになてくれればと思います。今回、参加できたこと並びに消防庁をはじめ協力いただいた方々に深く感謝いたします。

### こころの成長

● 指導者 渡邊 翼

指導者として一番感じてほしかったのは大会を運営するいわゆる裏方の方たちの存在です。

訓練の準備や説明、大会を運営するにあたり消防庁の方をはじめ、たくさんの人たちがクラブ員のために御尽力いただきました。そんな姿を見て、クラブ員には人の立場になって自分勝手な行動をしない、思いやりのある人になってもらいたいと思っています。

合同訓練では初参加で緊張する中クラブ員はベストを尽くしたと思います。初参加の交流会はとても充実した2泊3日でした。来年度もぜひ参加したいです。ありがとうございました。



### 被災者に近づいて

● 西澤 みのり

私が一番に残ったのは、ダンボールハウスで寝たことです。初めて会ったクラブ員と作業をしました。作ることは楽しかったのですが、そこで寝ると首が痛く、床も硬く、トイレのために灯りがついていたので、なかなか眠ることが出来ませんでした。避難所では多くの人達と同じ空間で寝て、自分の家などが、どうなっているのか分からないという不安もあります。今、各地で多くの人が避難していて、避難所で何日も寝るのは辛いだろうと思います。このように感じることもできるのも、今回の経験があったからです。

今回の経験をいかして、避難所のストレスを少しでもなくすことが出来たらと思います。



### 全国大会の一番の思い出

● 及川 麗美

全国大会に行き、一番に残ったのは、災害にあった人が実際にした体験です。

お風呂に入るとき体育館からお風呂の所まで歩いて帰ってきて、それだけで大変なのに、それを何回もすると本当に大変だなと思いました。

ダンボールハウスも、プチプチをひいてダンボールをひいて壁を作って部屋を作るので、とても大変だと思います。

私も体験してみて、普段から考えたり、体験することが大切なんだと思いました。

災害にあって亡くなった方もいるので、色々な人に防災体験をして欲しいと思います。



### 少年消防クラブ交流会を終えて

● 小澤 望

クラブ対抗障害物競争の平均台では、練習どおりに上手く出来ず落ちてしまいました。でも、結索の巻き結びは練習どおりに上手く出来て良かったです。

ダンボールハウス作りでは、作り方を教えてもらっていても作るのが難しかったです。みんなで協力して、家具を考えながら作ったのが楽しかったです。

今回の中で他の少年消防クラブの人と仲良くなり、いい思い出が出来ました。

### 初めての交流会で

● 仲谷 希美

私は、合同訓練で自分の出せる最大限の力を出せました！56チーム中、21位という結果でした！力が発揮できたのは、仲間が応援してくれたからです。なぜなら、ボウリングの練習の時はなかなかピンに当たらず苦戦していましたが、合同訓練の時に仲間が応援してくれて、仲間の為に当てなきゃ！と落ち着いて集中でき、ストライクすることができました。

この時、仲間がとても大切だと改めて思いました。今回の交流会はとても楽しく一生忘れたいと思います。



### 交流会で得た事

● 小野田 羽瑠

暑い日の練習を何日もしてきて、本番では、練習通りに、全力を出して、自分では良く出来たと思います。上位入賞を目指し、達成は出来なかったのですが、初出場でも、とても貴重な経験が出来た事、本当に良かったと思います。東京の消防少年団の人と仲良くなれ、新しい友達が出来た事も、嬉しかったです。災害時に役立てる知識も得ました。この大きな大きな経験は、これからの少年消防クラブでの活動でも、皆の先頭に立てるように、活かしていきたいです。



## 臨機応変に立ち向かえ！力を合わせて勝ち取ろう、全国優勝！



大和市少年消防団は市内在住の小学生4年生から中学3年生の児童及び生徒で構成され、194名の団員と17名の指導員で活動しています。猛暑に負けず訓練を重ね、大会の結果以上に友情や団結力の大切さなど、得られたものは多くありました。この経験を他の団員に伝え、優勝できるよう日々訓練に取り組んで参ります。

### 子供たちが学んだこと ● 指導者 佐藤 勝也

「全国優勝」という目標を子どもたちが立て、本気で優勝を目指して訓練に臨んでいました。結果は、ミスも重なり思うような結果ではなかったと思います。しかし、子どもたちは矢敗の中から多くのことを感じ取り、大きく成長しました。子どもたちがこの交流会で学んできたことを今後の自分自身の人生、家族や友人のために活かしていってもらえればと強く願っています。

### 暑い、熱い夏。 ● 指導者 野畑 和宏

全国各地で最高気温の更新が相次いだ2018年夏、大和市選抜の5人は大会へ向けて訓練を積み重ねてきました。「全国優勝」という目標を掲げ、日々猛烈果敢と訓練に取り組む姿には気迫がみなぎり、秩序立てて作戦を練る姿からは、大人へ成長していく過程の一端を垣間見た気がします。このような機会を提供して下さった消防庁をはじめ関係機関の皆様へ感謝を申し上げると共に、本会の益々の発展を祈念致します。



### みんなでつなげ!! 炎のバトン ● 西羅 愛

今回の大会を通じて、全国の消防団との活動やそのチームの特色がわかりました。1日目のオリエンテーションでは、とても印象のこるチーム紹介が多々あり、たのしい1日でした。いよいよ本番となった2日目ではチームの団結した姿が見られ自分たちのチームも出番がくるまで必死で練習しました。この交流会を通じて、仲間との協調性や臨機応変な対応が学べました。来年のチームにバトンを引き継いでいきます。



### 仲間 ● 吉田 彩乃

私は、この少年消防クラブ交流会を通し、仲間の存在の大きさを学びました。一緒に壁を乗り越えてきた仲間と大会に出場でき、とても嬉しく楽しかったです。

大会は、10位という上位の結果を残すことができました。この5人で頑張ってくれたし、私にとって最高の仲間です。私に関わってくださったチーフ、メンバー、そして全国の消防クラブ員の方々、本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。



### いろいろな学び ● 天沼 羽音

今回初めて全国の少年消防団の方と出会って、たくさん消防団があることを知りました。また、各消防団によって人数や訓練の内容などが全く違い、学校全体の児童が消防団に入るといのはとても面白い考え方だなと思いました。猛暑のため予想外の屋内器技をやることになり驚きましたが、やり切ることができてよかったです。また、初対面の方と段ボールハウスを作り、一緒に寝るという貴重な体験ができてとてもよかったです。

### 少年消防クラブ交流会を振り返って ● 徳重 宏康

少年消防クラブ交流会お疲れ様でした。3日間の思い出といえば、2日目の合同訓練です。初めは雨天時版と聞きショックだったものの、全国のみならず行う事ができてとても楽しかったです。目指していた優勝はできなかったものの、良い経験となりました。主催の消防庁をはじめ、この交流会の運営等をして下さった方々ありがとうございました。



### プレッシャーに勝った ● 安藤 力也

僕は今年初めて大会に出ました。本番の前日に突然室内の器技に変わったと言われた時は、すごく心配になりました。その日の夜はみんなで室内コース種目のバーをくぐる練習や、アンカーとして行うホースポリングの練習もしました。たくさんチームがいるなか、浦安市少年消防団が速いタイムをたたき出し、自分達は少しミスもあり10秒も差がつき、改めてすごいなと感じました。今回の大会で初めての体験が出来て良かったです。



## 平成 30 年度少年消防クラブ交流会に参加して



湯河原町少年少女消防クラブは平成25年に発足し、学校の防災リーダーとしての育成や規律正しく明るく元気に成長をすることを目的に、防火・防災に関することを学んでいます。

交流会には中学生のクラブ員を対象に選考しクラブの代表として6名が参加しました。



### 全国交流会に参加して

● 指導者 渡邊 康仁

今回の交流会を通してクラブ員達はたくさんの事を学びました。特に避難所体験と他クラブ員との交流は貴重な経験となり成長したと思います。この経験を学校、地域へと伝えていくことを期待しております。



### 交流会参加を振り返って

● 巻上 龍浩

熱中症予防のために屋内で行われたクラブ対抗障害物競争は結果が残念でしたが、皆で声を出して応援できたので良かったと思います。また、浦安市総合運動公園体育館での避難所体験は他の消防クラブ員と協力してダンボールハウスを作り仲良く過ごすことができました。クラブリーダーとして3日間精一杯のことができたと思います。



### 全国交流会を通して

● 高橋 佑希

私は、少年消防クラブ交流会に参加して他の地区のクラブ員と友達になれて一緒に楽しむことができて良かったと思います。

交流会初日の各クラブの紹介では、みんな個性が強くて友達ができるかな?と不安に思いましたが、ダンボールハウスを作るときに他のクラブ員と協力していくうちに、仲良く話せるようになりました。最終日の心肺蘇生訓練はクラブで何度も教わっていましたが改めて学べて良かったです。交流会での経験をこれからの活動に生かしていきたいです。



### 交流会初日

● 西岡 アイコ

全国の少年消防クラブの前でクラブの紹介をするのが、とても緊張してしまいましたが、他のクラブ員や指導者の方々とお話したり協力してダンボールハウスを作成したりして、とても充実し貴重な3日間となりました。



### クラブ対抗障害物競争

● 二見 くるみ

走る順番が1番だったのでとても緊張してしまい平均台から2回も落ちてしまいましたが、皆で作戦を計画したり、応援もすごく大きな声を出し合えたり、助け合ってきたので楽しかったです。また、交流会に参加して次は勝ちたいです。3日間楽しかったです。



### 全国交流会

● 山田 楽斗

初日に他のクラブ員と宿泊することになっていたので、とても緊張していましたが仲良く過ごせて良かったと思います。また、避難所体験ではダンボールハウスの作成方法やなかなか豊付けできない事を学びました。この経験を生かしていきたいです。



### ダンボールハウス

● 小澤 隼斗

今まで、ニュースや新聞で災害によって家がなくなってしまった方々はどういうような避難生活をしているのか知らなかったのですが、交流会に参加して初めてダンボールハウスを作成しましたが、なかなか豊付けできませんでした。被害にあわれた方々の大変さわかる貴重な体験でした。



## はじめて参加した交流会



御蔵小学校は、豊田市の北部（山間部）の足助地区にあり、自然に恵まれた地域です。足助地区の中心には、紅葉の観光地で全国的に有名な「香嵐渓」があります。11月になると県内外から多くの観光客が訪れて、賑やかになります。また、この地区は昔から「五平餅」が郷土食としてあり、市内外からお客さんが訪れるお店が近くに 있습니다。大変おいしいです。学校近くの標高354mの山頂に高さ18mの花崗岩の巨石があり、「天狗岩」とよばれて、御蔵地区のシンボルになっています。



### 様々な経験をもとに

● 指導者 鈴木 浩明

まず、地域の消防団や消防本部予防課の方に訓練でお世話になりました。児童は楽しみながら真剣に練習に参加できました。計4日間の練習。消防団や予防課の方と触れ合いながら、操作法や規律を学べた意義は大きいと思います。交流会では練習の成果が発揮できましたが、他クラブの行動を見て新たな目標がもてました。また日常では経験できない段ボールハウスでの避難体験もできました。今回の経験を今後地域に広げてほしいです。



### 子どもの成長を目にして

● 指導者 横山 鈴奈

交流会に参加するまで、消防士の方がどんな訓練をしているのか、全く知りませんでした。今回参加するにあたり、地域の消防団の方に消防に関わることをたくさん教えていただきました。子どもたちは、学んだことが人の命を守ることにつながることを実感し、明日からの生活に役立てようとする気持ちを強くすることが伝わってきました。また、普段はなかなか交流することのできない他県の子たちとも関わったことで、子どもたちの視野もさらに広がった良い経験だったと思います。



### 新しい出会い

● 伊藤 耀祐

交流会に参加してとても嬉しかったことは、チームの中で最初に他のクラブの友達ができただけです。一日目の夕食で食事を取りに行くときに、近くに並んでいた子が話しかけてくれました。新しくできた友達と会うたびに手を振ったり、話したりしました。ぼくの学校は全校児童の数がとても少なく、新しい友達になかなか出会えません。遠く離れた別の県に住んでいる子と友達になれたことはとても良い経験でした。



### 安全第一

● 本多 祐貴

交流会に参加して、安全第一という考えはとても大切だと学びました。交流会での合同訓練や救命講習に参加しましたが、どれも安全第一がついてくると感じました。合同訓練にはけがをしないように、ヘルメットやびざ当てをつけて参加しました。救命講習でもまずは周りの安全を確認します。人を助けるときには、相手をけがさせないことはもちろん、自分もけがをしないように気をつけることが大切だと感じました。



### ダンボールハウス作りで学んだこと

● 神山 裕都

一番に残ったことは、段ボールハウス作りです。最初は本当にダンボールで寝るところを作るのだろうかと思っていました。作り方の説明を聞きながら、班の子と協力してしっかり作ることができました。ぼくたちの班は机を作って、快適にすごせるよう工夫しました。みんなで一つの空間で話したり寝たりして、とても楽しかったです。でも、本当に災害が起こったときには近くに家族以外の人や寝ていると思うと落ち着かなくて眠れないと思います。体験してみて、自分の家の自分の布団で寝られることはとても幸せなことなのだと学びました。



### あらためて知った現実

● 深見 洸成

交流会に参加して衝撃を受けたことは、東日本大震災のときの液状化現象のおそろしさです。交流会で浦安市消防団が撮影した映像を見て、家が傾いていたり、道路にたくさんの水が流れてきていたりしてとても驚きました。そのときはじめて、千葉県でも地震の被害が大きかったことを知りました。これからは災害が起きた時でも、仲間と協力することで多くの命を守ることができるようになりたいです。



### 身についた技

● 横山 睦人

交流会で学んだことは、ロープの結び方と消防ホースの延ばし方です。合同訓練をするまで、ロープの結び方について全く知りませんでした。ロープの結び方をたくさん練習して、いろいろな結び方ができるようになったことが嬉しかったです。

また消防のホースを速く上手にのばす方法を教えていただきました。最初はうまくまっすぐのばすことができなかったけれど、練習していくうちにコツをつかんでのばすことができました。今回学んだことを忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。



## 一致団結！少年消防クラブ交流会を終えて



尾張旭市少年少女消防団は平成 25 年 4 月に結成し、現在、49 名で活動しています。代表して参加した 5 名は、初めは少し緊張しておりましたが、全国から集まったクラブ員の皆さんから元気をもらい、いつも以上に活発に活動できた 3 日間であったと思います。この交流会でたくさんの人と交流し、みんなで協力して目標を達成した思い出や経験を生かし、将来の防災の担い手として、今後も頑張っていたきたいと思います。



### 成長の 3 日間 ● 指導者 鈴木 良旭

少年消防クラブ交流会に指導者として参加させていただき、団員が他クラブと交流を深め合うところや、合同訓練時には一致団結し一つのことをやり遂げるところなど、その他にも普段見られないところを数多く見ることができました。この交流会を通し、団員として、また人として一回り大きくなったかと思えます。ぜひこの経験を活かし、将来の防災の担い手となって活躍していただきたいです。



### 有意義な交流会 ● 指導者 大谷 将史

今回初めて少年消防クラブ交流会に参加し、全国の少年消防クラブの現状や活動について知ることができ、団員だけではなく、私自身学ぶ点も多く、有意義な交流会となりました。昨今、各地で予想だにしない大規模災害が多発しており、今後も大規模災害が懸念される中、災害が発生し、国民が一丸となって立ち向かわなくてはならない際には、この交流会の経験が非常に活かされてくるのではないかと思います。



### 勉強になった交流会

● 吉田 滯音

僕は初めて全国交流会に参加しました。初日はすごく不安だったけど、すぐに慣れてとても楽しかったです。障害物競争では思うような順位が残せなかったけど、チームのみんなと力を合わせて出来たので良かったと思います。段ボールハウスで寝たときは、初めての経験で興奮して眠れませんでした。この 3 日間とてもいい経験になりました。この経験を今後の活動に活かしていきたいです。



### 楽しかった交流会！

● 山田 遥

私がこの交流会で一番楽しかった事は、障害物競走です。チームの皆で練習したので、外で競技が出来なかったのは残念でしたが、精一杯出来たと思います。

避難所体験では、ダンボールハウスで寝るのがワクワクしてしまい、すぐに寝られませんでした。でも、実際に避難している人達は毎日がダンボールハウスの生活で大変な思いをしてるんだと知る事ができました。

交流会は、私にとってとても良い経験になりました。



### 交流会に参加して

● 谷口 稜太

少年消防クラブ交流会初日のクラブ紹介はとても緊張しました。一番楽しかったのは、ダンボールハウスを作ったことです。でも、災害にあった人達は毎日エアコンのない暑い状況の生活をヶ月くらいダンボールハウスで過ごすのを知り、とても大変だと思いました。僕が残念だったのは熱中症予防のため外での訓練ができず競技が一種類になってしまい十分な訓練ができず、合同訓練でよいタイムを出せなかったことです。色々な事がありましたが、少年消防クラブ交流会に参加できてよかったです。



### いろいろ経験！交流会

● 三谷 日菜夏

私は消防クラブ交流会に参加していろいろな経験をしました。

1 日目は全国から来た消防クラブの子達と仲良くなることができ、2 日目の大会ではみんなで練習してきた通りにはならなかったけど、最後まで頑張ることができました。なにより自分が心配していた結果が本番で 1 番上手くできたので嬉しかったです。

段ボールハウスで寝た時は、背中が痛くなり避難生活をしている人達はとても辛いらうなと思いました。

私は交流会で経験したことを、将来何かに生かしていきたいと思えます。



### 交流会での出会い

● 青木 琉斗

この交流会への参加が決まったときは、とても嬉しかったです。しかし決まったからには、責任感があるので少し緊張していました。

1 日目はワクワクしながら出発し、目的地に近づくにつれて色々な地方の消防団に会い、仲良くなりました。

2 日目の合同訓練は、練習ではとても順調でしたが、本番は練習通りでできなかった部分もあり、あまりよくなかったです。その後段ボールハウスをみんなで協力しながら作りました。

この 3 日間はぼくの大切な 3 日間です。



## 初参加！暑さに負けず楽しんだ3日間！



長久手市キッズ消防団は、平成29年9月に結団し、小学5・6年生35名、中学1年生7名の合計42名で活動しています。交流会には代表として中学生1名、小学6年生4名の5名で参加しました。初参加のため緊張と不安の連続でしたが、大変有意義な経験となりました。この経験を今後の活動に活かします。

### 交流会に参加して

● 指導者 鈴木 慎也

今回、初めて参加させていただきましたが、全国には各種の構成クラブがあり、それぞれが特徴ある活動を実施していることが見て取れ、よい経験となりました。子どもたちにとっては、初めてのことでばかりで、すべてがとてよい体験になりました。また、普段の生活では交流のない全国の仲間と出会えたことは、貴重な経験となったに違いないと思います。開催自治体の浦安市には、大変素晴らしい施設等の協力をいただき感謝しています。

### 初めての交流会

● 指導者 鈴木 隆宏

初参加となったクラブ交流会。団員の選出や尾張旭市少年少女消防団との事前練習。猛暑による競技内容の変更や段ボールハウスでの避難所体験など、とても貴重な経験ができました。何よりも団員たちが交流会を楽しむことができてよかったです。交流会関係者の皆様、長久手市キッズ消防団と交流していただいた他市町のクラブ員の皆様、ありがとうございました。



### 初めてのクラブ交流会

● 川本 来貴

僕は長久手市キッズ消防団で、初めてクラブ交流会に行きました。クラブ対抗障害物競争では、初めて出した結果、愛知県内で暫定1位でした。とても嬉しかったです。避難所体験の段ボールハウス工作では、段ボールだけで家を作るなんて、できないと思ったけど、あんなにも簡単に作れるとは思いませんでした。他にも頭を使えば、色々なものが作れるのだと思いました。他にも色々な体験をして、とても楽しかったです。今度行けたら、クラブ対抗リレーもやってみたいです。



### 協力し合って頑張った全国大会

● 豊崎 龍卯

僕は、この消防団全国大会で学んだことがたくさんありました。例えば、障害物競争でみんなと協力してタイムを縮めようと努力しました。そして段ボールハウスも協力して作り、片付けも協力して片付けました。僕は、この全国大会で、仲間との協力することの大切さを教わったと思います。そして、僕は一生に一度できるかできないかのような貴重な経験ができました。この経験が何かに活かされるといいと思います。



### 交流会での貴重な体験

● 川澄 寧々

少年消防クラブ交流会に参加して、たくさんの思い出と経験ができました。障害物競争の結末では、普段はうまくできるのに、本番だとあせて早くできませんでした。段ボールハウス工作では、他の県の消防団員の人たちと協力して作り、宿泊することで、信頼関係も生まれました。私は、本当の災害にあった時にも、この経験を活かして人々の役に立てばと思います。



### 交流会の思い出

● 北川 芽愛

私がクラブ交流会に参加して1番思い出に残ったことは、他の県の消防団と一緒に段ボールで仮設の住まいを作ったりして訓練を行ったことです。今までの消防団でも、大人の方たちと同じ消防団員との活動がありました。でも今回は、初めて会う消防団員との訓練で、初めは緊張しましたが、みんなとの話し合いや訓練、同じ部屋に泊まったことはよい経験が生まれました。この訓練をこれからの活動に活かしていきます。



### 交流会に参加して

● 横山 朱牙

僕は、クラブ交流会に参加し、長久手市キッズ消防団は初参加でした。交流会では、都道府県の少年少女消防クラブの団員が大勢集まりました。1日目はクラブ対抗障害物競争で、5人の団員それぞれに役割がありました。僕は一番員で、巻き結びの時に少し時間がかかったので心配しました。しかし結果は全国で30位ぐらいでした。さらに県内では暫定1位と聞いた時はとても嬉しかったです。2日目は、段ボールハウス作りでした。東京都の団員の子と一緒に作りました。震災時に必要な避難所生活を体験する事で色々な気づきや学びがありました。とても貴重な経験をする事ができて良かったです。また行きたいです。ありがとうございました。



## めっちゃ暑い夏！ in 浦安市



河南町ファイアジュニアは平成 23 年 11 月に発足し、中学 3 年生から小学 4 年生まで総員 23 名（平成 30 年 4 月現在）のクラブ員がいます。今回の千葉県浦安市で開催された交流会には、参加希望者多数のなか、クラブを代表して中学 2 年生 4 名、小学 6 年生 1 名の男女 5 名が参加しました。



### 努力は人を裏切らない！ ● 指導者 立華 良太

今回は例年以上に練習を重ねました。今年の夏は猛暑で、危険な暑さの中の練習となり、クラブ員達も大変だったと思います。しかし、少しでも上位の成績を目指すため、弱音を吐かず頑張ってくれました。結果、例年以上に好成績を収めることができ、クラブ員達にも自信になったと思います。「努力は人を裏切らない」。来年のメンバーにこの思いを繋いで、今年以上の成績を目指したいと思います。



### 将来の日本を守るクラブ員たち

● 指導者 大宅 花奈

全国たくさんのクラブ員たちが頑張る姿に感動し、災害の多い日本ですが心強く感じました。本クラブ員にとって、熱い志を持った全国のクラブ員と交流ができたことは、とても良い刺激になったと思います。指導者としても防災に関して学ぶことが多く、とても良い経験になりました。今後の活動でも、クラブ員と一緒に防災力の向上に努めていきたいと思っています。



### 今大会で得たこと

● 平 龍之介

僕は今回の少年消防クラブに参加して、たくさんのごとを学び、得て帰ってくる事ができました。

1つは達成感です。今年は例年に比べて競技の練習を多くして、体育館でする競技になっても練習通りに全員が動いて、10位という好成績になったのでとても思い出になりました。

2つめは地震や人命救助の知識や関心です。人命救助に関するビデオや講習会をしてみてもためになり、考えが深まりました。

これらのほかにもダンボールハウス体験などを通して、様々なことを学べたので、来年の少年消防クラブ全国大会もぜひ参加したいです。次は5位以内に入り、表彰台に立つことを目指したいです。



### 全国の仲間と交流して学んだこと

● 浦所 未歩

私は今年初めて全国大会に出場し、全国の人たちとふれあう貴重な体験をすることができました。競技大会では、仲間たちと協力し、10位という成績を残すことができました。ダンボールハウス作りでは、他のクラブの人たちと協力し、自分の部屋を作ったり、ドアをつけたりなど協力して作る事ができて、とても良い思い出になりました。私は、千葉県浦安市に行くのも初めてだったので、いろいろなことを体験できて楽しかったです。私がこの大会を通じて学んだことは、災害の時、寝る所の作り方などとても役立つことや、チームと力を合わせてするということ達成感や、全国のクラブの方たちと交流をし、いろいろな事を知ることなどたくさんあります。この経験を活かして、今後のクラブ活動などに活かしていきたいと思っています。



### 2回目の参加で感じたこと

● 岩田 流星

僕は、この全国少年消防クラブ交流大会は、2回目の参加です。1回目の時は、緊張しました。今年は、1回目の反省を活かして落ち着いて参加することが出来ました。結果は、56チーム中10位になることが出来ました。チーム全員で力を合わせて協力することを学びました。

2日目の避難所体験では、ほかのチームと協力してダンボールで部屋を作りました。実際に寝ると痛くてゆっくり寝ることが出来なかった。大会に参加して思ったのは、もっと災害や救急についてもっと学びたいなあと感じました。次の大会にも参加したいと思いました。



### 長くもあり短くもあつた三日間

● 仲野 将馬

日々の練習を重ね、臨んだこの大会。終わった後は一瞬だったなと感じました。一瞬であるこの大会のために練習をしていたのだなと思うと、もっと練習しておけば良かったと感じたりしました。僕はこの10位という結果には満足してなく、失敗だったと思うので、この失敗経験を元に、来年はもっと上位をとれるように頑張りたいです。



### 仲間との大切な思い出

● 浦所 紗希

私は初めての全国大会で、最初は不安でした。でも、行ってみると、とても楽しくて普段体験できないことも体験できてとても楽しかったです。障害物競争では、失敗しないか不安でした。平均台で一回落ちてしまったけど、ほかは成功したのでよかったです。私達のチームは、56チーム中10位でした。昨年より順位が上がっていたので嬉しかったです。ダンボールハウスは、東京の日本橋の人達と一緒に作りました。私は、人に話しかけるのが苦手でしたが最初は不安でした。でも、話しかけてくれて話してみると、とても明るくて、一緒にダンボールハウスを作れて良かったと思いました。私はこの交流会で普段交流できない全国の人達と交流できて本当によかったです。そして、このチームの仲間と一緒に良かったです。この交流会で学んだ事を、今後活かしていきたいです。



## ドキドキの初参加 ～ たくさんの応援をありがとう ～



魚崎ジュニア防災チームは神戸市立魚崎中学校のボランティア活動の中から、2017年7月に男女計18名で発足しました。今年度は22名となり、魚崎町防災福祉コミュニティの方々や東灘消防署のご指導のもと、今回の交流会には2年生5名が参加しました。ロープワークやホース延長に苦労しましたが、何度も練習し当日はよい結果が出たと思います。今後も充実した活動をしていきたいと思っています。

### 全国大会を経験して

● 指導者 今井 敬太

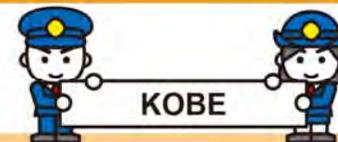
日の丸を袖に付けて北は北海道から南は沖縄までのクラブ紹介を聞き、その一員として参加させていただいたのを誇りに思います。そして魚崎ジュニアのメンバーは初参加ですが、日々の練習の成果が表れ、優勝候補の町田消防少年団の団員に負けず劣らずの迫力で競技を終えたことを嬉しく思います。また避難所体験では岩手県、宮城県の団員と共に工夫を凝らしたダンボールハウスを作成し、避難所生活の問題点やその解決について身をもって経験することができました。

ここまで応援していただいた消防署の方々、地域防コミの方々、そして保護者の皆様本当にありがとうございました。

### 子供たちに必要な生きる力

● 指導者 下川 夕貴

ロープ結索や消火活動などの消防訓練を、競技として楽しみながら学ぶことは、今の時代に必要だと改めて思いました。また、今大会は、冷房がきいていて三度の食事も用意された上での体育館でしたが、避難所生活の不便さにわずかながら触れることができ、防災について考える貴重な機会になりました。今後の教育に生かしていかなければと思います。ご尽力いただいた皆様に感謝しています。



### 全国交流会に参加して

● 畑 輝羅

全国交流会で楽しかったことの1つは障害物競走です。雨天時のプログラムになり、僕が一番苦手なホースポウリングをすることになりました。一発本番でしたが、なんとストライクを出すことができ、とてもうれしかったです。また、段ボールハウス作りは、夢中になってしまうほど楽しかったです。それぞれの班で形が違って面白かったです。



### 貴重な体験

● 岡田 真夕加

今回、この交流会に参加するにあたり、ホースをつないだり、ロープ結索をしたりと日常生活にはない貴重な体験をしたと思います。また、段ボールを組み立てて寝る場所を作りましたが、とても大変でした。でも、岩手の人と一緒に作りながら、岩手の話をしたり、方言のことで盛り上がりたりするのは楽しく、よい思い出ができました。交流会に行くまでは不安がありましたが、この体験をばねにして、いろんなことに挑戦していきたいです。



### たくさんの経験

● 山田 真世

今回の交流会に参加でき、本当に良かったです。初めてのことがばかりの不安と、わくわくした気持ちとでいっぱいでしたが、交流会が終わったあとは、楽しかったという気持ちでいっぱいでした。障害物競走は全国3位のチームと一緒に走り、タイムはずごく遅されましたが、やり切ったので良かったです。今回のたくさんの経験を今後活かしていきたいです。

### 少年消防クラブ交流会を終えて

● 竹田 圭吾

今回、初めての経験をたくさんしました。1つ目は「結索」。始めは上手くできませんでしたが、練習を重ねるうちにだんだん速く上手にできるようになりました。2つ目は「ホースポウリング」。ホースの使い方を学ぶことができ、将来何かの役に立つと思います。3つ目は「段ボールハウス作り」。僕たちは宮城県の先輩方と協力してしっかりとした段ボールハウスを作ることができました。最近、自然災害が多くなっているのでこの経験を使うことがあるかもしれません。これらの経験を活かし、これからの防災活動や地域活動に積極的に取り組み、身近な人々を助けられるようにしたいです。



### 初めての交流会

● 面谷 莉奈

東灘区内の放水大会や避難訓練等に参加していた私たち防災チームが、いきなり全国交流会参加で、とても驚きました。でも、他のチームとの合同練習を通して、全国交流会に参加するんだと実感しました。大会当日は町田消防少年団と競いました。強豪チームだったので、勝負というより「楽しもう」を合言葉に頑張りました。



## ジュニア隊から未来の防災リーダーを目指して



西落合防災福祉コミュニティジュニア隊は平成15年に発足し、現在小学3年生から中学1年生の33名で活動しています。将来防災ジュニア隊から未来の防災リーダーとして活躍できる人材を育成するため、定期的に訓練を実施し、地域内外のボランティア活動に参加しています。

### 初めて参加して感じた交流会

● 指導者 三木 喜美代

初めての参加でしたが、チームの子供たちは、隣に来るチームとすぐに仲間になってしまいます。3日間の訓練の中では、特に感じさせられた部分でした。今回、交流会に参加できた事に対し感謝しています。

また機会がございましたら、是非参加したいです。有難うございました。

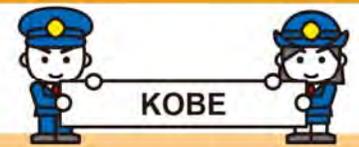


### 交流会に参加して

● 指導者 川田 廣司

ジュニア隊が今回全国規模の大会で初めての参加になりましたが、交流会での訓練や他のチームの子供たちの行動について、いろいろと考えさせられる事があり、勉強になりました。

今回初めての交流会参加に対し、感謝しています。また参加の機会があれば、よろしくお願いします。



### 交流会に参加して学んだこと

● 山中 麻結

2泊3日の交流会でたくさんの事を学びました。特に2日目の避難所体験では自然災害発生後の生活の大変さを知ることが、一番の学びとなりました。

食事はお弁当がでたので良かったのですが、段ボールハウスでは暑かったり寒かったり温度調節が難しかったので疲れました。今回の体験で、現状の生活の尊さを知ることが出来ました。これからは一日一日を大切に、物を大切に暮らしていきたいです。



### 交流会に参加して心に残った事

● 森田 作哉

交流会に参加して心に残った事は、チーム対抗リレーです。順位は56チーム中32位だったけど、しっかりできて良かったです。ピンもあまり倒せなかったけど、楽しめました。交流会に参加して友達もできたり、いろんな経験も出来ました。これからも人の役に立てよう頑張りたいです。



### 交流会に参加して学んだ事

● 滝野 さくら

少年消防クラブ交流会に参加して訓練をしたり、段ボールハウスで寝たりしていい経験になりました。訓練では、消防団救急リーダーに教えてもらい、私も覚えることが出来ました。段ボールハウスでは初めて段ボールで寝て痛かったけど、地震などが来た時に寝ないといけないかもしれないので、作り方も覚えたので良かったです。また機会があれば参加したいです。今回の参加で学んだことを忘れないようにしたいです。

### 交流会での思い出

● 命婦 亜弥乃

今回の交流会で思い出がたくさんできました。特に思い出に残ったのは、段ボールハウス作りです。私達のグループは宮城のジュニアチームと段ボールハウスを作りました。お互いが離れた地域に住んでいる人たちと、いろいろ話したりしたのが楽しかったです。

他にも、AEDの使い方や巻き結びの方法等、いろいろな事を学びました。これから緊急時に役立つ事を学べて良かったです。



### 交流会に参加して楽しかった事

● 江頭 広睦

今回、少年消防クラブ交流会に参加してとても楽しかったです。グループで訓練はしていたけど、今回いろんな人と一緒に訓練したことで、いつもと違う体験が出来ました。僕は一番段ボールハウス作りが楽しかったです。意外と大きかったので、大家族でも入れそうです。段ボールハウスだと避難所生活も少しは快適に過ごせそうです。他のチームの人達と仲良くなったので、とても良い経験でした。



## 交流会で多くの仲間と話をしました



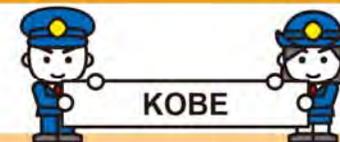
私たちひよどり台防災JrTは、阪神淡路大震災（平成7年）を教訓に神戸市の防災福祉活動に連動して設立された地域自主防災組織が育成しているチームで、地域内の中学校及び小学校の子供たち（中学生全員・小学4～6年生の希望者）が参加し、本年度のメンバー数は186名となっています。その活動内容は、学校側のご理解のもと毎月1回防災や救急に関する訓練や講習のほか地元商業施設のイベントのお手伝いも行っています。



### 期待

● 指導者 明石 民雄

私たちは、地域組織強化につながるよう毎回メンバーを入れ替えて交流会に参加しています。今回は初めて女子生徒三名が仲間に加わったことで、競技の場面では男女で力の差はあったものの、チームのけん引や避難所体験での細かい配慮など「女子力」をうまく発揮していたと感じる場面もありました。災害発生時には多くの情報が交錯するなか、彼女たちが「地域防災リーダー」として成果を発揮していくことを期待しています。



### 交流会で学んだ二つのこと

● 西山 ゆい (中1)

私はこの交流会で二つのことを「大切だ」と学びました。一つ目は、私たちメンバーのチームワークの協調性です。全員で六名と少数ですが、指導者より指示された時間・場所・行動などに対して一人でも守らなければチームとして動くことができません。二つ目は、他のクラブとの関わり合いです。合同訓練中はしっかりと応援し、訓練後は楽しくお話をすることで、避難所体験では東京のチームと一緒に段ボールハウスを作りました。交流会ではとても楽しく過ごせました。



### 命の大切さを学ぶ

● 大岡 翼 (中1)

僕は今回の大会で「命の大切さ」を学びました。救命講習では心肺蘇生法やAEDの使い方を習い、少しでも早く処置をすることが命を救うことにつながると学びました。また、浦安市の消防団の人から、「東日本大震災のとき、浦安市では液状化現象が起きて家が傾いて道路は陥没し、普段通りの生活ができなかった。」と話して頂きました。僕の町神戸でも、阪神淡路大震災のことを学校などで学びますが、地震の恐ろしさを改めて認識しました。



### 避難所体験

● 坂本 陽 (小6)

交流会一日目、各チームの紹介では皆の活動内容が良く判りとても楽しかったです。二日目、屋内の合同訓練では障害物競争のみとなり、僕はプラカードを持って先頭で行進しチームメンバーを大きな声で応援しました。その後の避難所体験では、段ボールハウスを作りました。余った段ボールでくつ箱を作り、その上に「整理整頓」と漢字で書くのが一番苦労しました。そして、「被災者はとてもつらいのだな」「災害はとても悲しいことだ」と思いました。



### 協力すればできる

● 濱野 愛里 (中1)

私はこの交流会で「協力すればできる」ということを学びました。七月に入り大雨と酷暑のため、大会の練習が思うように進みませんでした。けれども、消防署の方が懸命に競技のコツを教えてください「がんばろう!」という気持ちになりました。大会当日の合同訓練は室内競技へと変更になり、私たちのチーム員は発走順序を変更してのスタートとなりました。しかし、メンバー全員の協力であわてることなく無事完走ができました。



### やればできる

● 黒田 若葉 (中1)

私の交流会参加のきっかけは、学校からの募集に応募したことです。初めは交流会で何をやるのか全く分からず不安な気持ちでした。でも仲間と前回の動画を見たり消防団技を練習したりして、「交流会のかたち」が見えてすこくワクワクする気持ちが出てきました。そして浦安市に行つての合同訓練では練習通りの動きができ、避難所体験では段ボールハウスを一夜で過ごしましたが、自分の家とは違いなかなか寝られませんでした。



### 交流会に参加できた

● 磯部 秦良 (小6)

僕はジュニアチームに入った四年生のときから交流会に行きたいと思い、毎月のジュニア研修を続けてきた。今年の五月に参加メンバーに選ばれたときはすごく嬉しかった。そして、交流会に向け消防ホースの扱い方やロープ索を消防署の人から習い覚えた。また、避難所体験での段ボールハウス作りでは、東京の仲間と一緒に話し合いをしながら、くつ箱や個室などを作ったりしてとても楽しかった。



## この夏学んだ「絆」そして「思いやり」



東川崎防災ジュニアチームは、神戸市立湊翔楠中学校の生徒9名が隊員として登録、毎月1回、防災や救急に関する訓練、講習等を行っています。

全国交流会は2回目の参加となり、今年は、仲間との「絆」を深め、仲間への「思いやり」の気持ちを持ち3日間を過ごしました。今後、この経験を生かして地域防災力の向上に努めていきます。



### 隊員の成長に感謝

● 指導者 山本 久計

私が少年消防クラブ交流会の指導員として参加させて頂いて2年になりました。一番感じた事は、隊員の成長であります。昨年は団体行動に多々羽目を外す所がありましたが、本年は昨年とは見違える程の行動でした。競技は、昨年初出場としては、とても優秀な成績を上げ、今年も昨年を上回る成績で、隊員の目が輝いて見えました。私もこの子達と過ごした3日間は一生の思い出になると思います。



### 全国交流会を振り返って

● 指導者 吉田 知展

今回の全国交流会は、2回目の参加となり、事前訓練では、隊員が自主的・積極的に訓練に取り組んでくれたと思います。合同訓練ではチームの「絆」が深まり、訓練後の避難所体験では、他のクラブ員と「思いやり」の心を持って取り組みました。この3日間で隊員・指導者共に貴重な体験をさせていただきました。今後はこの経験を生かし、防災活動に取り組んでいきます。最後に、準備・運営をしていただいた皆様ありがとうございました。



### 一生の思い出

● 山中 佳奈

今回の全国大会は暑さで急ぎよ室内競技になりましたが、仲間と力を合わせて、いい成績を残せました。17位でした。また、ダンボールハウスでは余ったダンボールにイラストを描き、同じスペースの子と仲よくなりました。アドバイスのおかげで新たな将来の道に気づくことが出来ました。

今回の全国大会は私の人生を動かしたとも言えます。私は絶対に忘れません。一生の思い出です。



### チームの絆

● 上野 夢月

私は今回、2度目の全国大会に出場しました。私は夏休み忙しくて、練習にあまり参加できませんでした。しかし、急遽、猛暑のために室内競技になりました。なにも練習しておらず、焦りと不安でいっぱいでした。でもチームのみんなと心をつなげて、いざ競技に挑みました。少しミスをして時間がかかってしまったけど、後の仲間がその分をカバーしてくれました。結果は17位でした。この全国大会では仲間との絆を深めることができ、よかったです。



### 全国大会で学んだこと

● 竹下 聖夏

私は今回メンバーとして、初めてこの全国大会に参加しました。合同訓練は室内ということもあり緊張しましたが、先輩方のおかげで普段通りに取り組めたと思います。

また、救命講習やダンボールハウスで寝たことなどを通して、命の尊さや共同生活の大変さを改めて考えるきっかけになりました。そして、「思いやり」の大切さを身をもって実感しました。今回得ることができた貴重な経験を、これからの防災訓練や日々の生活に活かして努力を重ねていきたいです。



### 全国大会 ザ・ファイナル

● 石橋 侑晟

僕が、全国大会に出場したのは2回目ですが、特に、人と人のコミュニケーションの大切さを実感し、人間的に成長する事ができたと思います。2日目のダンボールハウスの時、もし、災害などで避難生活が始まって不安と恐怖に苛まれていて、近くの人に声をかけてもらえたら、どれだけ安心するかと考えた事でコミュニケーションが大切と思いました。最後になりますが、消防署の方々、指導者の皆様本当にありがとうございました。



### 全国大会を終えて

● 田良原 萌

今回、2度目の全国大会でしたが、この日がくるまでもっと楽しみにしていました。自分達にとって最後の大会でもあったので、必ず10位以内に入るとう日々の練習もがんばりました。そして本番、結果は17位。惜しくも10位以内には入れませんでしたがこの3日間、本当に濃くて楽しい体験ができたのでよかったです。チームメイトとも仲を深められ、このチームで大会に挑んだおかげで最高の時間を過ごせました。ありがとうございました。



## 飛躍のはじまり



毎週土曜日に鼓笛練習・防災学習に取り組む活動をしています。創立36年を迎えクラブ体制も活動内容も変動の期に差し掛かっています。

年間通じて四季折々の地域のイベントに音楽活動で交流を図り、部員たちが取り組んだ防災マップやポスター、防災クイズなどで地元の防災意識啓発に動んでいます。活動内容によりメンバーの顔触れも様々です！



### 経験することに無駄はない

● 指導者 國澤 一世

チャレンジ精神が周囲を動かし参加する皆が目的に向かって協力する光景は全大会を通じ素晴らしいと痛感。「丁寧と迅速」の大切さが活動の成果となり防災や救命活動に活かされていくBFC全国大会は部員が『自立と協調』を考える良いきっかけとなりました。部員から指導者へと成長された方にも感動！そして広島への復興メッセージに感謝します。



### 一致団結

● 松本 蓮

僕はこの交流会を通じてクラブ員の皆との団結力を深めることができました。毎週土曜日の活動でロープの結束も練習を積み重ねていったことで結びやすさを覚えられました。いろいろなこともあったけど助け合ったことで競技をやりきることができました。千葉の浦安少年消防団さんの活動は素早くてすごいと思いました。そして僕らの活動を支えて下さったスタッフの方々には感謝しています。ありがとうございました。



### 交流会で学んだこと

● 上田 悠雅

ぼくがこの交流会で学んだことは、災害時の生活の仕方の大変さや、他チームとの交流を大切にすることがわかったことです。ダンボールでの生活では、一つ一つ必要なものは作らないといけないですし、家との環境とは全く違い、過ごしにくい中で生活するのは大変だと思いました。他チームとの交流では各地方の方々や情報を教えあえたりできました。今後、しっかりこの経験を活かしたいです



### 心ある活動を次に活かす

● 國澤 日和

僕は全国大会交流会で多くの方々や関わりを持つことができました。全国のクラブ員が集まる貴重な三日間。それぞれの地方でどんなことが起こったかをお互いに情報交換し今の自分たちがいかに多くの支えによりあるのかを感じ大会での経験と感謝の気持ちを伝えていかなければと思えました。また浦安少年消防団の心ある救助活動を見てこのような活動が大切だと想いました。貴重な体験でした。このような環境を作ってくださいました。ありがとうございました。



### 大会で学んだこと・感じたこと

● 上田 唯楓

ぼくはダンボールハウスを作ったり、そこで過ごしたのは初めての経験でした。もし災害が起きてケガなどをしていたら一人ではダンボールハウスが作れないので人との協力は大切だと思いました。チームでしっかり練習していきましたが大会でロープワークが少しうまくいかなかったけどあせりませんでした。他のチームの方々が声援をおくってくださいととても嬉しかったです。比治山BFCで参加できてよかったです。



### 消防全国大会で学んだ事

● 田邊 葉一

僕は消防全国大会で心臓マッサージを学びました。心肺停止でも多くの方が亡くなっていること知りました。とても難しかったです。日々の訓練がどれだけ大切か分かったので僕もしっかりとできるようにになりたいと思いました。だから公民館や町内の活動でも多くの人に知ってもらえる機会をいかして学んだ事を役立てたいです。



## 全国交流会に参加しそれぞれが それぞれに感じたこと～出会いに感謝～



元宇品学区少年消防クラブは、広島市の南端、広島港に隣接する周辺を海に囲まれた国定自然公園の中に位置します。1980年12月に少年少女の火災予防思想の普及と明朗健全、協調精神を醸成、育成に寄与する事を目的とし発足し今年で39年目を迎えます。クラブ員は元宇品小学校の3年生から6年生までの44名で活動しています。広島市の出初式では毎年、鼓笛演奏でパレードに参加しています。



● 指導者 岸 宏之

この度の全国交流会にあたり企画、運営頂きありがとうございました。心に残る大会でした。初日の夢いっぱいディスニランドを横目にシェラトンホテルでの宿泊、2日目はダンボールハウスでの避難所体験、色々なクラブ指導者との交流での情報交換。各県、地域によりBFCへの取り組み、運営、予算など温度差の違いに驚かされました。有意義な3日間でした。今後の子ども達への指導に改めてエネルギーを頂きました。



● 指導者 大畑 昭子

連日暑い日が続いていましたが、全国大会に向けて競技の練習を行い、家で練習出来る結果は各自ロープを持ち帰り練習していました。本番は高温の為、屋内での開催になり戸惑いながらの競技でしたが、練習の成果を出そうと隊員達も緊張しながら頑張っていました。ダンボールハウス作りは私も初経験でしたが、だれでも簡単に作れて安心地も良く感じました。隊員指導員共に充実した3日間を過ごされました。ありがとうございました！



全てを出しきった全国大会

● 大畑 嘉人

僕は全国大会に向けて頑張って練習してきました。苦手だった結果も早くできるようになりました。本番では、頑張るぞ！と心の中で思ってたけど、全国大会はそう甘くはない成績ではありませんでした。悔しかったけど、みんなと一緒に頑張ったので楽しかったです。ダンボールハウス作りでは、他のチームの友達と協力して自分達だけのハウスを作りました。小学生最後の夏休みで思い出に残る3日間になりました。



楽しく学んだ3日間

● 沖田 凌多郎

ぼくは8月1日に、東京や千葉に行きました。最初は緊張して気分がすぐれなかったけど、本番では緊張がほぐれました。順位は関係ないのでチーム一丸となって競技できたことがうれしかったです。ダンボールハウスでは、違う県の方とふれあえ、なかよくなれてよかったです。そしてこの3日間で仲間の大切さを学びました。この経験をこれからの生活にいかしたいです。



BFC全国大会に参加して

● 宮田 大

僕はBFCの全国大会に参加するため、千葉に三日間行きました。二日目が競技の日でした。競技の当日は猛暑だったため体育館の中で一種目だけやりました。僕たちの元宇品チームは始めの方に走るの、開会式が終わってすぐのころからとても緊張していました。一生懸命練習した成果を出したいと頑張ったけど、結果はあまり良くなく、もう少し上位を目指したかったのが悔しかったです。でも楽しい3日間でした。



学んだこと

● 丸山 月咲

私は8月1日からの3日間を通して仲間と協力するということ学びました。競技の時チームのみんなと協力したから全力をつくすことが出来ました。ダンボールハウス作成の時他のクラブの人と協力して作ったからうまく出来ました。私はこの交流会に参加できてよかったです。これからも仲間と協力することを大切にしていきたいです。



仲間という大切さ

● 山下 万葉

私は初めての東京や千葉行きです！シェラトンホテルにも初めて行きました。初めは人数の多さにもビックリしましたが、違うチームもそうしていると思い次の日、競技会場に行きました。私達の番が始まると緊張し始め、終わっても止まりませんでした。結果は分らなかったけど私の心の中では私達が一番でした。ずっと練習してきて仲間という大切さに気付きました。夜のダンボールハウスでは初対面の色々な県から来た人とも仲良くなる事が出来ました。ダンボールハウス作りでも仲間の大切さに気付きました。この3日間で沢山、学べたので日常で使っていきたいです。



## 初の4位入賞！～仲間と共に過ごした3日間～



府中町少年少女消防クラブは、平成10年に発足し、今年で21目になります。町内の小・中学生で構成されており、現在36名のクラブ員が所属しております。主に土日で規律訓練や防火防災について、年間30回程度活動しており、将来の防火・防災の担い手となる人材育成を目的として頑張っています。

### 素晴らしい環境での合同訓練

●指導者 香川 敦晶

今回の交流会で、学んだことが3つあります。一つ目は、訓練を続けることの大切さです。最初は、出来なかったことも訓練を継続することで徐々に出来ることが増えました。二つ目は、協力することの大切さです。一人ではできない活動や訓練も協力することで可能にすることができました。三つ目は、仲間の大切さです。仲間と切磋琢磨することで、チーム全員で成長することができました。

### 諦めずに取り組んだ2ヶ月間！

●指導者 森脇 直人

大会2ヶ月前から開始した訓練は、最初は結果さえ作成できずタイムはおろかゴールにたどり着くことが出来ませんでした。しかし、毎週訓練を重ねることで、徐々にタイムが上がってきました。大会当日、選手たちは緊張していた様子でしたが、これまでの訓練の成果を発揮することができ4位入賞することができました。2ヶ月間、結果を求めて諦めず取り組んだ結果が最高の形となりました。選手には、諦めないことの大切さを後輩たちに引き継いでもらいたいです。



### 嬉しさ・悔しさ・感謝

●三宅 葵

私は、二度目の交流会に挑みました。去年は入賞できず悔しい結果に終わったので、今年はリベンジの気持ちでチームメイトと全力を尽くしました。「4位、広島県府中町」結果を聞いた時、嬉しさと悔しさと複雑な思いでした。皆で一つになり挑戦した日々は、大切な宝物です。この経験と思いができたのは、指導員や消防署の方々、父兄の支えのおかげです。府中町は災害に見舞われたにも関わらず、交流会に参加でき感謝しています。



### 全力

●五石 滯月

障害物競争で4位入賞してすごくうれしかったです。2ヶ月くらいの短い練習期間でしたが、チームでがんばりました。急に種目が変わったけれど、本番に本気で立ち向かいました。何も無駄なことは考えず集中できたのでいいタイムができました。でも、これで終わりではなく、これからも練習を重ねて、もっと速くできるように努力して、下の学年にも伝えていきたいです。すごくいい経験ができました。ありがとうございました。



### 全国大会で学んだこと

●中野 翔太

僕は、この交流会で、同じクラブの人とも、もっと仲良くなれたし、他のクラブの人とも仲良くなれました。交流会当日では、練習の時のタイムより遅かったけど、4位という好成绩だったので、とても嬉しかったです。交流会を通して、僕は、「何でも努力すれば、良い結果が出る」ということがわかりました。このことを忘れずに、他の活動や生活に活かそうと思います。

### 消防クラブ交流会に参加して

●片山 陽音

5月の終わりから交流会に向けての訓練が始まりました。例年より厳しい暑さの中、皆で力を合わせて頑張りました。途中、西日本豪雨により私たちの町内も被害を受けましたが、周りのサポートで乗り切ることができ、4位入賞という結果が残せてとてもうれしかったです。お世話になった皆様、ありがとうございました。



### 練習を通して学んだこと

●妹尾 光晟

僕は今回の大会に向けた練習で非常に多くの事を学びました。その中でも次の4つの学びが強く印象に残りました。それは一つ一つの言葉と行動に責任を持つ事、がむしゃらでもいから一生懸命に取り組む姿勢と気持ち、結果を出すために目標に向かってチームワークを深め、心を一つにする事、支えてくれている人達への感謝の気持ちを忘れない事です。今回の大会で学んだ努力、責任、一心、感謝を常に胸に刻み行動していきたいと思っています。



## たくさんの体験ができました！



「厚南地区少年消防クラブ」は、隣接する3小学校区の各小学児童有志からなるクラブです。現在約30人のクラブ員が、訓練や研修、地域の行事参加等様々な活動を通じて、防火防災や自助共助等を学んでいます。また、クラブを卒団した中高生は「厚南防災ジュニアリーダーチーム」として地域の防災リーダー的存在として併せて活躍中です。今年は大雨や台風の影響で訓練があまりできませんでしたが、3日間、精一杯頑張りました！



### 少年消防クラブ交流会に参加して ● 指導者 三戸 肇

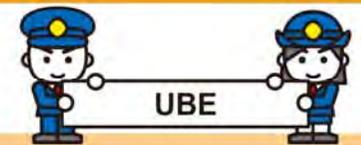
今回の参加で5回目となる本交流会は、今までで最も暑く、思い出に残る大会となりました。この記録的な暑さのおかげで、2日目に行われるクラブ対抗競技が雨天対応となったこと、宿泊や競技を行う会場がディズニーシー直近であり、今回参加したクラブ員たちにとって、かなり目に毒であったこと、練習期間もあまりなかったにも拘らず、参加クラブ員達はとても良く頑張ってくれたこと等々、思い出がたくさんできたと思います。最後に、この交流会内の競技参加のため、約1ヶ月前から事前訓練を行い、また、この暑い中、参加クラブ員たちに熱心にご指導いただいた宇部西消防署員の方々に感謝とお礼を申し上げます。



### 未来の防災リーダー

● 指導者 川崎 裕美

今年は天候不良で練習ができず、残念ながら練習の成果を十分に発揮することができませんでしたが、子ども達の一生懸命な姿に感動することができました。全国各地で様々な災害が起こっている中で、ダンボールハウスでの避難所体験はとても貴重な経験となりました。あまり災害のない宇部で安心安全に日常生活が送れていることに感謝し、この経験を活かし、地域の防災リーダーとなり社会に貢献して欲しいと思います。



### 災害が起きたら・・・

● 川崎 光稀

台風などにより、練習があまりできませんでしたが、この大会を支えてくださったみなさん、本当にありがとうございます。今回は、残念ながら練習の成果を十分に発揮できませんでしたが、この大会を通してたくさんのことを学ぶことができました。

特にダンボールハウス体験は、よい経験になりました。最近山口県内でも大雨が降って避難所生活をしている方がいます。災害が少ない宇部市でもいつ避難することになるかわかりません。災害が起きたときは、今回の経験を生かして、私たちが率先してみんなを助けたいと思います。



### 初めての交流会

● 山本 琢真

僕の兄と姉はこの交流会に行ったことがあったけど、僕は一度も行ったことがありませんでした。1日目のホテルに入ったとたん、すぐに友達できました。どこに住んでいるか、そこはどんな所かなど話は、どんどんふくれていきました。夜は一緒にゲームをしたりして楽しかったです。他にもダンボールハウスでは、東京の人などたくさんの人と友達になりました。本番は緊張して、上手にできなかったけど、やるべいまでがんばったので、本当に良かったです。この経験を活かしてもっとがんばり、そして習ったことを忘れて家に帰っても結果などしていきま



### 消防クラブの感想

● 熊野 悠奈

私はこの大会で仲間と協力することができました。クラブ対抗障害物競争では、練習の時と違って、本番ではひざ当てや、ひじ当てや、ヘルメットなどを着けたので重くて練習の時よりも体が動き辛くて、練習より良いタイムは出せなかったけど、悔いのないように全力でできたので良かったです。避難所体験のダンボールハウスを作る時に、他の消防クラブの人と作れることができて良かったです。この大会に出て、救命講習など色々なことを学んで、良い経験になりました。



### 交流会の体験

● 鹿島 亜衣

私は少年消防クラブ交流会に参加して、日本各地の消防クラブ員たちと交流ができました。私が心に残ったことは、他県の消防クラブ員と協力してダンボールハウスを作ったことです。同じ区画の人たちとたくさん話し合ったりアドバイスをもらって楽しく作る事が出来ました。実際にダンボールハウスで寝てみて、私は、とても寝にくいと感じました。被災者の人たちはダンボールハウスで実際に生活しているのでその不便さがよくわかりました。

私はこの交流会を通して様々な体験をすることが出来ました。この体験をこれからの生活に生かしていきたいと思いました。



### 交流会に参加して

● 大林 ゆり子

千葉県全国大会に行きました。1日目はホテルに行きました。そして食事するところで消防の自己紹介がありました。2日目は、大会でした。全国大会では始めに板をとんで、棒をとんで、棒の下をくぐって、最後に自分の結果を見て、次は始めと逆の方向にもどって行きました。私の結果はもやい結びでした。一生懸命やっただけ順位に入らなかったのが残念でした。だけど順位に入らなかったけどみんなと協力できて楽しかったのが良かったです。そして夜はダンボールハウスを造る県の人と協力して組み立てました。ダンボールハウスは思ったより大きかったです。寝るときは暑いと思ったけど夜中は逆に寒かったです。3日目は帰りました。千葉県に行って人の助け方やいろいろのことを学べてよかったです。



## かけがえのない経験・一生の思い出



穴吹少年少女消防クラブは、平成28年6月に結成され、穴吹小学校4年生から6年生の希望者10名で活動しています。年間をととして、規律訓練ならびに消火訓練等の消防訓練を行っております。

昨年の交流会に引き続き2回目、今回は6年生3名、5年生3名の計6名で参加し、クラブ員にとって貴重な体験ができました。



### 交流会での経験

● 指導者 尾方 賢一

昨年の徳島県で開催された少年消防クラブ交流会に引き続き、2回目の交流会でした。

昨年参加したメンバー3名を含む6名で参加し、交流会へ向けた訓練では、「昨年より良い記録がでるように」と協力し合いながら訓練を行ってきました。結果は、入賞とまではいきませんが、日頃の訓練より良い結果がでた本当に良かったと思います。また、ダンボールハウス作りでは、他のクラブ員との交流を図ることもでき、クラブ員にとってかけがえのない経験とともに、一生の思い出になったと思います。交流会で学んだことを今後の活動に活かしてもらいたいです。



### 少年消防クラブ交流会に参加して

● 知野 稜平

ぼくは、この交流会に参加して一番緊張したことは、「決意表明」を言ったことです。

この交流会に参加した56クラブ、約400人の前で「決意表明」を言ったので、声が出るなり、また、足がふるえたりなど、とても緊張しました。

しかし、このように大勢のみなさんの前で何かをする。または、発言するなどの行動は今後大人になっても必要となるので、良い経験だったと後から思いました。



### 勉強になった交流会

● 黒田 息吹

ぼくが心に残った活動は2つあります。

1つ目は、クラブ紹介や夕ご飯です。クラブ紹介のときは、急にクラブの紹介を言うことになったけど、緊張せずに言えて、夕ご飯もたくさん話をして楽しかったです。

2つ目は、ダンボールハウス作りです。たくさんの人と知り合い、友達が増えました。すべての活動が自分のためになりました。



### 少年消防クラブ交流会で

● 齊藤 琉羽

8月1日から8月3日の3日間、少年消防クラブ交流会で千葉県に行きました。

初めて飛行機に乗ったとき、ドキドキしました。1日目はホテルで泊まり、2日目の本番、ぼくたちは、今まで練習した中で1番良い結果ができました。

この交流会で色々なことを学び、色々な人と交流を深められました。



### 少年消防クラブ交流会での体験

● 谷 依津希

私は少年消防クラブ交流会でとても良い経験ができました。中でも心に残った事は、心肺蘇生法の中の胸骨圧迫を教えてもらったことです。そこでは、もし目の前で人がたおれてもすばやく行動が出来るよう習いました。胸骨圧迫用の人形で実践し、胸骨のところを手のつけねで力強く一定のリズムで押ししました。けれど胸骨のところがかたく、すぐに手がなくなってきました。私はこんなことでは人は助けられないと思い消防の方の教えのもと一生懸命、胸骨圧迫をしました。

年間心肺停止で亡くなる人は約70万人です。私はこの体験をして目の前で人がたおれてもあせらず行動して、心肺停止で亡くなる人を減らしたいと思います。



### 交流会で学んだこと

● 幸田 茉夏

私は、少年消防クラブ交流会へ行って、AEDの使い方や心臓マッサージのやり方を教えてもらいました。これからは、たおれている人を見つけたら119番とAEDをまわりの人をお願いすること、心臓マッサージをすることをおぼえておきたいです。また、ダンボールハウス作りでは、他県の代表の人たちとの交流を深める事もできました。

私は交流会で学んだ事がこの先すごく役に立つと思っています。そんなすばらしい体験をさせてください、すごうれしく思いました。



### 交流会での経験

● 竹内 ひなた

私は、8月1、2、3日に千葉県の浦安市で少年消防クラブの交流会に参加しました。交流会での競技は良い結果はできませんでしたが、練習の成果がでせたのでとても良かったです。

ほかに、心臓マッサージの方法などを教えてもらいました。もしものときに人がたおれていても、見て見ぬふりをせず自分から心臓マッサージが出来るように心がけ、教えてもらったように出来るようにしたいです。

私は、3日間とても心に残る良い経験をさせてもらってとてもうれしかったです。



## 大会で得た経験は、一生の宝物



板野東部少年少女消防クラブは、松茂・北島・藍住町の小学4年生～6年生のクラブ員28名で、年間を通じて防災や救急に関する訓練、活動を行なっています。今回は、6年生4名5年生1名の男女5名が参加しました。



### 大会を終えて ● 指導者 谷 久仁彦

当クラブは今回2回目の出場で、今年は男女混合チームで構成したことから、チームワークがどうなるか心配していましたが、練習からまとまりがあり、良いチームとして出場できたと思っています。結果として、上位入賞はできませんでしたが、全国のクラブ員と交流もでき、「一生懸命楽しんでやる。」という目標は達成できたと、感じております。今回の参加者全員が学んだことが、今後の人生に役立てばよいと思います。



### 大会を終えて ● 指導者 三間 英幸

今回の交流会では、他県のクラブ員と協力しながらの避難所体験や、浦安市少年消防団の集団事故訓練等、日頃の活動では経験できない貴重な体験ができ、最高の思い出となりました。交流会を終えクラブ員たちは、今まで以上に高い防災意識を持つことができたと思います。



### 全国大会に参加して ● 高口 千愛

大会3日目の消防団の人の経験話や、少年消防団の、階段からたくさんの方が落ちたという内容の、応急手当の訓練は、すぐく頭に入ってきて、もし、人がけがをしたときなどに、すぐに対応してあげたいなと思いました。これからも、今回ならったことを活かして、どんな時にでも対応できる人間になりたいという、「目標」ができたので、活かしたいと思いました。本当に勉強になりました。



### 全国大会に参加して ● 山下 隼愛

今回参加して、災害時の対応についているいろいろ教えてもらったり訓練できたことは、すごく貴重な体験でした。個人よりみんなで協力して作業を行えば、早く作業ができることも学びました。もし災害に遇ってしまった時には、この体験を活かして行動できればいいと思います。消防クラブ員として大会に参加したことは、大きな思い出となりました。



### 千葉大会に参加して ● 堀金 桜里

大会では、避難所体験というとても貴重な体験をしました。私は、避難所での生活はとても大変でつらいことが分かりました。それと同時に、一緒に避難してきた人々と共に協力して作業などをしたら、絆が深まるということを学びました。

三日目には、地元消防クラブなどの方から、日頃行っている防災活動についてのお話を聞いたり、東日本大震災が起こったときの被害の映像を見せてもらったりすることができました。その消防クラブの活動も、とても立派だと思います。

これからも、今回学んだことを生かして活動し、被災したときでも活かしていこうと思いました。



### 全国大会に参加して ● 蛭田 夢加

大会では、相手より早くできたのでとてもうれしかったです。1位になれなかったです。東京の子たちと一緒に、段ボールハウスをディズニーリゾートみたいにしました。お別れの時は、とてもつらかったです。帰りの飛行機の中で「今、私には、友達や家族を愛し合う」ということを、私は感じました。今年は、7月の豪雨や、台風の影響が多かったです。もし、災害がおこった時には体験で習ったことを活かしたいです。



### 千葉大会に参加して ● 桑原 汐都

僕は、板野東部少年少女消防クラブの選手として、千葉県の大会に参加しました。全国から参加している、たくさんの方のチームの競技を見ながら、自分たちの番が近づいてくると、がんばる気持ちと、緊張感が一気に出てきました。クラブ対抗障害物競走では、家でたくさん練習した巻き結びが、うまくできました。入賞は出来ませんが、チーム全員一生懸命がんばりました。今回、初めて大会に参加して県外のチームとなか良くできたことや、一緒に体験したことを、無駄にしないようにしたいと思います。



## 高松市から初出場!! ~ 仲間と過ごした夏 ~



私達のクラブは、「防災についてもっと知りたい。」「災害時に備えて、いろいろなことを経験したい。」など、防災に関心をもっている人が、有志で集まり結成されています。クラブ交流会は初出場ということで、悩み、とまどいながらも一所懸命に練習してきました。仲間と経験したことを、大切にしていきたいです。



### 交流会に参加して

● 指導者 藤田 祐江

今年の大会では、競技会をはじめ救命講習、消防団との交流会にも参加し、防災についての意識を新たにすることが出来ました。また、段ボールハウス体験では、災害発生時の生活が想像以上に不便なことを実感しました。しかし、協力し合いながら作業をする子どもたちの様子から、自分たちでよりよくしていこうとする姿勢の大切さを学びました。今回体験したことを子どもたちとも共有し、自分たちの生活に生かしていきたいと思います。



### クラブ員と過ごした夏

● 指導者 有明 勝也

クラブ交流会は初出場でしたので、様々な問題にぶつかりましたが、クラブ員と協力し乗り越えていくことで、多くのことを学ぶことができました。未来を作るのは子供達で、その子供達を育てるのは大人であると、改めて実感しました。



### 仲間と学んだ夏、最高の思い出

● 塩崎 真子

交流会で仲間と過ごした3日間。これまで体験したことのない最高の夏になりました。夏休み、私達は声を掛け合いながら、一所懸命に交流会の訓練をしました。

そして、大会の日。楽しく、落ち着いて大会にのぞきました。結果は15位。思っていたよりも上位で、みんなと支え合えた証になったと感じました。

ダンボールハウスでは、全国から来た人と交流できたので楽しかったです。

今回、経験したことを活かして、日々の中でも自分から行動できる人になりたいです。



### 夏に学んだ、永遠の絆!

● 多田 未祐

私は、交流会に参加して学んだことがあります。1つ目は、仲間との絆が深まったことです。練習の時は、一所懸命に力を合わせて練習することができました。結果は15位でしたが、絆はどのチームよりも強いと思います。

2つ目は、たくさんの人とふれあったことです。ダンボールハウス作りでは、中学生のお姉さんと一緒に、やさしく接してくれて、緊張がほぐれました。

私は、この交流会で、仲間の大切さを学びました。この交流会が最高の思い出になりました。



### みんなと力を合わせて

● 山内 彩

交流会を通して、いろいろなことを学ぶことができ、たくさんの思い出ができました。初めての出場で、緊張するところや心配するところもあったけれど、みんなと力を合わせてできていたと思うのでよかったです。

この交流会の経験を活かして、消防士になるという夢を実現していきたいなと思いました。

また、そのためにボランティアなどに参加していきたいです。



### チームワークを深めた交流会

● 高嶋 凜

私は、この交流会を通してチームワークの大切さを実感しました。クラブ対抗リレーでは、初めてで少し緊張していましたが、チームで最善をつくすことができました。声を掛け合って成功したことで、絆が深まりました。

他県のクラブとダンボールハウスを作ったり、心臓マッサージの仕方を習ったりして、貴重な体験になりました。

この交流会からたくさんのことを教えてもらいました。これからも絆を深めながら、防災について知っていききたいと思います。



### 少年消防クラブ交流会 (全国大会)

● 三宅 理仁

交流会の2日目は、障害物競争でした。僕たちの結果は、56クラブ中、15位でした。みんな協力して頑張りました。千葉県から参加したクラブは、69秒くらいで、早くてびっくりしました。僕達と一緒に小学生なのに、早すぎです。

次に、千葉県のクラブが、心臓マッサージについて教えてくれました。災害時に役立つマッサージは、とても勉強になりました。交流会プログラムで、全国の仲間との楽しい1日になりました。



## 新たな出会いや貴重な体験ができた交流会



赤岡町少年防災クラブは、赤岡小学校の児童全員が少年防災クラブ員として登録されており、上級生を中心として軽可搬ポンプを使用した放水訓練を行ったり、歳末には夜回り防火啓発活動を行ったりしています。今回は、6年生5名が交流会に参加しました。



### 人と人とのつながりを大切にしたい取組を！

● 指導者 久保 壽男

少年消防クラブ交流会に参加した子どもたちは、全国から集まった仲間と一緒に、合同訓練としての障害物競争や避難所体験などを行うなど、貴重な体験をすることができました。これからも、赤岡町少年防災クラブが赤岡消防団とともに、地域の安全・安心を守るため「人と人とのつながり」を大切にしたい防災・減災の取組を進めてほしいと思っています。



### 全国の熱心なクラブ員の活躍に感動

● 指導者 野地 真由美

私は、今回初めて参加させていただきました。参加者が有意義に体験できるよう、ご配慮・ご準備いただいたことにお礼を申し上げます。

合同訓練や浦安市少年消防団の活動等を見せていただき、日頃から防災活動に熱心に取り組んでいる子どもたちがたくさんいることに感銘を受けました。救急法や避難所体験等は、今後にきっと生かしていけるものと思います。



### 少年消防クラブ交流会でできた友達

● 濱田 心也

少年消防クラブ交流会全国大会に参加して、熊本県のチームと友達になりました。見かけたら話しかけることのくり返しでした。ひなん所体験の時にもたくさん話をしました。帰りには、いっしょに写真を撮りました。

県外の人といっしょに教え合っ、助け合っでダンボールハウスもできたし、ぼくが知らないことも教えてもらいました。この交流会で学んだことを、これから生かしていきたいです。



### 楽しく大変だったひなん所体験

● 野町 心菜

2日目のひなん所体験では、ダンボールハウスを作りました。ダンボールで部屋を区切ったり、みんなでかべに絵をかいたりするのは、大変だったけど楽しかったです。同じ区画になった中学生が手伝ってくれたり、とってもいい家ができたのでよかったです。男子の部屋もとてもリアルだったので、みんなと協力し合っでできることのよさを感じました。

クラブ対抗障害物競争は41位だったけど、みんなと協力できてよかったです。



### AEDの大切さ

● 川久保 颯良

2日目の午後、救命講習を受けました。ビデオの中に、若くして突然亡くなられた方々が映し出されていました。もし、AEDが近くにあっで使っていたら、助かるはずの命でした。そのころは、学校などにはAEDがあまりなかったと聞いて、びっくりしました。わたしは、AEDや心臓マッサージの勉強をして、改めてAEDの大切さがわかりました。

もし、救命そちの必要な人がいたら、勉強したことを生かしたいです。



### 少年消防クラブ交流会の思い出

● 山下 桜雅

もう暑のため、外での合同訓練はできませんでした。結果はあまり良くなっただけど、ぼくは、クラブ対抗障害物競争で自分のベストを出せたと思います。特に、ひもを結ぶのが今までで一番速くできたと思います。

千葉では、たくさん友達ができ、うれしかったです。ラインを交かんするほど仲良くなり、つながりができました。楽しく、思い出深い3日間になりました。



### 楽しかった交流会

● 濱崎 りんご

わたしは、8月2日の障害物競争の時にきんちょうしたけれど、まちがえずにできたので安心しました。

ダンボールハウス作りは、ほかのクラブの人たちとも協力できたので、すてきなスペースができました。初めての経験だったけど、上手にできてうれしかったです。ほかのクラブの人とも話せたのでよかったです。大地震が来てダンボールハウスが必要になったら、みんなの寝るところを作っであげたいと思いました。



## 全国交流会で、また一つ成長しました！



くすばし少年消防クラブは、平成24年に発足したクラブです。北九州市八幡西消防団第11分団の管内に住んでいる、中学生と高校生を対象としています。現在13名在籍しています。特徴としては、2～30代の消防団員が主に指導を行っていることです。訓練を重ねるうちに、消防団員とクラブ員が交流でき、高校を卒業すると同時に、消防団入団へとつながっています。今回の交流会に向けて約1か月間訓練しました。



### 猛暑に負けず、みんなよく頑張りました！

● 指導者 浦濱 恵介

今年も新しく加入したメンバーを中心に参加しました。事前の訓練では、過去に全国交流会に参加したクラブ員が指導をしてくれて、とてもいい関係を築くことができました。毎年全国交流会に参加していますが、クラブ員はこれに参加することで消防クラブの活動に対してとてもやる気になっています。また来年も参加し、来年は上位を狙えるようしっかり訓練をしたいと思います。関係者の皆様、ありがとうございました。



### リーダーとしての参加！

● 長谷川 天祐

二度目の全国交流会で僕は初めてリーダーになりました。自分がリーダーになっていいのかな、しっかりみんなをまとめられるのか不安でした。しかし、この大会で沢山の事を体験して、みんなを自分なりにまとめて、リーダーとはなんなのかが少し分かった気がしました。そしてまだまだ頑張っていかなければいけないところも分かりました。大切なことがたくさん学べたと思います。自分たちを指導してくれた人たちにとても感謝しています。



### 人の役に立てる大人になる！

● 井上 智貴

全国交流会では一生懸命頑張りました。表彰は無理だったけど、もしまた参加できれば、クラブのみんなと協力して全力で挑みたいですね。一番の思い出は、友達ができただけです。友達と一緒に段ボールハウスを作ったときは、少し大変だったけど、いつもと違う経験ができて、とても楽しかったです。そして、交流会に参加するために、たくさんの指導者の方たちに支えられているんだなと思いました。大人になったら人の役に立てる人になろうと思いました。



### 全国のたくさんのクラブ員に驚きました！

● 立川 平

僕は今回の全国交流会に初めて参加してみて、こんなにたくさんのクラブ員がいるということにも驚きました。あと、2泊3日の交流会で、東京ディズニーランドの近くを通ることができ、ベイホテルという大きなホテルで宿泊できました。2日目は段ボールハウスを自分たちで作って、そこで寝ることができて面白かったです。合同訓練もよかったです。とても楽しかったです。消防クラブの活動をこれからも頑張ろうと思いました。



### 合同訓練が雨天時用になり悔しかった！

● 池田 麗奈

全国から、たくさんのクラブ員が集まって交流を深めることができました。2日目の夜の避難所体験で、一緒に段ボールハウスを作ったり、そこで一緒に寝たクラブの人たちとはとても仲良くなれました。合同訓練では、外が暑くて雨の日用の競技になってしまっただけ練習していた競技と変わったので少し悔しかったです。でも、みんなとずっと一緒にいて、とっても楽しかったし、協力するといことがたくさんあることが分かって良かった3日間でした。



### 他のクラブ員と仲良くなれて嬉しかった！

● 松尾 こはね

千葉県まで飛行機、バス、電車と乗り継いで、少し疲れました。合同訓練では、一生懸命やって練習どおり、ミスもなくできたけど、他のクラブのほうがもっとタイムがよくて残念でした。一番思い出に残ったのは避難所体験でした。段ボールハウスは、作るの簡単だったけど、片付けるのが大変でした。一緒になったクラブのみんなと仲良くなることができて、嬉しかったです。



## 悔しさと、学びの3日間



ひかり児童館少年消防クラブは、小学生9名、中学生1名の計10名で活動しています。消防本部や地元消防団との交流を図りながら、地域の防災リーダーとして、防火防災の啓発に力を入れています。今回は、小学生5名が代表として参加しました。



● 指導者 杉本 悟志

初めての全国大会で緊張もあった中で、今自分たちが持てる力を出してくれたと思います。失敗したことも、悔いが残ったことも、これが子ども達の成長に繋がったと感じています。また、救命講習で見て・聞いて・体験したこと、ダンボールハウスで過ごして感じたことを、仲間にも、そして学校や地域にも広げていってほしいです。彼らが地域防災のリーダーになることを楽しみにしています。



● 指導者 陣内 英和

今回で4回目の参加となった全国大会。入賞を目指し、地域の方々と日々の練習を頑張ってきました。例年よりたくさん訓練を重ねてきました。昨年の先輩方の好成績にプレッシャーを感じたのか実力を発揮できませんでした。しかし、失敗の中から子ども達は多くの事を学び、感じ、大きく成長してくれた事と思います。今回の交流大会で学んだ事を多くの友達や仲間へ伝え、そして、自分自身の人生の糧にしていってほしいと思います。また、子ども達が今後地域防災の担い手として活躍してくれることを願います。



## 消防の全国大会を終えて

● 山下 瑠星

ぼくは、消防の全国大会を終えて思ったことが3つあります。1つ目は、合同訓練です。障害物競走の競技で、練習の時は、1分4秒だったけれど、本番では、1分30秒を超えてしまったので、実力を発揮できずとても残念でした。順位は27位とあまり良くなかったけれど、全力をつくして取り組むことができました。2つ目は、ダンボールハウス作りです。去年もやったので、手際よく作業ができ、楽しい物を作ることができました。災害時に必要な知識を得る事ができたので、学んだ事を今後役に立てていきたいと思っています。3つ目は、他のクラブとの交流です。自分のクラブだけでなく、他のクラブの人達と友達になりました。短い時間だったけれど、とても楽しかったです。この大会を通して、自分の成長も感じられたし、友達もでき、消防の取り組みの大切さも改めて実感できたので、とても良い思い出になりました。



## 全国大会に参加して

● 西田 理人

ぼくは、全国大会に初めて参加しました。練習は合計で数回、しかも、大会直前に競技内容が変更してからは、1回しか出来ませんでした。それでも、27位という結果は悪しかったです。連れて行かせてくださった指導者の方々や両親に感謝したいです。次は、この経験を生かし、練習に力を入れ、今年よりもいい結果を出せるように頑張りたいと思います。また、全国大会で勝負したいと思いました。



## 初めての全国大会

● 磯野 起瑠

ぼくは、4年生から消防クラブに入っています。全国大会に初めて参加することができ、とても嬉しかったです。大会に参加して心に残ったことが2つあります。1つ目は、競技についてです。正確性とスピードを競う競技でした。何とかミスせずに次の人にバトンできてホッとしました。2つ目は、他のチームとの交流です。高知県の参加者と仲良くなりました。たくさん友達が出来てよかったです。来年もチャンスがあれば、大会に参加し、入賞できるよう練習を頑張りたいです。



## 消防の大会を終えて

● 中川 温登

消防の大会を終えて、考えたことが4つあります。1つ目は、大会のことです。目標は10位以内に入ることだったけど、27位という結果で残念でした。2つ目は、交流会です。いろいろな県の人たちと交流をして、友達になった人たちと「競技をがんばろう」と言いあいました。3つ目は、ダンボールハウスです。みんなで協力してつくるのは楽しかったです。寝るときに、いろいろ話をしながら寝ました。最後は大会の反省です。平均台を落ちたことや、ロープ結案が遅かったことを反省して次に繋がりたいと思いました。



## 大会を振り返って

● 林田 渉

当日は僕たちが練習をしていたのと違う競技だったのでとても難しかったです。競技ではハードルを超えパーをくぐり平均台を渡ってロープを結び流れで、最後の1人はホースでピンを倒さなければならなく、その1人が僕でした。とても緊張してうまく出来なかったことが悔しくてたまりません。思っていた結果より良くなかったけれど、競技の他にもとてもいい経験が出来てよかったです。



## 素晴らしい出会いがあり思い出ができた交流会



西瀬少年消防クラブは、平成 28 年に発足し、小学 4 年生から 6 年生まで総員 18 名のクラブ員で消防学習や住宅用火災警報器の普及啓発活動、消防出初式での通常点検披露等の活動を行っています。

今回の交流会にはクラブ員を代表して 6 年生 5 名で参加しました。今回の経験を今後の活動に活かしていきたいと思っています。

### 交流会に参加して

● 指導者 田中 栄治

昨年に引き続き 2 回目の参加となりましたが、子供達にとっても楽しく貴重な体験をさせていただきました。

3 日間親元を離れ、全国の消防クラブとの交流や、ダンボールハウスで初対面の子供達と一夜を共に過ごす等、普段の学校生活とは違った体験は、小学生にとってはとても大きな経験になったと思います。

競技に関しても、大会本番の緊張感や練習での仲間との繋がり、個人の責任感が芽生えたように感じます。

また、指導者として同行し、全国それぞれのクラブの状況や運営方法、大会への取り組み等情報交換もできて、私自身が全国大会を楽しませてもらえましたし、子供達の成長を見ることができ大満足しております。

多くの方々のご支援ご協力のもと、良い経験をさせていただいたことに感謝いたします。

### 交流会に参加して

● 指導者 大寺 智也

指導員の私は初めて参加しました。酷暑での対抗リレー等の訓練では指導する側が戸惑いながらも、クラブ員の覚悟の良さに驚き、指導にも力が入ったところです。実際交流会に参加し、避難所体験、地元消防団の地震対応の経験談など私自身もためになることばかりで、参加したクラブ員が貴重な体験として思い出に残ることを喜ばしく思います。この大会の主催者、関係者各位の皆様には心からお礼申し上げます。



### 夏の思い出になった交流会

● 小見田 華乃

私は全国大会に参加することになり、バスや飛行機で千葉へ行きました。

初日にホテルについた後、ちがうクラブの方たちや先生方と食事をしたり自分たちのしょうかいをしました。

全国大会本番当日はメンバー 5 人と協力しあって、力いっぱいがんばりました。私は練習でバーをくぐる時、何度も棒をおとしていました。本番ではおとさず最後までできました。私たちの結果は 56 チーム中 14 位でしたが、小学生のみのチームでは 2 番目という結果がのこせてよかったです。

その日の夜はダンボールベッドづくりをしました。みんなで協力してつくりました。少しだけダンボールがういたりしてはいたけど、ねごこちはとてもよかったですし、ぐっすりねむれました。その日、いっしょにつくった人の名前もおぼえて仲良くなりました。

私にとってとても楽しい 3 日間になり平成最後の夏の思い出になりました。



### 交流会で学んだ事

● 大寺 志龍

交流会に行って学んだ事が二つあります。一つ目は協力する事です。競技やダンボールで作る部屋など協力しないとうちにできなかったから。二つ目は避難生活の深刻さが分かった事です。いつもはフカフカのベッドで寝ているけど、ダンボールは固いのであまり眠れなかったです。その上、水や食料は災害の時、不足になるので避難生活はストレスや恐怖を感じるんだなと思いました。いい勉強ができて、本当に良かったです。



### 交流会に参加して

● 上村 萌々花

私はこの体験を通して一番思い出に残ったのは合同訓練です。いろいろなチームを見ましたが、一番おどろいたことは小学生のチームが優勝したことです。中学生のチームがいるから今年は中学生チームかなと思ったけど、優勝した小学生チームはとても速かったのびっくりしました。そして近くの席だったクラブの人と話すことができました。このような体験ができてよかったです。



### 交流会に参加して

● 須恵 ゆうみ

私たち西瀬少年消防クラブは、大会の日まで一ヶ月間練習をがんばって来ました。本番の日、10 組目ですぐに順番がまわってきました。スタート位置に立ったとき、急におなかの痛みが襲ってきました。ぐとがまんしていました。スタートの合図が鳴りました。1、2 走者がいっせいにとび出して、すぐもどってきて、次に 3、4 走者がスタートしました。もどってくるのも早いし正確にできていたので、一番責任がある私は、プレッシャーを感じました。一番難しいポウリングのピンを全てたおすことができました。うれしかったです。夏休み一番の思い出になりました。



### いい経験になった交流会

● 酒井 舜

今回、熊本県代表として千葉県に行きました。初日の夜は全国から集まった 56 チームのクラブ紹介がありました。

2 日目の競技では、前半の 28 チームが終わった時には 2 番目といういい順位に入っていたけど、後半のチームに追いぬかれてしまい、56 チーム中 14 位という成績でした。その後、横浜のチームの人と協力してダンボールで部屋を作り、そこでねました。夜、何度か目がさめたけどぐっすりねむれたのでよかったです。

3 日目は閉会式があり、全体の行事がおわりました。いい経験になりました。



## 少年消防クラブ交流会を終えて



今回は、市内のクラブ2チーム混成での初参加となりました。クラブ活動として防火広報、規律訓練、消防救急訓練や出初式へ参加し訓練披露等を行っています。



### 少年消防クラブ交流会へ初参加 ● 指導者 堀口 末孝

鹿児島県から初参加であり、当初は何から始めればいいのか不安でしたが、交流会のしおりを参考に準備を進めました。訓練を重ね、子供たちの頑張る姿や競技の上達ぶりには感心したものです。交流会当日は、普段の訓練どおりにはできませんでしたが、一生懸命頑張ってくれました。

クラブ員も避難所体験のダンボールハウス工作などを他のクラブ員と一緒に作成し、有意義な交流ができたと思います。初めての避難所生活の体験であり、避難者の大変さを感じ取ったのではないのでしょうか。今後の活動等、私生活に役立ていけると幸いです。



### 少年消防交流会に参加して

● 指導者 内 和也

今回、交流会へ初参加となり当日まで学校や職場の協力をもらい訓練を重ねてきました。3日間の交流会ではクラブ員に災害時の行動等や集団行動の大切さについて学んでもらうことができ、充実した交流会になったと思います。災害は今後必ず起こるという事を踏まえて今回学んだことを今後に生かしてもらいたいと思います。



### 楽しかった千葉

● 藏菌 晦

僕が楽しかったのは、3つあります。1つ目は、松戸市少年消防クラブのお兄さんたちと友達になり遊べたからです。自分から話しかけて友達になりました。いっしょにダンボールハウスを作り残りのダンボールでひみつ部屋を作り楽しかったです。

2つ目は、クラブ対抗障害物競争が楽しかったです。負けたことは悔しかったけど、負けた後に相手の人と話せたのでうれしかったです。

3つ目は、1日目のホテルです。ホテルでは、ベッドがありました。気持ちよかったです。夜ご飯はバイキングで、朝もバイキングだったのでうれしかったです。

全国から来た人たちと交流ができて楽しい大会でした。機会があればまた参加したいです。



### 消防の全国大会

● 坂元 終良

全国の人達が集まっていて、その中には外国の人もいてとてもにぎわっていました。2日目に開会式があり、大会が始まりました。洋服を着替えて2、3番目に出番がきました。ぼくは2番目に走っていききました。自らの本気を発揮して取り組むことができたのでよかったです。1位にはなれなかったけど、また機会があればもう一度挑戦したいです。



### 消防クラブ交流会

● 坂元 稀玲

障害物競争が終わってランキングが発表されたときに3位以内に入ってなくて残念でした。段ボールで家を作るのは楽しかったですが、体育館で寝るのは大変だと思いました。

競争では悔しい思いましたが、全国の人たちと交流ができ、友達もたくさんできました。大変いい経験をしました。



### 大会と交流会

● 水流 光河

夏休み中ぼくたちは全国大会の交流で千葉県に行った。

1日目はホテルで全国大会に出るみんなが集まり、それぞれのクラブで自己紹介して交流会をした。2日目、ホテルを出て、浦安市総合体育館に行った。体育館で大会が行われ、ぼくたちは何クラブに勝ったが、優勝することはできなかった。その日昼からはダンボールでダンボールハウスを作り、そこで寝ました。

ダンボールつくりはたいへん楽しいでした。3日目、いよいよ最終日をむかえたぼくはこの交流会でたくさんの友達をつくった。みんなと交流して最後に被害があったときの動画をみせてくれた。

この3日間、大会をして、交流をして、たくさんの友達をつくった。ぼくにとってこの交流会は人生でうれしく楽しいことだったとぼくは思う。



### 楽しかった3日間

● 吉村 星

交流会の会場に着いて、人の多さにビックリしました。自己紹介をした時は、とっても緊張しました。

障害物競争のロープ結ぶは、今までに練習を頑張ってきたけど、緊張して上手にできなかったのが悔しかったです。AEDの体験では学校で見た時より詳しく教えてもらってよかったです。

段ボールハウス作りは、難しかったけどとても楽しかったです。避難所生活は大変だと思いました。

三日間の交流会を通して、多くの友達ができ、いろんな事を学べてとても楽しい交流会でした。



## 貴重な体験 ～ 島ではできない体験、感動、感謝 ～



伊平屋村少年消防クラブは、平成23年度に発足しました。現在14名のクラブ員が在籍しています。年に一度自衛隊との交流をはじめ、地域活動を中心に活動しています。交流会には5年生のメンバーが参加しました。



### 感謝

● 指導者 新城 順治

島の子供たちに、多くの皆様と交流する事で、普段訓練することができないようなことも体験することができ、この大会に参加したことが、子供たちの中で、小さな島の小さな子供たちでもできるという、自信になってもらいたい。



### 少年消防クラブ全国大会に参加して

● 伊礼 大広

「消防の大会があります。」と、聞いた僕は「楽しみだな、でも、どんなのだろう」と思いながら練習が始まりました。1日目は動画を見ました。練習二日目、走順を決め、僕は二番でホースでポウリングをして、次の走者へ渡すと仕事です。本番では練習の成果を出せずともくやしさをしました。競技では、とても緊張したけれど、段ボールハウス作りはとても楽しくできました。この大会で一番の思い出になりました。僕はこの大会に参加して経験したこと学んだことをこれからの生活に生かせるようにしていきたいです。



### 消防練習・本番

● 上原 悠愛

練習を始めて、最初は全然できなくて本番が心配でした。でも少しずつできるようになってきて、本番が楽しになってきました。でも途中で違う練習方法になって不安になってきました。そして本番では、みんないいペースでできていました。でも結果は最後の方だったので、とてもよかったです。



### 少年消防団

● 伊礼 有助

僕は消防大会に参加するのがはじめてだったので、とても楽しみにしていました。順位は悪くてショックでしたが、大会に出場できてよかったです。段ボールハウスを作るときは、コミュニケーションが取れたのが良かったと思いました。来年もこの大会に参加してもっと上位を目指したいです。



### 東京での消防大会を通して

● 泉 大陽

僕が全国少年消防交流大会で学んだことは、次の消防訓練の時にまたやろうと思うことです。結策をまたさらに増やすことができたので、全国に行けてよかったと思います。緊張はしたけれど、経験を一杯することができたので、良かったです。



### 消防大会に参加して

● 名嘉 あゆみ

私は、初めて消防大会に参加しました。周りは大きい中学生も参加していて、私たちはとても勝てる気がしませんでした。でも、練習したとおりに、みんな頑張りました。結果はびりではなかったけど、優勝はできませんでした。来年はもっとがんばって参加したいです。



# 写真集





# 1日目





# 2日目



# 3日目



